Canon

レーザビームプリンタ

Satera

ネットワークガイド／本編

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

本書の構成について

ネットワーク設定項目一覧やソフトウェアのバージョンアップ方法などについて説明しています。

目次

第 5 章　AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh）

第 6 章　困ったときには

第 7 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となることなどの説明に、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンについて

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]

  例：[オンライン]
  　　[ユーティリティ]

- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例：[OK]
  　　[追加]

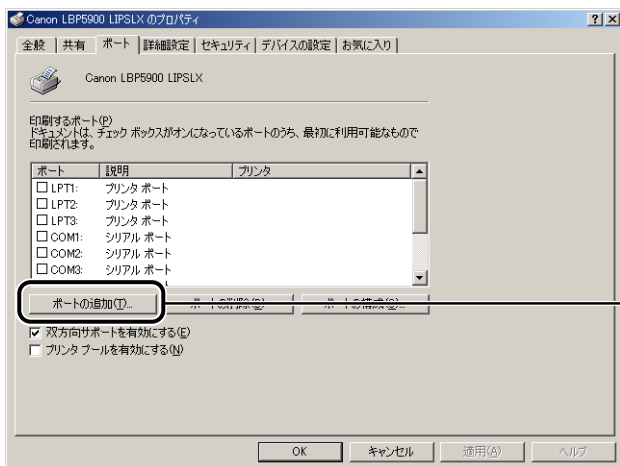
本書において、プリンタの操作パネルによる設定を行う場合に使用する各キーの機能は、次のとおりです。

キー	機能
セットアップ	セットアップメニューを表示します。または同じ階層の右側の項目を表示します。本文中では［セットアップ］または［▶］と表記します。
ユーティリティ	同じ階層の左側の項目を表示します。本文中では［◀］と表記します。
ジョブ	上の階層に戻ります。本文中では［▲］と表記します。
リセット	下の階層に進みます。または選択した項目を実行します。本文中では［▼］と表記します。［実行］／［OK］でも同様の操作が行えます。
実行 / OK	下の階層に進みます。または選択した項目を実行します。本文中では［実行］／［OK］と表記します。［▼］でも同様の操作が行えます。

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、⬭（丸）で囲んで表しています。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、Mac OS は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-UX は、米国 Hewlett-Packard Company の商標です。

IBM、AIX は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Netscape、Netscape Communicator、Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation 社の商標です。

Red Hat は、米国 Red Hat Software の商標です。

RSA は、RSA Security Inc. の商標です。

Sun、Sun Microsystems、SunOS、Solaris は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

BMLinkS は、社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

Turbolinux は、ターボリナックス株式会社の商標です。

LASER5 は、レーザーファイブ株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

お使いになる前に

対応しているネットワーク環境やお使いのネットワーク環境の確認など、お使いになる前に知っていただきたいことについて説明しています。

必要なシステム環境

本プリンタが対応しているシステム環境について説明しています。

印刷するときに必要なシステム環境

本プリンタを使用して印刷するときは、使用するネットワークに応じて以下のシステム環境が必要です。

■ TCP/IP ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - ・Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows Server 2003 日本語版
  - ・日本語 Solaris Version 1.1.x（SunOS Version 4.1.x）以降
  - ・日本語 Solaris Version 2.5.x（SunOS Version 5.5.x）以降
  - ・HP-UX Version 10.x 以降
  - ・IBM-AIX Version 4.x 以降
  - ・Red Hat Linux 9 以降
  - ・Turbolinux 10 Desktop
  - ・Laser5 Linux 7.2
- 対応しているコンピュータ
  - ・Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 をお使いのときは、IBM PC 機／その互換機、PC-98 シリーズ

■ SMB ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - ･Microsoft Windows 98/Me 日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
  - ･Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- 対応しているプロトコル
  - ･NetBIOS over TCP/IP
- 対応しているコンピュータ
  - ･IBM PC 機／その他互換機、PC-98 シリーズ

重要　SMB 印刷は、ハードディスクを装着している場合にのみ使用できます。

■ AppleTalk ネットワークを使用して印刷する場合

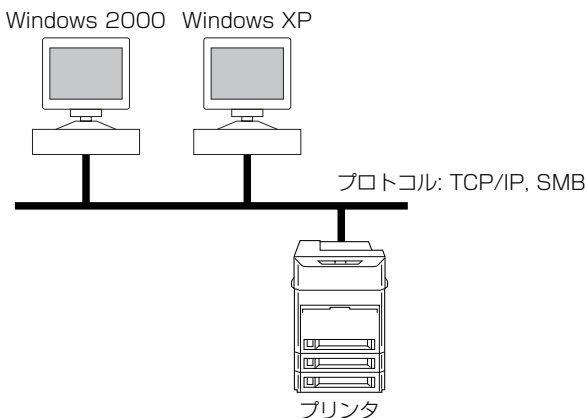
- 対応している AppleTalk
  - ･フェーズ 2 の EtherTalk
- 対応している OS やコンピュータなどについては、「LIPS ソフトウェアガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

重要　本プリンタは、Macintosh の LocalTalk ネットワークには対応していません。

お使いのネットワーク環境の確認

以下の図を参考に、プリンタを接続するネットワーク環境を確認して、必要な作業を行ってください。

Windows のネットワークの例

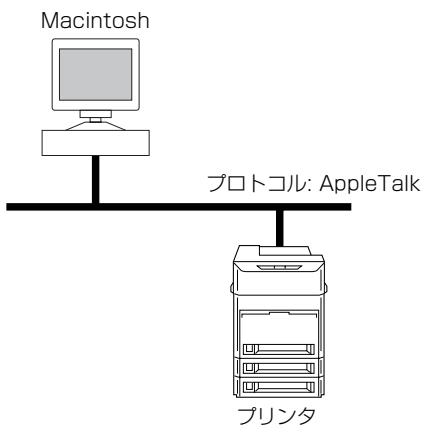
Windows では、使用するプロトコルは TCP/IP、SMB のいずれかになります。また、同時に複数のプロトコルを使用することもできます。
SMB ネットワークは、ハードディスクを装着している場合のみ使用できます。

使用するプロトコルに合わせて、以下を参照してください。

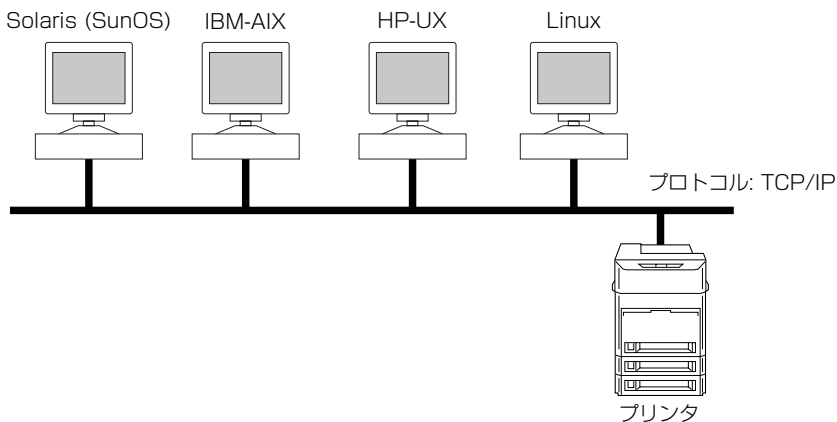
• 「第 3 章 TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」
• 「第 4 章 SMB ネットワークで使用するには（Windows）」

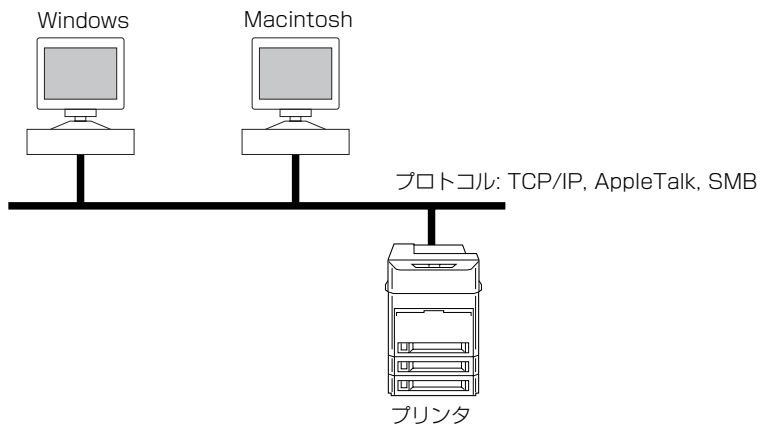
メモ

• 上記の作業を行うと、印刷を行う各コンピュータが、直接ネットワークプリンタに印刷するようになります。TCP/IP プロトコルを使用する場合は、ネットワーク上の Windows 2000/XP/Server 2003 をプリントサーバに設定することで、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバの設定手順については、LIPS ソフトウェアガイド（PDF 取扱説明書）「第 2 章 Windows から印刷するには」のプリントサーバ環境のときの手順を参照してください。
• 本プリンタは NetBEUI には対応してません。

Macintosh のネットワークの例

Macintosh では、使用するプロトコルは AppleTalk（EtherTalk）になります。（→第 5 章 AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh））

UNIX のネットワークの例

UNIX では、使用するプロトコルは TCP/IP になります。（→第 3 章 TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX））

いろいろなコンピュータが混在しているネットワークの例

いろいろなコンピュータが混在しているときは、使用しているコンピュータに応じて各作業を行います。
例えば、Windows と Macintosh を使用している場合は、「Windows のネットワークの例」と「Macintosh のネットワークの例」の両方の設定を行ってください。

使用するプロトコルに合わせて、以下を参照してください。

- 「第 3 章 TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」
- 「第 4 章 SMB ネットワークで使用するには（Windows）」
- 「第 5 章 AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh）」

重要 SMB 印刷は、ハードディスクを装着している場合にのみ使用できます。

ネットワークの共通設定

本プリンタをネットワーク環境で使用するためのプロトコル共通の設定項目について説明しています。各プロトコルの設定（第３章〜第５章）を行う前に、必ず本章で説明する項目を設定してください。

インタフェースの設定

本プリンタのインタフェース設定は、以下のいずれかを使用して行います。

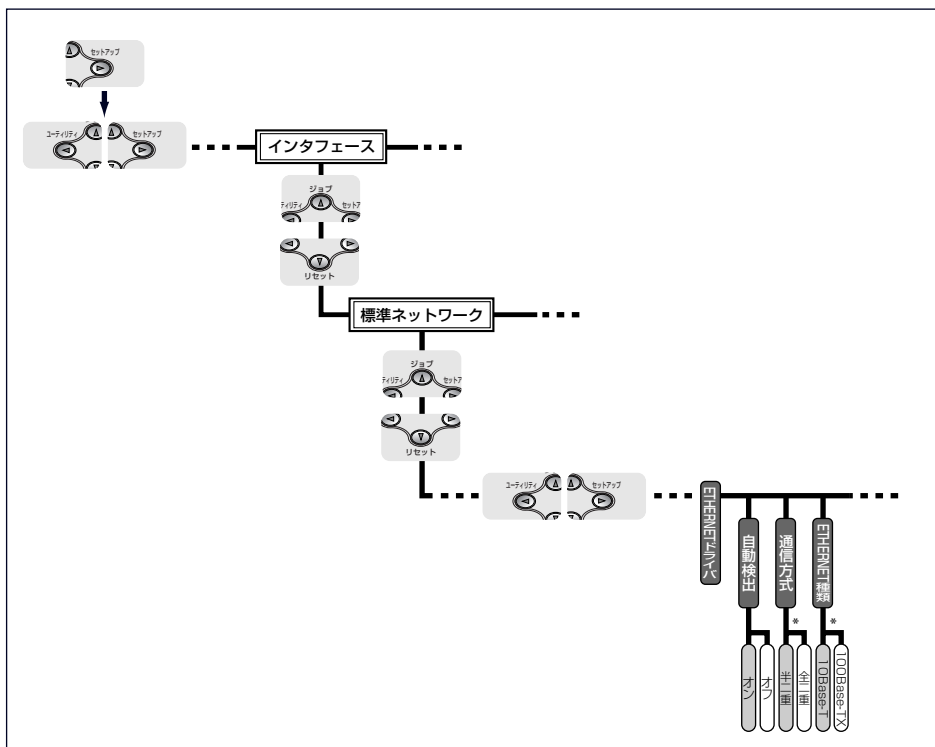
■ **プリンタの操作パネルによる設定（最初に行う設定）**
プリンタのディスプレイの表示を見ながら操作パネルを使用して、Ethernet ドライバの設定を行います。

■ **Web ブラウザ（リモート UI）による設定の変更**
お手持ちのWebブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、Ethernetドライバの設定を行います。

重要　最初にインタフェースの設定を行うときは、プリンタの操作パネルを使用してください。TCP/IP プロトコル設定後は Web ブラウザ（リモート UI）で設定内容を変更することができます。

メモ
- Web ブラウザ（リモート UI）の使用方法は、リモート UI ガイド（PDF 取扱説明書）「第 3 章 リモート UI のいろいろな機能」を参照してください。
- EthernetとはLANの規格の名称で、本プリンタは10Base-T/100Base-TX接続に対応しています。ネットワークで本プリンタを使用する場合、Ethernet ドライバによって通信方式や Ethernet の種類が制御されます。
- Ethernet ドライバ設定は、［優先ネットワーク設定］の項目が［標準ネットワーク］に設定されている場合にのみ表示されます。［優先ネットワーク設定］の設定は、リモート UI の［拡張カード］ページまたは、操作パネルで行います。

プリンタの操作パネルによる設定

プリンタの操作パネルを使用してインタフェースの設定を行う場合は、次のようなメニューの階層を使用します。ここで使用する各キーの機能については、「ボタンについて」(→ P.v)を参照してください。

* 「通信方式」および「ETHERNET種類」は「自動検出」が「オフ」に設定されたとき表示されます。

重要

- 設定を行ったあとは、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに設定が有効になります。ハードリセットの詳細については、「LIPS 機能ガイド」(PDF 取扱説明書)を参照してください。
- メニューの階層を戻る場合は、[▲]を押してください。
- 上記のキーのイラストが、お使いのプリンタと異なる場合があります。操作パネルの設定手順の詳細については、「LIPS 機能ガイド」(PDF 取扱説明書)巻末のメニュールートマップを参照してください。

1 **[セットアップ]を押して、[◄]、[►]で「インタフェース」を選択したあと、[実行]/[OK]を押します。**

メモ

プリンタがオンライン状態(オンラインランプが点灯)、オフライン状態(オンラインランプが消灯)のどちらでも、インタフェースの設定を行うことができます。

2 ［◀］、［▶］で「ヒョウジュン ネットワーク」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。

3 ［◀］、［▶］で「ETHERNET　ドライバ」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。

4 Ethernet ドライバを設定します。

● Ethernet ドライバを自動で検出する場合（工場出荷時の設定）

- ❑ ［◀］、［▶］で「ジドウ ケンシュツ」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
- ❑ ［◀］、［▶］で「オン」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。

● Ethernet ドライバを手動で設定する場合

- ❑ ［◀］、［▶］で「ジドウ ケンシュツ」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
- ❑ ［◀］、［▶］で「オフ」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
- ❑ ［◀］、［▶］で「ツウシン ホウシキ」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
- ❑ お使いのネットワーク環境に合った　Ethernet　の通信方式を選択します。［◀］、［▶］で「ハン 2 ジュウ」（送信と受信を同時に行わず、交互に行う）か「ゼン 2 ジュウ」（送信と受信を同時に行う）を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
- ❑ ［◀］、［▶］で「ETHERNET シュルイ」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
- ❑ お使いのネットワーク環境に合った Ethernet の種類を選択します。［◀］、［▶］で「10 BASE-T」か「100 BASE-TX」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。

メモ　本プリンタは通信方式や Ethernet の種類を自動的に判別しますので、通常は自動検出を「オン」に設定してください。通信方式や Ethernet の種類の設定を固定したい場合は、自動検出を「オフ」に設定してください。

5 プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行います。

重要　プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに設定が有効になります。ハードリセットの詳細については、「LIPS 機能ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

通信環境の設定

本プリンタの通信環境の設定は、以下のいずれかを使用して行います。

■ **プリンタの操作パネルによる設定（最初に行う設定）**
プリンタのディスプレイの表示を見ながら操作パネルを使用して、通信環境の設定を行います。

■ **Web ブラウザ（リモート UI）による設定の変更**
お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、通信環境の設定を行います。

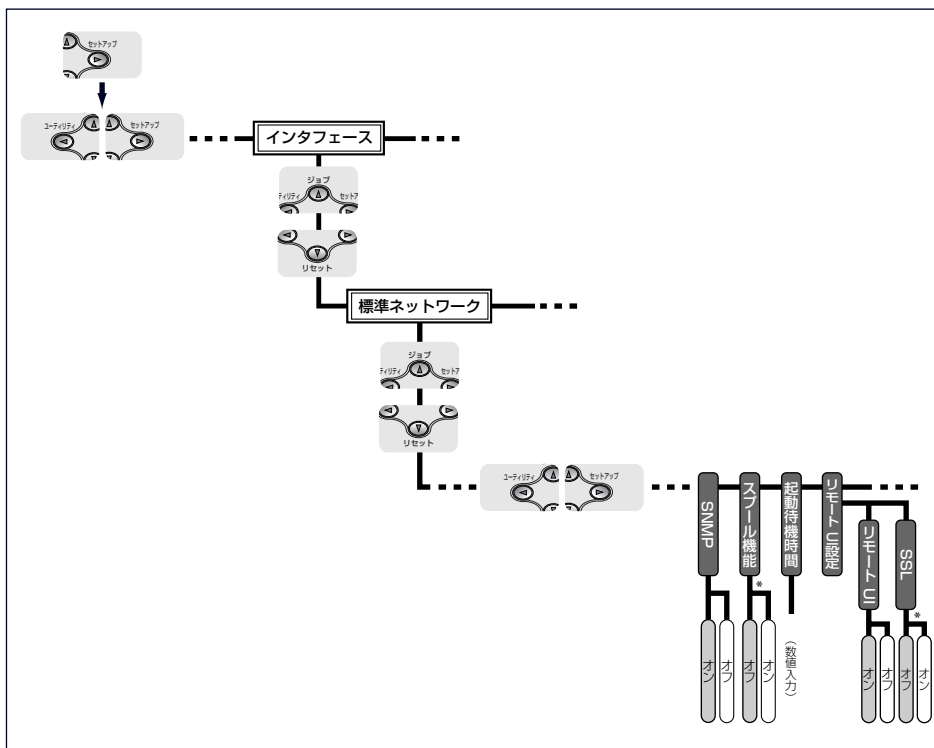
■ **FTP クライアントによる設定の変更**
FTP クライアントを使用して、プリンタの FTP サーバにアクセスし、通信環境の設定を行います。

重要　最初に通信環境の設定を行うときは、プリンタの操作パネルを使用してください。TCP/IP プロトコル設定後は Web ブラウザ（リモート UI）や FTP クライアントで設定内容を変更することができます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なりますので、「ネットワーク設定項目一覧」（→ P.7-2）を参照して、FTPクライアントで設定できない項目については、Web ブラウザ（リモート UI）で設定してください。

メモ

- Web ブラウザ（リモート UI）の使用方法は、リモート UI ガイド（PDF 取扱説明書）「第 3 章 リモート UI のいろいろな機能」を参照してください。
- FTP クライアントの使用方法は、「FTP クライアントによる設定」（→ P.3-26）を参照してください。

プリンタの操作パネルによる設定

プリンタの操作パネルを使用して通信環境の設定を行う場合は、次のようなメニューの階層を使用します。ここで使用する各キーの機能については、「ボタンについて」（→ P.v）を参照してください。

* 「スプール機能」は、ハードディスクを装着している場合にのみ表示されます。「SSL」は、ハードディスクを装着している場合で、「リモート UI」が「オン」に設定されたときに表示されます。

重要

- 設定を行ったあとは、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに設定が有効になります。
- メニューの階層を戻る場合は、［▲］を押してください。
- 上記のキーのイラストが、お使いのプリンタと異なる場合があります。操作パネルの設定手順の詳細については、「LIPS 機能ガイド」（PDF 取扱説明書）巻末のメニュールートマップを参照してください。

1 ［セットアップ］を押して、［◄］、［►］で「インタフェース」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。

メモ

プリンタがオンライン状態（オンラインランプが点灯）、オフライン状態（オンラインランプが消灯）のどちらでも、通信環境の設定を行うことができます。

2 [◄]、[►] で「ヒョウジュン ネットワーク」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

3 SNMPを設定します。

❑ [◄]、[►] で「SNMP」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

❑ 情報の取得にSNMPを使用するユーティリティソフトウェアから本プリンタの各項目の設定や参照を可能にする場合は、[◄]、[►] で「オン」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。
情報の取得にSNMPを使用するユーティリティソフトウェアから本プリンタの各項目の設定や参照を不可能にする場合は、[◄]、[►] で「オフ」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

メモ　SNMPとはネットワークに接続されたデバイスをネットワーク経由で監視･管理し、ネットワークシステムを監視・管理するためのプロトコルです。「SNMP」を「オフ」に設定すると、情報の取得にSNMPを使用するユーティリティソフトウェアから本プリンタの各項目の設定や参照ができなくなることがあります。「オフ」を選択する場合は、管理者に相談してから設定してください。

4 スプール機能を設定します。

❑ [◄]、[►] で「スプールキノウ」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

❑ 本プリンタに送信した印刷ジョブを本プリンタにスプールする場合は、[◄]、[►] で「オン」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。
本プリンタに送信した印刷ジョブを本プリンタにスプールしない場合は、[◄]、[►] で「オフ」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

重要　スプール機能は、ハードディスクを装着している場合にのみ使用できます。

メモ　印刷ジョブをプリンタにスプールすると、印刷ジョブを送信したコンピュータの開放時間が早くなります。

5 起動待機時間を設定します。

通常は起動待機時間の設定を変更する必要はありません。ネットワークへの接続ができない場合にのみ起動待機時間を設定します。

❑ [◄]、[►] で「キドウ タイキ ジカン」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

❑ [◄]、[►] で本プリンタの電源を入れてから通信を開始するまでの待機時間（0～300秒）を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

メモ　本プリンタをスイッチングハブなどに接続している場合は、ネットワークの設定が正しくてもネットワークへの接続ができないことがあります。これは、スイッチングハブ間でのスパニングツリー処理により、本プリンタをスイッチングハブに接続した直後は本プリンタとスイッチングハブ間の通信ができないためです。
この場合は、本プリンタの通信開始を待機させる必要があります。スパニングツリー処理などスイッチングハブの機能詳細については、スイッチングハブの製造元にお問い合わせください。

6 リモート UI を設定します。

- ❑ ［◄］、［►］で「リモート UI セッテイ」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
- ❑ ［◄］、［►］で「リモート UI」を選択したあと、［実行］を押します。
- ❑ リモート UI を有効にする場合は、［◄］、［►］で「オン」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
  リモート UI を無効にする場合は、［◄］、［►］で「オフ」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
- ❑ ［◄］、［►］で「SSL」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
- ❑ SSL 暗号化通信機能を有効にする場合は、［◄］、［►］で「オン」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。
  SSL 暗号化通信機能を無効にする場合は、［◄］、［►］で「オフ」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。

重要
- SSL 暗号化通信機能は、ハードディスクを装着している場合のみ使用できます。
- 鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われていない場合は、SSL 暗号化通信機能を「ツカウ」に設定できません。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

7 プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行います。

重要　プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに設定が有効になります。ハードリセットの詳細については、「LIPS 機能ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）

3

CHAPTER

TCP/IP ネットワークでプリンタを使用するための設定方法について説明しています。

TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業

TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

印刷を行うコンピュータの設定

印刷を行うコンピュータの設定を行います。

プリントアプリケーションの選択（→P.3-29）

重要

- TCP/IP ネットワークで印刷するときは、以下のプリントアプリケーションが使用できます。
  - ・LPD
  - ・FTP
  - ・Raw
  - ・IPP/IPPS
  - ・BMLinkS
- 本プリンタには、各 UNIX で利用できるプリンタドライバソフトウェアは付属していません。

Windows でRaw またはIPP/IPPS をお使いになる場合は、プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールすることをおすすめします。Canon LPR2 のインストールについては、ソフトウェアの CD-ROM に入っている「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

プリンタのプロトコル設定の準備

プリンタのプロトコルを設定する前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるように、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使用して行います。使いやすい方法で設定してください。

■ **プリンタの操作パネルによるプロトコル設定の準備（→ P.3-6）**
プリンタのディスプレイの表示を見ながら操作パネルを使用して、プロトコル設定の準備を行います。

■ **ARP/PING コマンドによるプロトコル設定の準備（→ P.3-8）**
コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、プロトコル設定の準備を行います。

■ **NetSpot Device Installer によるプロトコル設定の準備（→ P.3-9）**
付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動し、プロトコル設定の準備を行います。

重要

- NetSpot Device Installer は、Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 に対応しています。NetSpot Device Installer が対応していない OS をお使いの場合は、ネットワーク上にある他のコンピュータから設定を行うか、ARP/PING コマンドまたはプリンタの操作パネルを使用して設定を行ってください。
- NetSpot Device Installer やARP/PINGコマンドによるプロトコル設定の準備では、プリンタの MAC アドレスが必要になります。MAC アドレスを確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行ってネットワークステータスプリントを印刷してください。
  1. オンライン状態になっていない場合は、[オンライン] を押して、オンラインランプを点灯します。
  2. [ユーティリティ] を押します。

3. ［◄］、［►］で「N/W ステータスプリント」を選択したあと、［実行］／［OK］を押します。MAC アドレスはネットワークステータスプリントの左上の［Ethernet ドライバ設定］に表示されます。

Canon ネットワークステータスプリント LBP5900

◆ 内蔵型プリントサーバ ◆

Ethernetドライバ設定
MACアドレス :00:00:85:25:d0:90

TCP/IP設定
プロトコル
DHCPによるIPアドレス設定 :オン
RARPによるアドレス設定 :オフ
BOOTPによるアドレス設定 :オフ
IPアドレス
IPアドレス :172.24.133.228
サブネットマスク :255.255.248.0
ゲートウェイアドレス :172.24.128.11
DNS
DNSプライマリサーバアドレス :172.24.0.13
DNSセカンダリサーバアドレス :172.24.0.12
DNSホスト名 :Canon25D090
DNSドメイン名 :ctl.cpdc.canon.co.jp
DNSの動的更新 :オフ
WINS
WINSによる名前解決 :オフ
WINSサーバアドレス :0.0.0.0
ARP/PING
ARP/PING :オン
FTP
FTP印刷 :オン
FTP印刷ユーザ名
FTP設定 :オン
LPD
LPD印刷 :オン
LPDバナーページの印刷 :オフ
RAW
RAW印刷 :オン
双方向 :オフ
BMLinkS
BMLinkS :使わない
IPP
IPP印刷 :オン
SSL :オフ
IPP認証 :オフ
IPPユーザ名 :
HTTP
HTTP :オン
マルチキャスト探索
探索応答 :オン
SNTP
SNTP :オフ
NTPサーバ名

AppleTalk設定
AppleTalk :オフ
サービスの名称 :LBP5900
サービスが登録したゾーン :*

SMB設定
SMB
SMBサーバ :オフ
サーバ名 :
ワークグループ名 :
SMB印刷
SMB印刷 :オフ
プリンタ名 :

SNMP設定
SNMP :オン

起動時間
起動待機時間 :0 秒

Eメール印刷設定
POP3サーバ名 :
POP3ユーザ名 :
POP3受信間隔 :0 分
POP3受信 :オフ

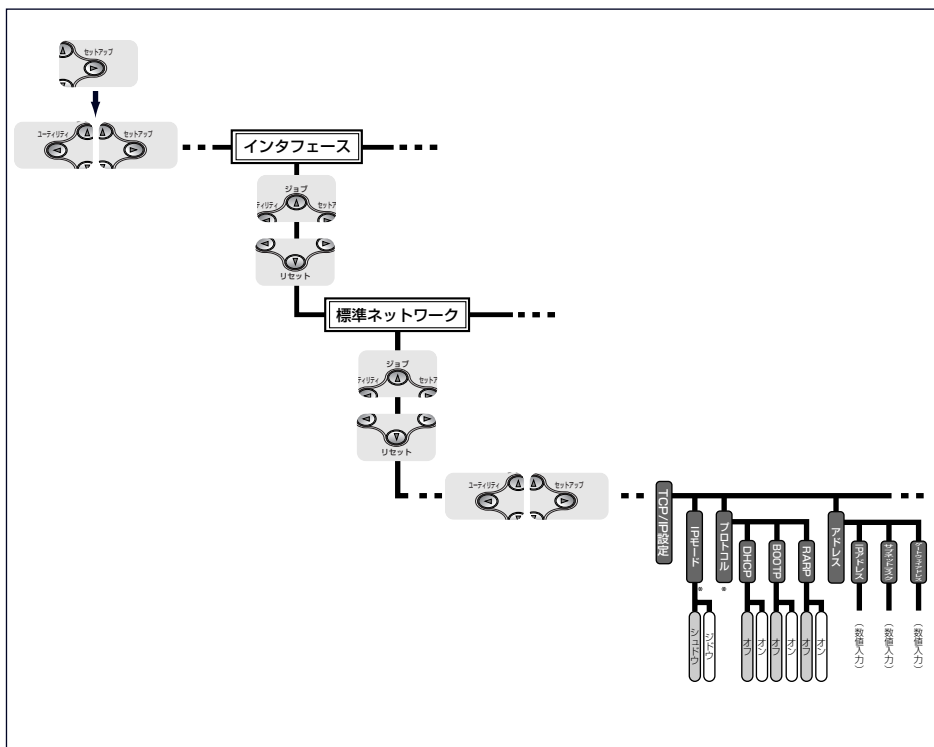
IPアドレス範囲
受信/印刷拒否 :無効
拒否IPアドレス :
受信/印刷許可 :無効
許可IPアドレス :
設定/参照拒否 :無効
拒否IPアドレス :
設定/参照許可 :無効
許可IPアドレス :

MACアドレス設定
受信許可MACアドレス :無効
MACアドレス :

CanonおよびCanonロゴはキヤノン株式会社の商標です。

- 作業を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。
- ARP/PING コマンドを使用する場合､以下の作業ではプリンタに直接 IP アドレスを割り当てます。本プリンタは、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリセット時は、DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。このときは、プリンタの IP アドレスは自動的に割り当てられますので､以下の作業を行う必要がありません。IP アドレスを割り当てなおすときや、DHCP、BOOTP、RARPが使用できないときは、以下の作業を行ってください。

プリンタの操作パネルによる設定

プリンタの操作パネルを使用してプロトコル設定の準備を行う場合は、次のようなメニューの階層を使用します。ここで使用する各キーの機能については、「ボタンについて」(➞ P.v)を参照してください。

* 「プロトコル」は「IPモード」が「ジドウ」に設定されたとき表示されます。

重要

- 設定を行ったあとは、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに設定が有効になります。
- メニューの階層を戻る場合は、[▲] を押してください。
- 上記のキーのイラストが、お使いのプリンタと異なる場合があります。操作パネルの設定手順の詳細については、「LIPS 機能ガイド」(PDF 取扱説明書)巻末のメニュールートマップを参照してください。

1 **[セットアップ] を押して、[◄]、[►] で「インタフェース」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。**

メモ

プリンタがオンライン状態(オンラインランプが点灯)、オフライン状態(オンラインランプが消灯)のどちらでも、プリンタのプロトコル設定の準備を行うことができます。

2 [◀]、[▶] で「ヒョウジュン ネットワーク」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

3 [◀]、[▶] で「TCP/IP　セッテイ」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

4 IP アドレスの設定方法を選択します。

❑ [◀]、[▶] で「IP モード」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

❑ DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、[◀]、[▶] で「ジドウ」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。プリンタに直接 IP アドレスを割り当てる場合は、[◀]、[▶] で「シュドウ」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押します。

5 プリンタの IP アドレスを設定します。

● 手順 4 で「ジドウ」を選択した場合

❑ [◀]、[▶] で「プロトコル」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押して、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」をそれぞれ「オン」(使用する) か「オフ」(使用しない) に設定します。

メモ

- DHCP、BOOTP、RARP はいずれか 1 つのみ選択することができます。
- DHCP、BOOTP、RARP のいずれかをお使いの場合でも、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定しておいてください。DHCP、BOOTP、RARP で情報を取得できなかった場合、ここで設定した値を使用します。
- DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用する設定を行った場合、本プリンタの再起動後は、これらから取得した値が表示されます(あらかじめ設定してあった場合は、DHCP、RARP、BOOTP で取得できた項目については上書きされます)。
- DHCP、BOOTP、RARP を使用可能かどうかのチェックは、2 分程度かかりますので、使用しない場合は設定を OFF にしておくことをおすすめします。
- DHCP を使用する場合、DNS の動的更新機能を使用しないときには、DHCP サーバで、常に本製品に同じ IP アドレスが割り当てられるように設定しておくことをおすすめします。(IP アドレスが同じでないと、本製品のホスト名と IP アドレスを対応させることができません。)

❑ 必要に応じてメニューの階層を [▲] を押して戻り、[◀]、[▶] で「アドレス」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押して、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。

● 手順 4 で「シュドウ」を選択した場合

❑ [◀]、[▶] で「アドレス」を選択したあと、[実行] ／ [OK] を押して、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。

メモ　「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」は、以下の方法で設定してください。

1. ［◀］、［▶］で目的のフィールドを選択します。
2. ［▲］、［▼］で目的の数値を選択します。
3. すべてのフィールドに対して、1 〜 2 を繰り返します。
4. ［実行］／［OK］を押します。

6 プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行います。

重要　プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに設定が有効になります。ハードリセットの詳細については、「LIPS 機能ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

ARP/PING コマンドによる設定

1 MS-DOS プロンプト、またはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示して、スーパーユーザとしてログインします。

2 以下のコマンドを実行して、arp テーブルに静的なエントリを追加します。

arp（スペース）-s（スペース）＜ IP アドレス＞（スペース）＜ MAC アドレス＞

IP アドレス：　プリンタに割り当てる IP アドレスを指定します。「.」で区切られた 4 つの数字（0 〜 255 の数字）で指定します。

MAC アドレス：　プリンタの MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「-」（UNIX をお使いの場合は「：」）で区切って入力します。

入力例（Windows）：　arp -s 192.168.0.215 00-00-85-46-80-2e

入力例（UNIX）：　arp -s 192.168.0.215 00:00:85:46:80:2e

メモ　IBM-AIX をお使いの場合は、「arp（スペース）-s（スペース）ether（スペース）＜ IP アドレス＞（スペース）＜ MAC アドレス＞」と入力してください。

3 以下のコマンドを実行して、ネットワークボードに IP アドレスを設定します。

実行するコマンド

ping（スペース）＜ IP アドレス＞（スペース）-l（スペース）479　（Windows をお使いの場合）

ping（スペース）-s（スペース）＜ IP アドレス＞（スペース）479　（Solaris 1.x/2.x をお使いの場合）

ping（スペース）< IP アドレス>（スペース）479 （IBM-AIX をお使いの場合）
ping（スペース）< IP アドレス>（スペース）487 （HP-UX をお使いの場合）
ping（スペース）-s（スペース）479（スペース）< IP アドレス> （Linux をお使いの場合）

IP アドレス： 手順 2 で使用した IP アドレスと同じアドレスを指定します。

入力例（Windows）： ping 192.168.0.215 -l 479

メモ
- 「-l」の l は、アルファベットの l（エル）です。
- サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、[0.0.0.0] に設定されます。

これでプリンタのプロトコル設定の準備は完了しました。

NetSpot Device Installer による設定

付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動してプロトコル設定の準備を行う方法については、LIPS ソフトウェアガイド（PDF 取扱説明書）「第 5 章 プリンタのユーティリティソフトウェアを使用するには」を参照してください。

重要
Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をお使いで、Windows ファイアウォール機能が有効になっている場合、NetSpot Device Installer を起動する前に、NetSpot Device Installer をファイアウォールのブロック対象外のプログラムとして登録してください。登録する手順は、NetSpot Device Installer の Readme ファイルを参照してください。

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。「ネットワーク設定項目一覧」（→ P.7-2）を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。ここでは、Web ブラウザ（リモート UI）、FTP クライアントを使用して設定する方法について説明しています。

■ Web ブラウザ（リモート UI）による設定（→ P.3-10）

お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プロトコル設定を行います。

■ FTP クライアントによる設定（→ P.3-26）

コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、プリンタの FTP サーバにアクセスし、プロトコル設定を行います。

リモート UI による設定

1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

入力例： http://192.168.0.215/

SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// ＜本プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /」を入力します。［セキュリティの警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。

重要

- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 6.0 以降、または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ･Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。
- SSL による暗号化通信は、ハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

2 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。

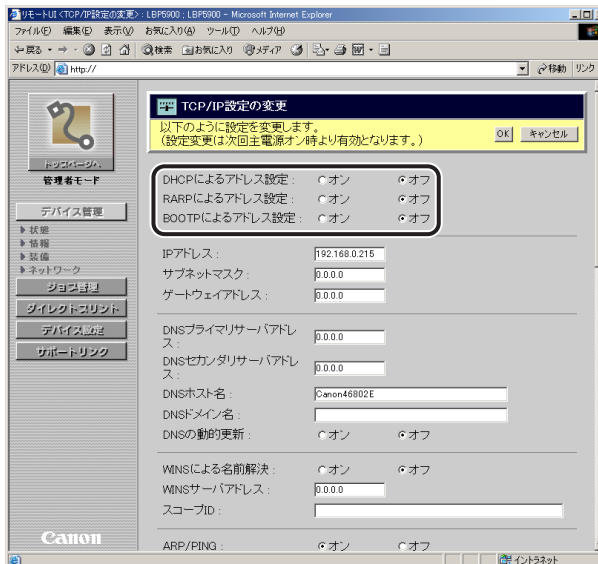
メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［ネットワーク］をクリックします。

4 ［TCP/IP］の右にある［変更］をクリックします。

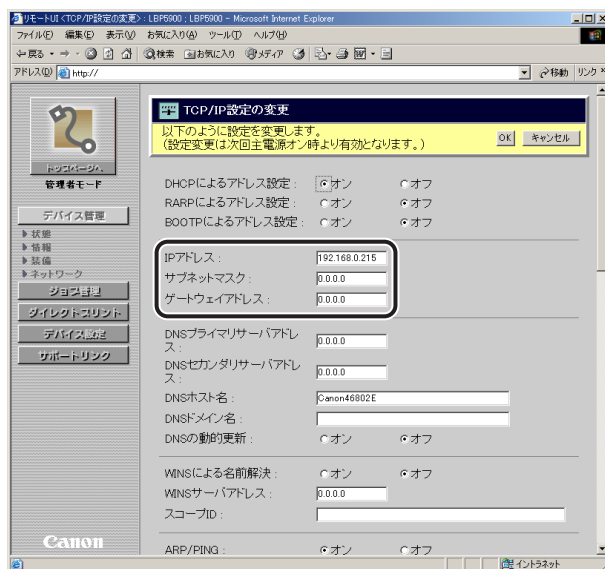
5 プリンタのIPアドレスの設定方法を指定します。[DHCPによるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定] のうち、IP アドレスの設定に使用する項目を［オン］にします。

本プリンタは、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、RARP、BOOTP のいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。

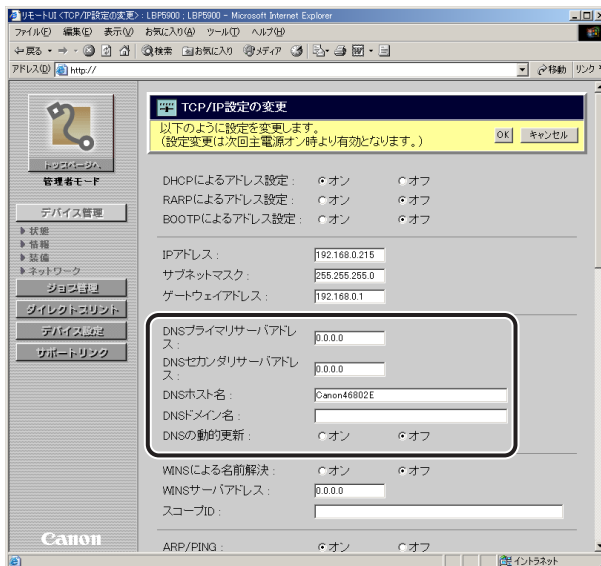
メモ

- DHCP、RARP、BOOTP は、いずれか 1 つのみを選択することができます。
- DHCP、RARP、BOOTP が使用可能かどうかのチェックは 1 ～ 2 分程度かかりますので、使用しない場合は［オフ］にすることをおすすめします。
- DHCP、RARP、BOOTP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、RARP デーモン、BOOTP デーモンが起動されている必要があります。
- DHCP を使用する場合、DNS の動的更新機能を使用しないときには、DHCP サーバで、常に本製品に同じ IP アドレスが割り当てられるように設定しておくことをおすすめします（IP アドレスが同じでないと、本製品のホスト名と IP アドレスを対応させることができません）。

6 ［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

［IP アドレス］には、プリンタの IP アドレスを指定します。［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。

メモ

- DHCP、RARP、BOOTP のいずれかをお使いの場合でも、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定しておいてください。DHCP、RARP、BOOTP のサーバから情報を取得できなかった場合、ここで設定した値を使用します。
- DHCP、RARP、BOOTP のいずれかを使用する設定を行った場合、本プリンタの再起動後は、これらから取得した値が表示されます（あらかじめ設定してあった場合は、DHCP、RARP、BOOTP で取得できた項目については上書きされます）。

7 DNS サーバ、DNS の動的更新機能を使用する場合は、DNS を設定します。

これらを使用しない場合は、手順 8 に進みます。

❑ ［DNS プライマリサーバアドレス］に、DNS プライマリサーバの IP アドレスを入力します。

❑ ［DNS セカンダリサーバアドレス］に、DNS セカンダリサーバの IP アドレスを入力します。

❑ ［DNS ホスト名］に、DNS サーバに登録する本プリンタのホスト名を設定します。

❑ ［DNS ドメイン名］に、本プリンタの所属するドメイン名を入力します。

入力例： sales_dept.xyz_company.co.jp

❑ DNS サーバへの動的更新機能を使用する場合は、［DNS の動的更新］を［オン］に設定します。

動的更新機能を使用しない場合は、［オフ］に設定します。

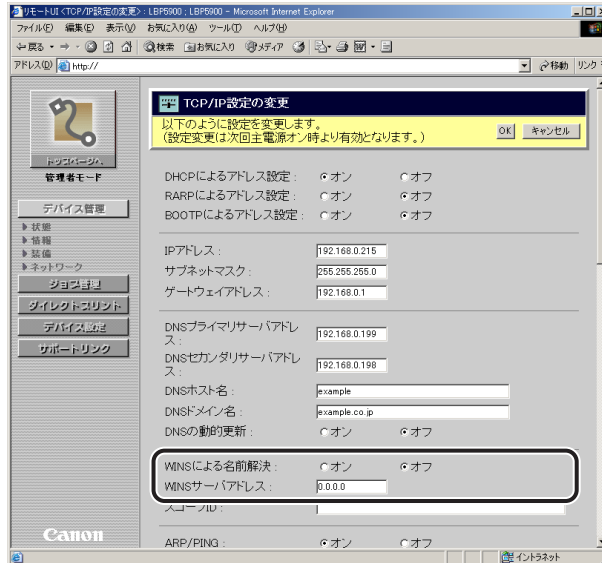
重要

- DNS の動的更新とは、デバイスの IP アドレスとホスト名、ドメイン名に指定した名前を自動的に DNS サーバに登録する機能です。この機能は、ダイナミック DNS サーバがある環境で使用することができます。
- DNS の動的更新機能を使用するには、DNS サーバの IP アドレスと本プリンタのホスト名・ドメイン名の設定が必要です。
- この機能を使用して、LPR で［DNS ホスト名］と［DNS ドメイン名］を指定することで、本プリンタの IP アドレスを固定しなくても使用できるようになります。

メモ

［DNS ホスト名］と［DNS ドメイン名］には、47 文字までの半角英数字を入力できます。

8 WINS を設定します。

WINS を使用しない場合は、手順 10 に進みます。

メモ　WINS（Windows Internet Name Service）は、NetBIOS 名（SMB ネットワークでのコンピュータ名やプリンタ名）と、IP アドレスを対応させるサービスです。WINS を使用するには、WINS サーバが必要です。

● WINS による名前解決を使用する場合

❑［WINS による名前解決］を［オン］に設定します。

❑［WINS サーバアドレス］に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。

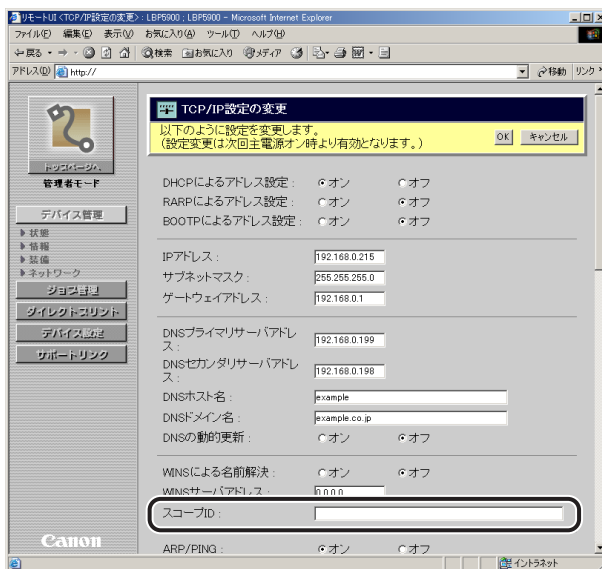
重要　IP アドレスの決定方法が DHCP の場合、DHCP サーバから WINS サーバの IP アドレスを取得したときには、DHCP サーバから取得した IP アドレスが上書きされます。

メモ　WINS サーバ上にプリンタを登録するためには、WINS サーバの設定と、SMB サーバの設定が必要です。SMB サーバの設定は、［ネットワーク］ページの［SMB］で以下の項目を設定します。
・［サーバ名］
・［ワークグループ名］
・［コメント］
・［LM アナウンス］

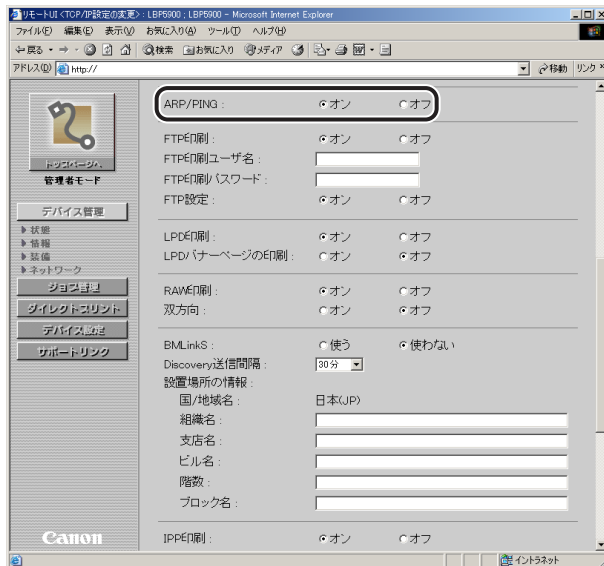
● WINS による名前解決を使用しない場合

❑［WINS による名前解決］を［オフ］に設定します。

9 WINS を使用する場合は、［スコープ ID］を入力します。

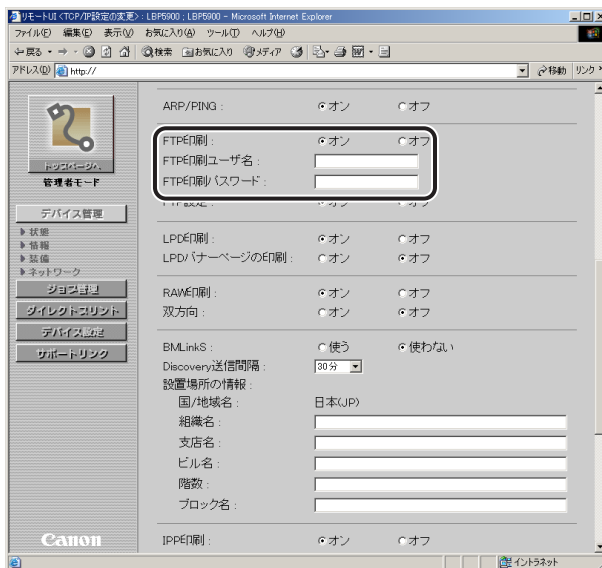
必要に応じて、スコープ ID を入力します。
スコープ ID は、プリンタ、コンピュータが使用できる範囲を決めるための識別子です。
WINS による名前解決の設定に関わらず、スコープ ID を参照します。

重要
- ［スコープ ID］を設定したときは、スコープ ID が異なるコンピュータとは通信できません。
- お使いのネットワーク環境のコンピュータ側でスコープ ID を設定していないときは、［スコープ ID］は空欄にしておいてください。

メモ
［スコープ ID］には、63 文字までの半角英数字を入力できます。

10 ARP/PING を設定します。

❑ ARP/PING 機能を使用する場合は、[ARP/PING] を [オン] に設定します。

ARP/PING 機能を使用しない場合は、[ARP/PING] を [オフ] に設定します。

重要 [オフ] にすると、ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定ができなくなります。

11 FTP 印刷を設定します。

● プリントアプリケーションとして FTP を使用する場合

❏ ［FTP 印刷］を［オン］に設定します。

❏ ［FTP 印刷ユーザ名］に、FTP サーバにログインするためのユーザ名を入力します。

❏ ［FTP 印刷パスワード］に、FTP サーバにログインするためのパスワードを入力します。

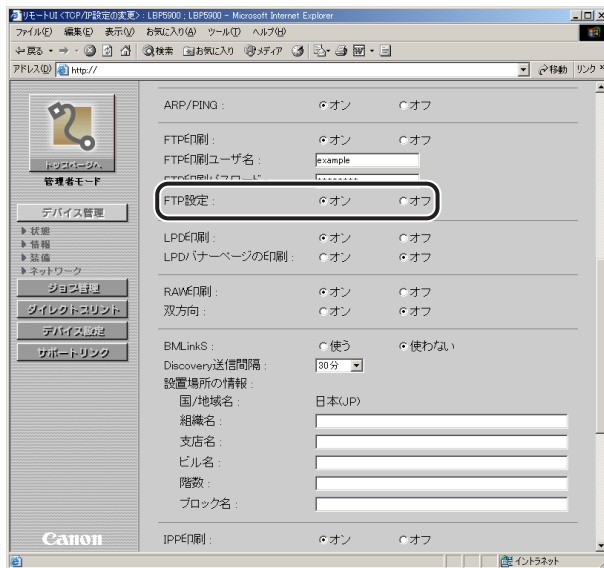
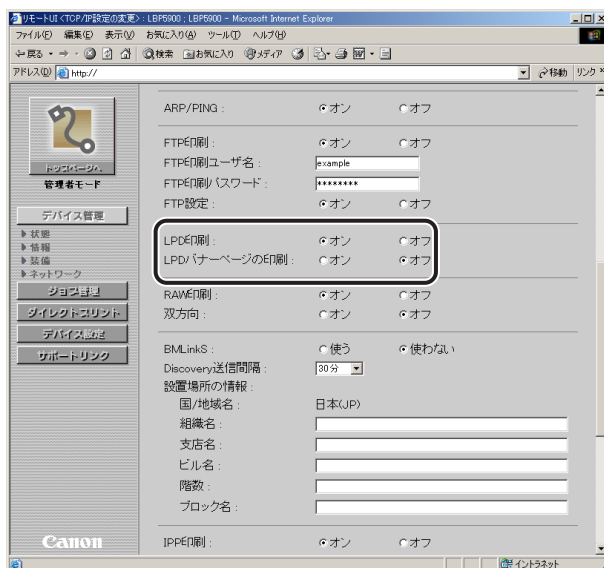
メモ　［FTP 印刷ユーザ名］と［FTP 印刷パスワード］には、24 文字までの半角英数字を入力できます。［FTP 印刷ユーザ名］として、「root」を設定することはできません。

● プリントアプリケーションとして FTP を使用しない場合

❏ ［FTP 印刷］を［オフ］に設定します。

メモ　プリントアプリケーションとは、ネットワークを通して送られた印刷データを受け取り、プリンタへ出力するソフトウェアです。ネットワーク上のプリンタに印刷するためにはプリントアプリケーションが必要となります。本プリンタでは、LPD、Raw、IPP/IPPS、FTP、BMLinkS のプリントアプリケーションに対応しています。

12 FTP クライアントによる設定を行う場合は、[FTP 設定] を [オン] にします。

FTP クライアントによる設定を行わない場合は、[FTP 設定] を [オフ] にします。

13 LPD を設定します。

● プリントアプリケーションとして LPD を使用する場合

❑ ［LPD 印刷］を［オン］に設定します。

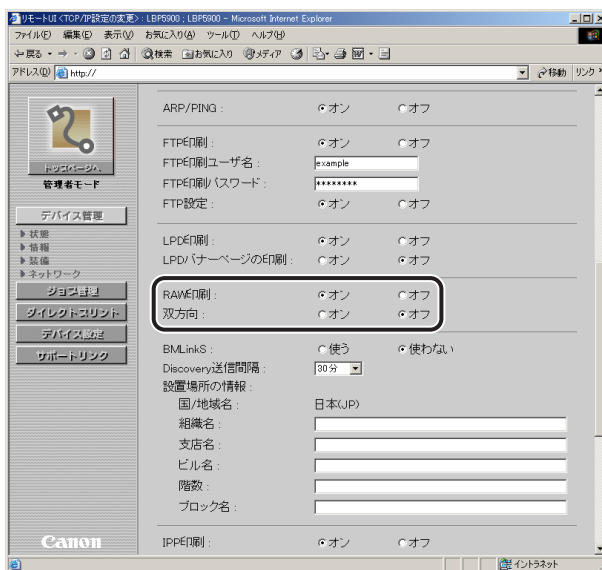
❑ バナーページを出力する場合は、［LPD バナーページの印刷］を［オン］に設定します。

バナーページを出力しない場合は、［LPD バナーページの印刷］を［オフ］に設定します。

重要
- バナーページは、ジョブごとに出力を設定されています。［LPD バナーページの印刷］を［オン］に設定した場合、バナーページを出力するように設定されているジョブのときは、バナーページを出力します。バナーページを出力しないように設定されているジョブのときはバナーページを出力しません。
- ［LPD バナーページの印刷］を［オフ］に設定した場合、ジョブのバナーページの出力設定に関わらず、常にバナーページを出力しません。

● プリントアプリケーションとして LPD を使用しない場合

❑ ［LPD 印刷］を［オフ］に設定します。

14 Raw を設定します。

● プリントアプリケーションとして Raw を使用する場合

❑ ［RAW 印刷］を［オン］に設定します。

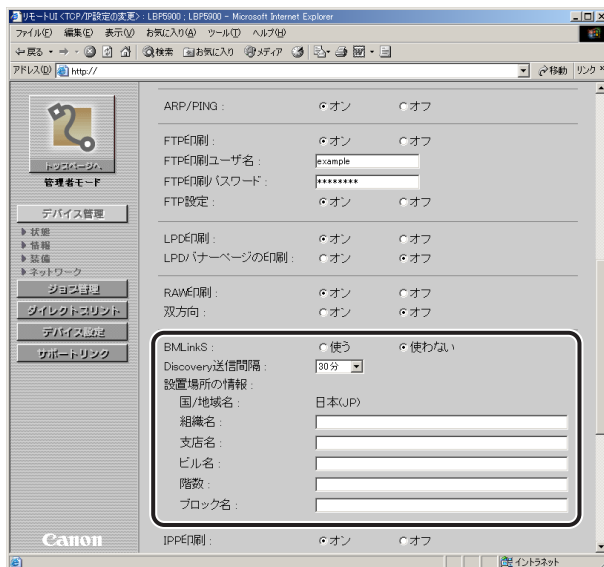
❑ 双方向通信を行うときは、［双方向］を［オン］に設定します。

双方向通信を行わないときには、［オフ］に設定します。

メモ
通常は、変更する必要はありません。

● プリントアプリケーションとして Raw を使用しない場合

❑ ［RAW 印刷］を［オフ］に設定します。

15 BMLinkS を設定します。

● BMLinkS を使用する場合

❑ ［BMLinkS］を［使う］に設定します。

メモ ［BMLinkS］を［使う］に設定した場合、自動的に［HTTP］が［オン］に設定されます。

❑ ［Discovery 送信間隔］で、プリンタの機器情報をネットワークに送信する間隔を設定します。

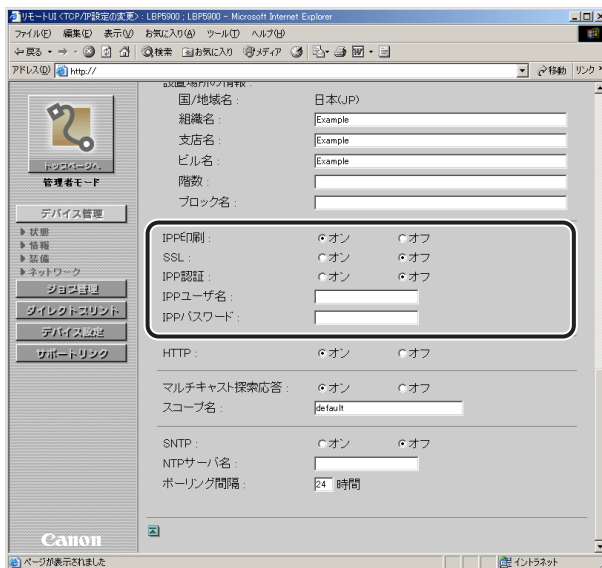
30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、24 時間から選択できます。

❑ 必要に応じて、［組織名］、［支店名］、［ビル名］、［階数］、［ブロック名］を設定します。

メモ ［組織名］、［支店名］、［ビル名］、［階数］、［ブロック名］には、半角 64 文字 / 全角 32 文字まで入力できます。

● BMLinkS を使用しない場合

❑ ［BMLinkS］を［使わない］に設定します。

16 IPP/IPPS を設定します。

● プリントアプリケーションとして IPP/IPPS を使用する場合

❏ ［IPP 印刷］を［オン］に設定します。

メモ　［IPP 印刷］を［オン］に設定した場合、自動的に［HTTP］が［オン］に設定されます。

❏ IPPS（IPP の通信データの SSL による暗号化）を使用する場合は、［SSL］を［オン］にします。

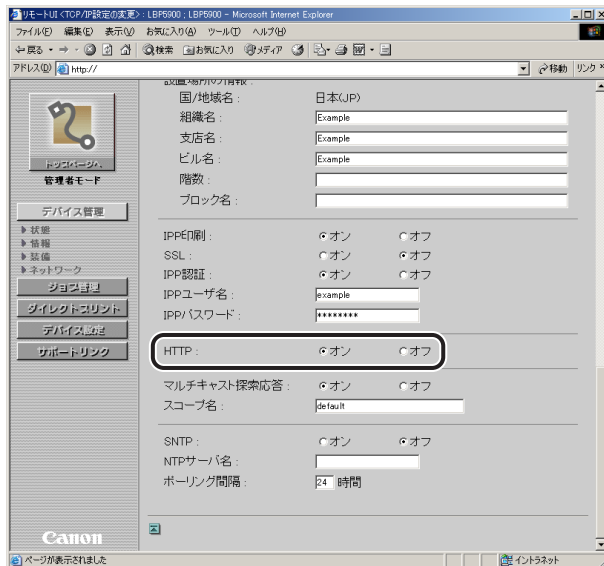
重要
- IPPS は、ハードディスクを装着している場合にのみ使用できます。
- 鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われていない場合は、［SSL］を［オン］に設定できません。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

❏ IPP 認証機能を使用する場合は、［IPP 認証］を［オン］にして、［IPP ユーザ名］に IPP 認証で使用するユーザ名を、［IPP パスワード］に IPP 認証で使用するパスワードを入力します。

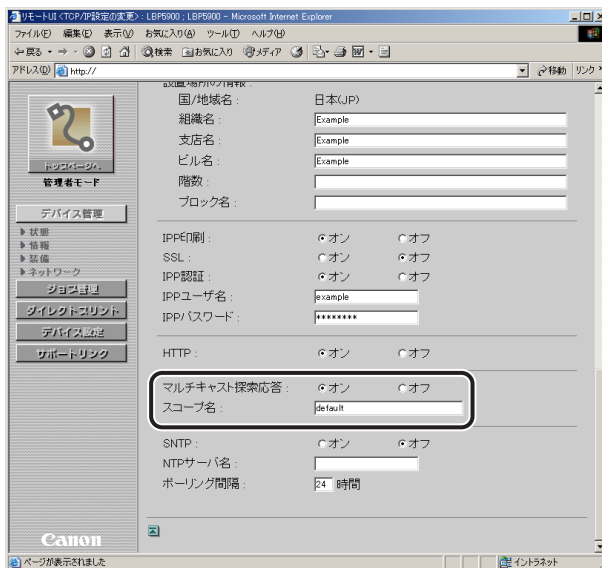
メモ　［IPP ユーザ名］と［IPP パスワード］には、24 文字までの半角英数字を入力できます。

● プリントアプリケーションとして IPP/IPPS を使用しない場合

❏ ［IPP 印刷］を［オフ］に設定します。

17 HTTP を設定します。

❑ Web ブラウザ（リモート UI）や BMLinkS、IPP 印刷を使用する場合は、［HTTP］を［オン］に設定します。

［HTTP］を［オフ］に設定した場合、自動的に［BMLinkS］が［使わない］に、［IPP 印刷］が［オフ］に設定されます。また、プリンタの操作パネルと FTP クライアントからのみ設定できる［リモート UI］も自動的に［オフ］に設定され、リモート UI を使用することができなくなります。

18 マルチキャスト探索を設定します。

● マルチキャストを使用した探索に応答するように設定する場合

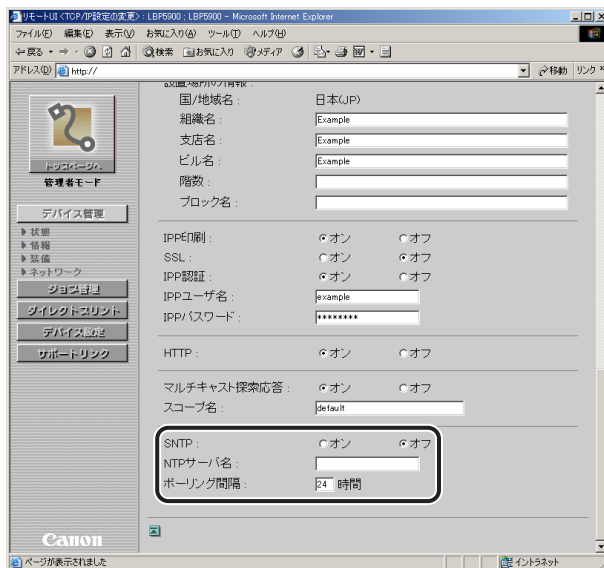
❑ ［マルチキャスト探索応答］を［オン］に設定します。

❑ ［スコープ名］に、NetSpot Device Installer などのユーティリティソフトウェアからマルチキャストによる特定のデバイスの探索をするときに使用するスコープ名を入力します。

メモ ［スコープ名］には、32 文字までの半角英数字を入力できます。

● マルチキャストを使用した探索に応答しないように設定する場合

❑ ［マルチキャスト探索応答］を［オフ］に設定します。

19 SNTP を設定します。

● **SNTP クライアント機能を使用して時刻情報を得る場合**

❑ [SNTP] を [オン] に設定します。

❑ 手順 7 で DNS を設定したときは、[NTP サーバ名] に NTP サーバのサーバ名を入力します。手順 7 で DNS を設定していないときは、[NTP サーバ名] に NTP サーバの IP アドレスを入力します。

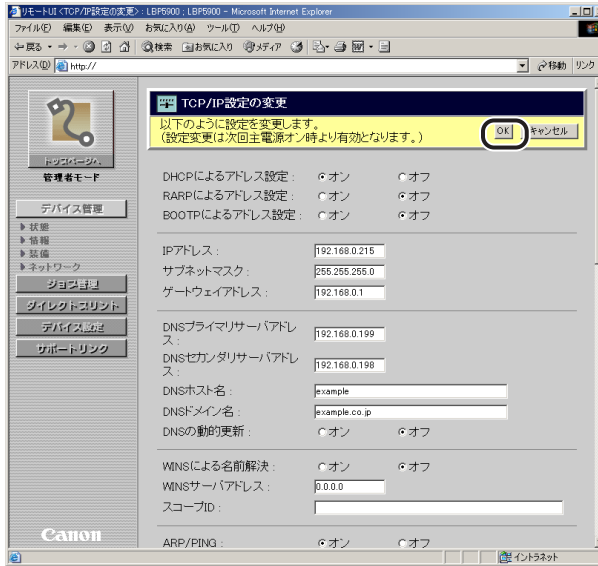
❑ NTP サーバへ時刻情報を問い合わせる間隔を、[ポーリング間隔] で [1] ～ [48] (時間) の間で設定します。

メモ

[SNTP] を [オン] に設定した場合、[ネットワーク] ページに [NTP サーバ確認] が表示されます。[NTP サーバ確認] をクリックすると、設定した NTP サーバと通信を行い、その結果を [NTP サーバ確認結果] に表示します。NTP サーバと正常に通信ができた場合は [OK]、設定ミスや通信エラーなどで NTP サーバと通信ができなかった場合は [エラー] と表示されます。

● **SNTP クライアント機能を使用して時刻情報を得ない場合**

❑ [SNTP] を [オフ] に設定します。

20 設定が終了したら、［OK］をクリックします。

21 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ ハードリセットは、左側の［デバイス管理］のメニューから［状態］をクリックしたあと、［デバイス制御］をクリックします。［デバイス制御］ページで［ハードリセット］を選択したあと、［実行］をクリックします。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

FTP クライアントによる設定

1 MS-DOS プロンプト、またはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示します。

2 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

ftp（スペース）<プリンタの IP アドレス>

入力例： ftp 192.168.0.215

3 ユーザ名として、「root」を入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

● **プリンタにパスワードを設定しているとき**

❑ パスワードを入力します。

● **プリンタにパスワードを設定していないとき**

❑ パスワードは入力せずに、キーボードの［ENTER］キーのみを押します。

メモ
- ユーザ名は、「root」以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。
- Anonymous ログインはできません。

4 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

cd（スペース）config

5 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

get（スペース）CONFIG（スペース）＜ファイル名＞

config ファイルがダウンロードされます。＜ファイル名＞に入力した文字が、ダウンロードされたときの config ファイルのファイル名になります。

メモ
config ファイルのダウンロード先は、お使いの OS の環境や設定によって異なります。config ファイルが見つからない場合は、OS のファイル検索機能を利用して config ファイルを検索してください。

6 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを編集します。

各項目の説明については「ネットワーク設定項目一覧」（→ P.7-2）を参照してください。

7 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

put（スペース）＜ファイル名＞（スペース）CONFIG

メモ
＜ファイル名＞には、ダウンロードしたときに入力した config ファイルのファイル名を入力します。

8 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押し、ネットワークボードをリセットします。

get（スペース）reset

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ
プリンタを再起動しても設定が有効になります。

9 「quit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

10 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

印刷を行うコンピュータの設定

プリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

■ TCP/IP ネットワークに接続する

印刷を行う全コンピュータに TCP/IP クライアントソフトウェアをインストールして、TCP/IP ネットワークが使用できるようにします。詳しくは、OS の説明書を参照してください。

プリントアプリケーションの選択

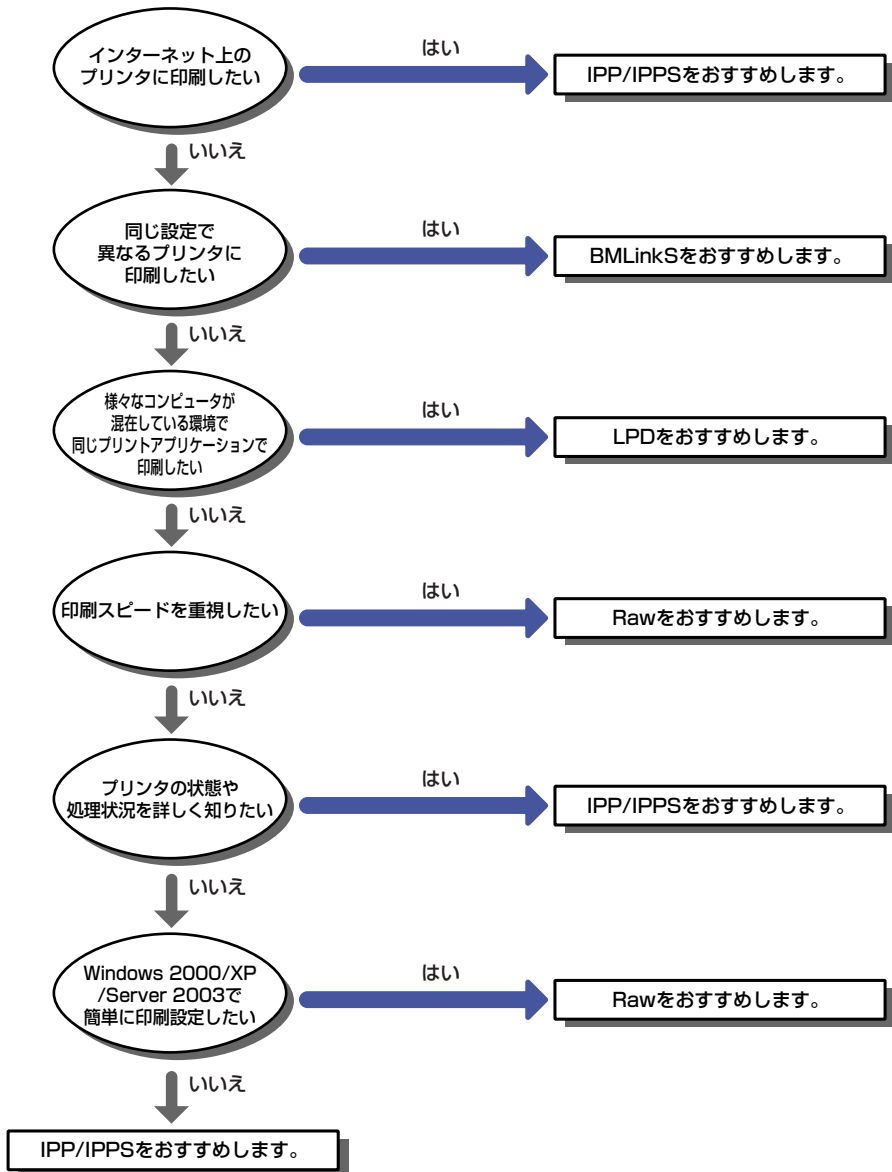
本プリンタを TCP/IP ネットワークで使用する場合、以下のプリントアプリケーションに対応しています。

- LPD
- Raw
- IPP/IPPS
- FTP
- BMLinkS

「プリントアプリケーション診断」（→ P.3-30）を参考にして使用するプリントアプリケーションを決めて、必要な作業を行ってください。

メモ

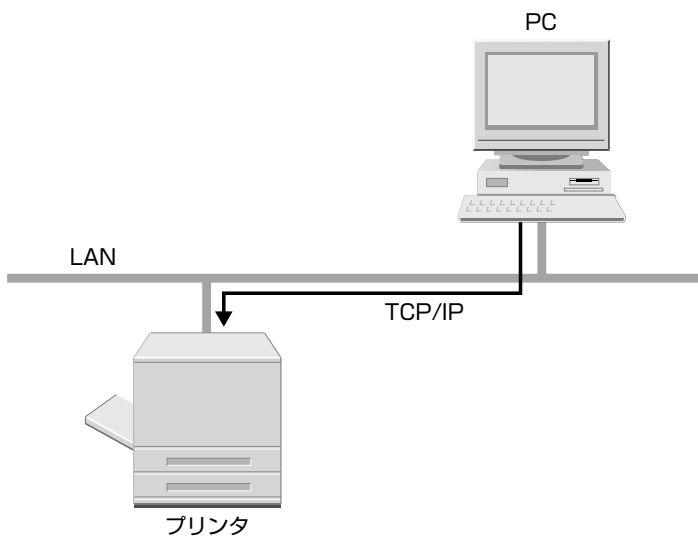
- プリントアプリケーションとは、ネットワークを通して送られた印刷データを受け取り、プリンタへ出力するソフトウェアです。ネットワーク上のプリンタに印刷するためには、プリントアプリケーションが必要となります。
- プリントアプリケーションによって、プリンタの接続先の設定が異なります。プリンタの接続先の設定は、プリンタドライバをインストールしたあとに行います。

■ プリントアプリケーション診断

- LPD の特徴を詳しく理解するには「LPD の特徴」（→ P.3-31）を、設定を行うには「プリンタの接続方法（LPD/Raw）」（→ P.3-34）を参照してください。
- Raw の特徴を詳しく理解するには「Raw の特徴」（→ P.3-32）を、設定を行うには「プリンタの接続方法（LPD/Raw）」（→ P.3-34）を参照してください。
- IPP/IPPS の特徴を詳しく理解するには「IPP/IPPS の特徴」（→ P.3-33）を、設定を行うには「プリンタの接続方法（IPP/IPPS）」（→ P.3-45）を参照してください。

- BMLinkS の特徴や設定方法については、ユーザーズガイド（PDF 取扱説明書）「第 2 章 プリンタの使いかた」を参照してください。

メモ

- FTP クライアントソフトウェアを使用して、印刷を行うこともできます。FTP クライアントソフトウェアを利用して印刷を行う方法は、「FTP クライアントを使用して管理する」（→ P.3-53）を参照してください。
- WindowsでRawまたはIPP/IPPSをお使いになる場合は、プリンタに付属のCD-ROMに入っている、Canon LPR2 をインストールすることをおすすめします。Canon LPR2 のインストールについては、ソフトウェアの CD-ROM に入っている「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。
- 同じ設定で異なるプリンタに印刷するには、印刷するプリンタが BMLinkS 対応機器である必要があります。
- ネットワーク上にWindows 2000/XP/Server 2003があるときは、これらをプリントサーバに設定することによって、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバを設定すると、ジョブはプリントサーバによって管理されます。また、あらかじめプリントサーバに代替プリンタドライバをインストールしておくと、各コンピュータはプリンタドライバをネットワーク経由でインストールできるようになります。これらの設定は、LIPS ソフトウェアガイド（PDF 取扱説明書）「第 2 章 Windows から印刷するには」のプリントサーバ環境のときの手順を参照してください。

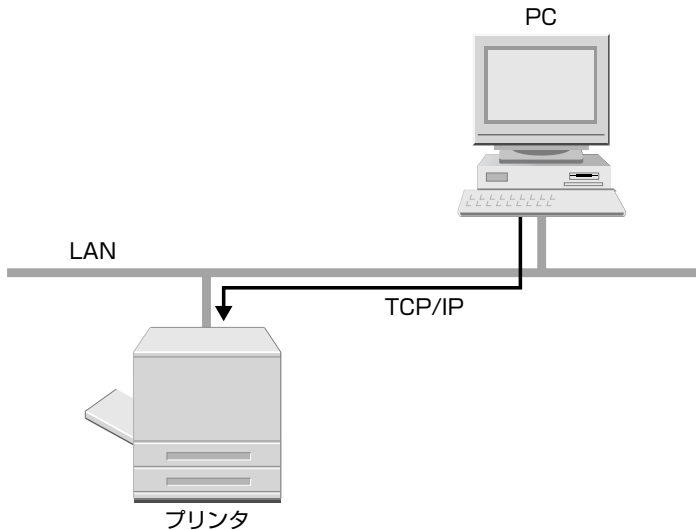
LPD の特徴

Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 で利用できるプリントアプリケーションです。TCP/IP プロトコルのネットワーク環境で、一般的に使用されています。

- LPD 印刷のメリット
  最も標準的なネットワーク印刷方法であり、Windows 2000/XP/Server 2003、Macintosh、UNIX、Linux の OS において標準でサポートされている印刷方法です。
  印刷時にバナーを出すことが可能です。
  印刷実行時にプリンタを再起動してしまった場合、ジョブを再送信するため、印刷が保証されます（印刷時にバイトカウントを設定した場合）。

• LPD 印刷のデメリット
ジョブの詳細情報を取得することができません。

• LPD 印刷を推奨するご利用例
複数人数でプリンタを共有する場合、バナーを使用すると誰の印刷結果であるかの判断がしやすいため、LPD をおすすめします。
また、いろいろな種類の PC（OS）が混在している環境において、一種類のプリントアプリケーションのみで印刷したい場合にも、LPD をおすすめします。

LPD の設定方法は、「プリンタの接続方法（LPD/Raw）」（→ P.3-34）を参照してください。

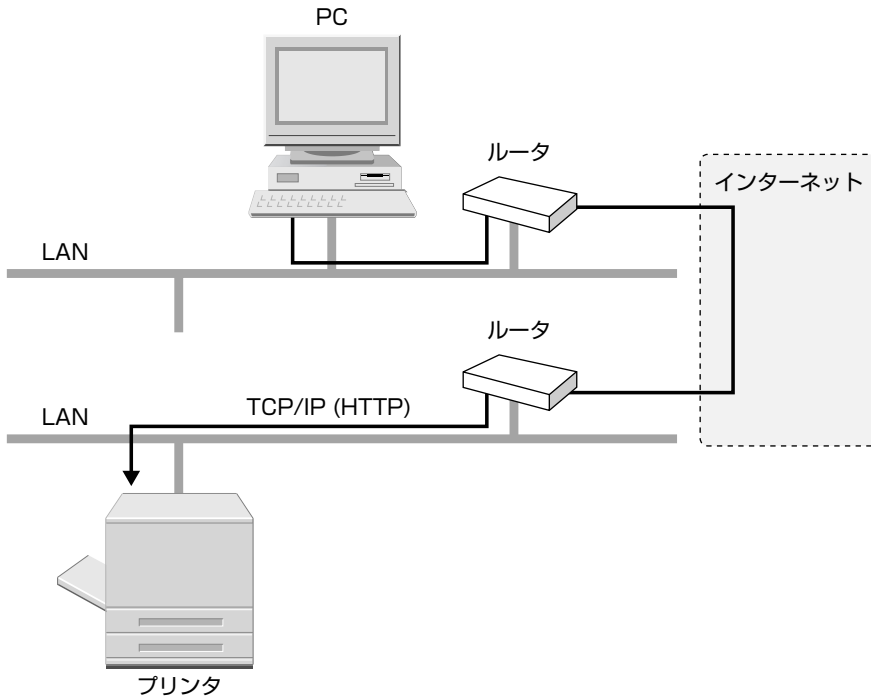
Raw の特徴

Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 で利用できるプリントアプリケーションです。このプリントアプリケーションを利用すると、LPD より速く印刷できます。

• Raw 印刷のメリット
他のプリントアプリケーションに比べ、最も早く印刷します。
Windows 2000/XP/ Server 2003 環境での印刷においては、設定が最も簡単に行えます。

• Raw 印刷のデメリット
ジョブの詳細情報を取得することができません。
OS 標準でサポートしているのは、Windows 2000/XP/Server 2003 のみであり、Macintosh、UNIX、Linux ではサポートしていません。

• Raw 印刷を推奨するご利用例
Windows 2000/XP/Server 2003 環境で、プリンタの設置後すぐに使用したい場合は、Raw をおすすめします。

Raw の設定方法は、「プリンタの接続方法（LPD/Raw）」（→ P.3-34）を参照してください。

IPP/IPPS の特徴

IPP は、Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003 などで利用できるプリントアプリケーションです。このプリントアプリケーションを利用すると、LAN（社内ネットワークなど）上のプリンタだけでなく、インターネットを経由して、遠隔地にあるプリンタにも印刷できます。IPPS は、IPP を使用するときに SSL による暗号化通信を行うプリントアプリケーションです。IPPS は、ハードディスクを装着している場合に、Windows 2000/XP/Server 2003 で利用できます。

- IPP/IPPS 印刷のメリット
  インターネット上のプリンタに対して、印刷を行うことができます。
  また、ジョブやプリンタに関する情報を取得することができます。
- IPP/IPPS 印刷のデメリット
  他のプリントアプリケーションに比べ、印刷に比較的時間がかかります。
- IPP/IPPS 印刷を推奨するご利用例
  インターネット越しに、遠隔地のプリンタに印刷結果を出力する場合、IPP/IPPS 印刷をおすすめします。

IPP/IPPS の設定方法は、「プリンタの接続方法（IPP/IPPS）」（→ P.3-45）を参照してください。

プリンタの接続方法（LPD/Raw）

Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合

メモ　ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

■新規にプリンタドライバをインストールするとき

1 **プリンタドライバをインストールします。**

LIPS ソフトウェアガイド（PDF 取扱説明書）「第 2 章 Windows から印刷するには」のネットワーク上のプリンタを自動探索する手順に従って、プリンタ ドライバをインストールします。

メモ　上記手順でプリンタドライバをインストールした場合、プリントアプリケーションは Raw となります。LPD をお使いになる場合は、上記手順でプリンタドライバをインストール後に、以下の「プリンタドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき」の手順に従って、ポートを変更してください。

■プリンタドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき

1 **Canon LPR2 を利用してポートを変更します。**
Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 に進みます。

プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールして、ポートの変更を行います。インストールおよびポート変更の手順については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

Canon LPR2 を利用する場合、これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了します。

重要　Canon LPR2 で LPD を利用する場合は、[LPR キュー名] に「lp」を入力してください。

メモ　Canon LPR2 をインストールしなくても、OS に標準の機能で LPD と Raw を設定できます。Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 ～ 12 を参照してください。

2 **［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダを表示します。**

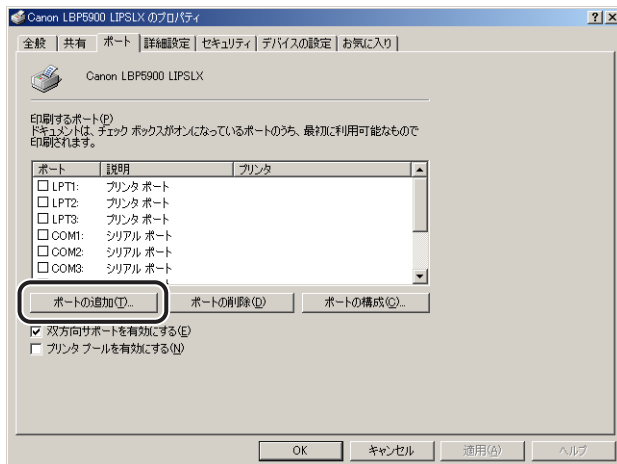
Windows 2000 の場合は、[スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] の順にクリックします。

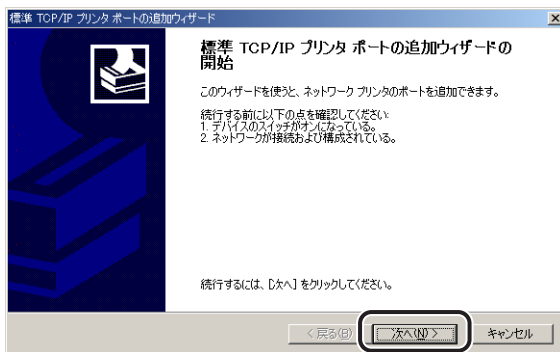
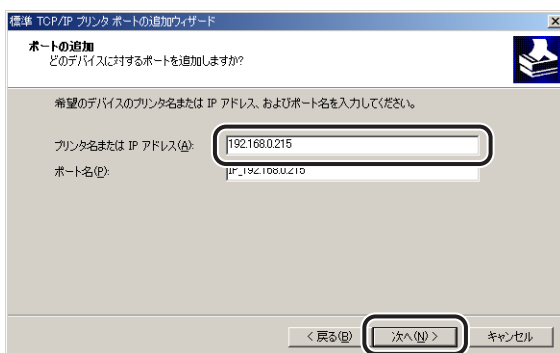
［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダが表示されます。

3 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

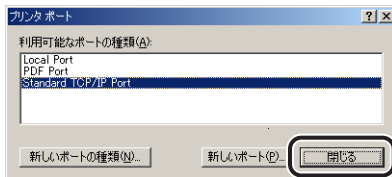
プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

4 ［ポート］タブをクリックして、［ポート］ページを表示します。

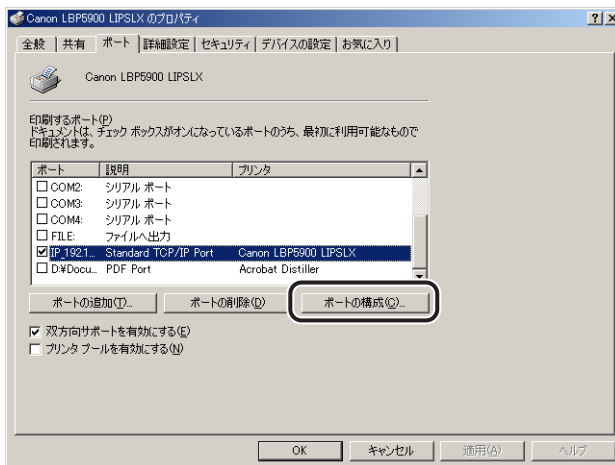
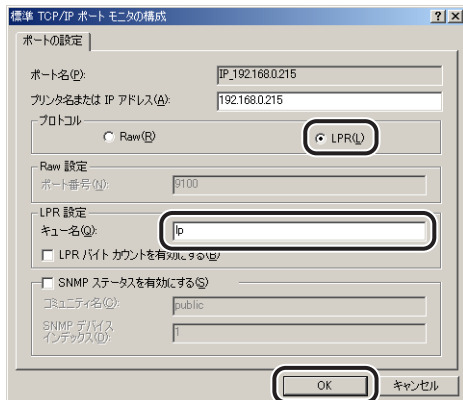
5 ［ポートの追加］をクリックします。

6 ［利用可能なプリンタポートの種類］から［Standard TCP/IP Port］を選択したあと、［新しいポート］をクリックします。

7 ［次へ］をクリックします。

8 ［プリンタ名またはIPアドレス］にプリンタのIPアドレスまたは名前を入力したあと、［次へ］をクリックします。

9 入力したIPアドレスのプリンタがあることが確認されて［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードの完了］ウィンドウが表示されたら、［完了］をクリックします。

画面に「ポート情報がさらに必要です。」と表示されたときは、画面の指示に従って再検索を行うか、［デバイスの種類］で［標準］→［Canon Network Printing Device with P9100］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

10 ［閉じる］をクリックします。

LPD を使用する場合は、手順 11 に進みます。
Raw を使用する場合は、［OK］をクリックします。これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

11 LPD を使用する場合は、ポートの構成情報を変更します。

❑ プリンタプロパティダイアログボックスで、［ポートの構成］をクリックします。

❏ ［プロトコル］で［LPR］を選択して、［LPR 設定］の［キュー名］に「lp」と入力したあと、［OK］をクリックします。

12 ［OK］をクリックします。

これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

Windows 98/Me をお使いの場合

■新規にプリンタドライバをインストールするとき

1 プリンタドライバをインストールします。

LIPS ソフトウェアガイド（PDF 取扱説明書）「第 2 章 Windows から印刷するには」のネットワーク上のプリンタを自動探索する手順に従って、プリンタドライバをインストールします。

重要　プリンタドライバをインストールする途中でプリンタとの通信に失敗すると、エラーメッセージが表示されます。このときは、［いいえ］をクリックしたあと、バイトカウントモードを OFF に設定してください。

メモ　上記手順でプリンタドライバをインストールした場合、プリントアプリケーションは LPD となります。Raw をお使いになる場合は、上記手順でプリンタドライバをインストール後に、以下の「プリンタドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき」の手順に従って、ポートを変更してください。

■プリンタドライバをインストールしたあとでポートを変更するとき

1 Canon LPR2 を利用してポートを変更します。Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 に進みます。

プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールして、ポートの変更を行います。インストールおよびポート変更の手順については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

Canon LPR2 を利用する場合、これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了します。

重要 Canon LPR2 で LPD を利用する場合は、[LPR キュー名] に「lp」を入力してください。

メモ

- Canon LPR2 をインストールしなくても、OS に標準の機能で LPD を設定できます。Canon LPR2 を利用しない場合は、手順 2 〜 9 を参照してください。
- Canon LPR2 を利用しない場合、Raw は設定できません。

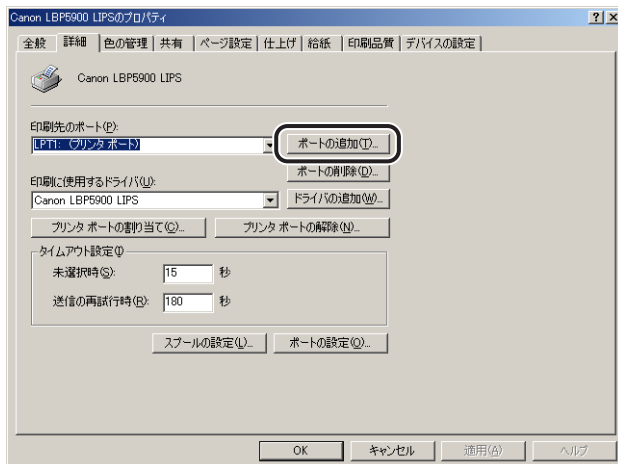
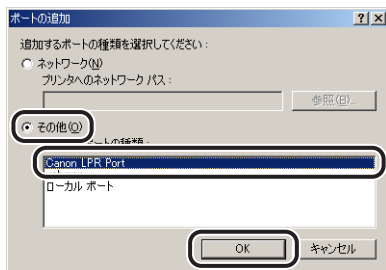
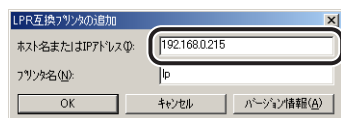
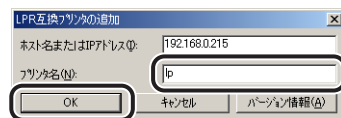
2 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。

[プリンタ] フォルダが表示されます。

3 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。

プリンタプロパティダイアログボックスが表示されます。

4 [詳細] タブをクリックして、[詳細] ページを表示します。

5 [ポートの追加] をクリックします。

6 [その他]を選択し、[Canon LPR Port]を選択したあと、[OK]をクリックします。

7 [ホスト名またはIPアドレス]にプリンタの名前またはIPアドレスを入力します。

8 [プリンタ名]に「lp」を入力したあと、[OK]をクリックします。

9 [OK]をクリックします。

これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

Linux をお使いの場合

ここでは、LPD を使用した印刷について説明しています。FTP を使用して印刷する手順については、「FTP クライアントを使用して管理する」（→ P.3-53）を参照してください。

- 以下は Red Hat Professional Workstation、Laser5 Linux 7.2、Turbolinux 10 Desktop を使用した設定手順の例です。お使いの環境によっては、設定手順が異なることがあります。
- Linux OSをインストールしたPCを単体のワークステーションとして利用する場合も、以下の手順に沿って設定してください。

1 Linux サーバに root ユーザとしてログインします。

重要　Linux サーバ上の root ユーザ権限を持っていない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2 /etc/hostsファイルを編集して、プリンタをローカルネットワーク上に登録します。

❏ /etc/hosts ファイルをテキストエディタで開きます。

❏ 以下の一行を追加します。

書式：　<プリンタの固定 IP アドレス> (tab) <プリンタ名> (tab) # <コメント>

入力例：　192.168.0.155　LBP5900　# 追加するプリンタ

❏ /etc/hosts ファイルを保存後、テキストエディタを終了します。

重要
- Linux OSからの印刷を行う場合は、必ずプリンタに固定IPアドレスを設定してください。（→プリンタの操作パネルによる設定：P.3-6）
- プリンタに［DNS ホスト名］を既に登録済の場合は、<プリンタ名> に［DNS ホスト名］と同じ文字列を設定してください。（→リモート UI による設定：P.3-10）

3 Linux サーバ上にスプーリングシステムを設定します。

● Red Hat Linux をお使いの場合の設定例：

❏ プリンタ設定を立ち上げます。プリンタ設定はメニューの「システム設定」→「プリンタ設定」から立ち上げます。

❏ プリンタ設定ウィンドウで「新規」をクリックします。

❏ ダイアログが表示されるので「進む」をクリックします。

❏ プリンタ名を設定します。「名前」にプリンタの名前を設定し、「簡単な説明」にプリンタの説明を設定したあと、「進む」をクリックします。

❏ プリンタタイプを選択します。「プリンタタイプの選択」に「ネットワーク上の UNIX(LPD)」を選択します。「サーバ」に手順 2 で追加したプリンタ名またはプリンタの IP アドレスを設定し、「プリンタ」に「lp」を設定したあと、「進む」をクリックします。

❏ プリンタモデルを選択します。「プリンタの製造元」に「Canon」を選択し、モデルにお使いのプリンタを選択したあと、「進む」をクリックします。

❏ 設定内容の確認を行い、「適用」をクリックします。

❏ 必要に応じてテストページの印刷を行います。

● LASER5 Linux をお使いの場合の設定例：

❏ デスクトップの「ここからスタート」アイコンをダブルクリックし、Nautilus を立ち上げます。

- ❏「システム設定」をダブルクリックします。
- ❏「プリンタ設定」をダブルクリックし、printconf を立ち上げます。
- ❏ printconf のツールバーから「新規」をクリックします。
- ❏ ダイアログが表示されたら、「次」をクリックします。
- ❏「プリンタ名」にプリンタ名を設定します。「プリンタタイプ」に「UNIX プリンタ」を選択し、「次」をクリックします。
- ❏「サーバ」に手順2で追加したプリンタまたはプリンタのIPアドレスを設定し、「プリンタ」に「lp」を設定したあと、「次」をクリックします。
- ❏「プリンタドライバの選択」にお使いのプリンタを選択し、「次」をクリックします。
- ❏ 設定内容の確認を行い、「完了」をクリックします。

● Turbolinux をお使いの場合の設定例：

- ❏ メニューの「設定」→「プリンタ設定」から印刷マネージャを起動します。
- ❏ 印刷マネージャの「現在の印刷システム」を「CUPS（Common UNIX Print System)」にします。
- ❏ 印刷マネージャの「追加」→「プリンタ / クラスの追加」を選択します。
- ❏ ダイアログが表示されたら、「次」をクリックします。
- ❏「リモート LPD キュー」を選択したあと、「次」をクリックします。
- ❏「ホスト」に手順2で追加したプリンタまたはプリンタのIPアドレスを設定し、「キュー」に「lp」を設定したあと、「次」をクリックします。
- ❏「製造者」に「CANON」を選択し、モデルにお使いのプリンタを選択したあと、「次」をクリックします。
- ❏ 必要に応じて「テスト」をクリックしてプリンタテストを行い、「次」をクリックします。
- ❏ バナーの選択後、「次」をクリックします。
- ❏ プリンタのクオータの設定後、「次」をクリックします。
- ❏ ユーザアカウント設定後、「次」をクリックします。
- ❏「名前」にプリンタ名を指定し、「次」をクリックします。
- ❏ 設定内容を確認し、「完了」をクリックします。

4 印刷できるかどうか確認します。

書式：lp（スペース）-d（スペース）＜プリンタ名＞（スペース）＜印刷するファイル名＞

入力例： lp -d LBP5900 report

これで印刷するための設定が完了しました。

UNIX をお使いの場合

ここでは、LPD を使用した印刷について説明しています。FTP を使用して印刷する手順については、「FTP クライアントを使用して管理する」（→ P.3-53）を参照してください。

重要
- 以下は設定手順の例です。お使いの環境によっては、設定手順が異なることがあります。
- UNIX OSをインストールしたPCを単体のワークステーションとして利用する場合も、以下の手順に沿って設定してください。

1 UNIX サーバに root ユーザとしてログインします。

重要
UNIX サーバ上の root ユーザ権限を持っていない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2 /etc/hosts ファイルを編集して、プリンタをローカルネットワーク上に登録します。

❑ /etc/hosts ファイルをテキストエディタで開きます。

❑ 以下の一行を追加します。

書式：<プリンタの固定 IP アドレス> (tab) <プリンタ名> (tab) # <コメント>

入力例：　192.168.0.155　LBP5900　# 追加するプリンタ

❑ /etc/hosts ファイルを保存後、テキストエディタを終了します。

重要
- UNIX OSからの印刷を行う場合は、必ずプリンタに固定IPアドレスを設定してください。（→プリンタの操作パネルによる設定：P.3-6）
- プリンタに［DNS ホスト名］を既に登録済の場合は、<プリンタ名>に［DNS ホスト名］と同じ文字列を設定してください。（→リモート UI による設定：P.3-10）

3 UNIX サーバ上にスプーリングシステムを設定します。

● **Solaris 1.x をお使いの場合の設定例：**

❑ /etc/printcap ファイルに次の内容を追加します。

書式：
```
: <印刷キュー名> ¦ <コメント> :¥
:lp= <デバイスのスペシャルファイル> :¥
:sd= <スプールディレクトリ> :¥
::if= <ログファイルディレクトリ> :¥
:rm= <プリンタの IP アドレスまたはプリンタ名>
```

入力例：
```
:print_queue_name¦comments:¥
:lp=/var/spool/print_queue_name/.null:¥
:sd=/var/spool/print_queue_name:¥
:if=/var/spool/print_queue_name/log:¥
:rm=printer_host_name
```

メモ　rm 行には、/etc/hosts ファイルに記述した < プリンタ名 > と同じ内容を記述します。

❑ プリンタのスプールディレクトリを作成します。以下のコマンドを実行します。

書式：
mkdir（スペース）-p（スペース）<スプールディレクトリ>
chown（スペース）daemon（スペース）<スプールディレクトリ>

入力例：
```
mkdir -p /var/spool/print_queue_name
chown daemon /var/spool/print_queue_name
```

メモ　<スプールディレクトリ> には、/etc/printcap ファイルに追加した文字列と同じ内容を記述します。

❑ プリンタのログファイルを作成します。以下のコマンドを実行します。

書式：
cp（スペース）/dev/null（スペース）<ログファイルディレクトリ>

入力例：
```
cp /dev/null /var/spool/print_queue_name/log
```

● Solaris 2.x 以降をお使いの場合の設定例：

❑ admintool ユーティリティを起動します。

❑ ［Browse］→［Printers］を選択します。

❑ ［Edit］→［Add］→［Access to Printer］を順に選択します。

❑ ［Printer Name］に任意の印刷キュー名を、［Print Server］にプリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。

❑ ［OK］を選択します。

● HP-UX をお使いの場合の設定例：

❑ SAM ユーティリティを起動します。

❑ ［Printers and Plotters］を選択します。

❑ ［Printers and Plotters］メニューから［LP Spooler］を選択します。

❑ ［LP Spooler］メニューから［Printers and Plotter］を選択します。

❑ ［Action］メニューから［Add Remote Printer/Plotter］を選択します。

❑ ［Printer Name］、［Remote System Name］に、任意の印刷キュー名と、プリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。

❑ ［Remote Printer Name］に「lp」と入力します。

❑ ［Remote Printer is on a BSD System］を選択します。

❑ ［OK］を選択します。

● IBM-AIX をお使いの場合の設定例：

❑ SMIT ユーティリティを起動します。

❑ ［印刷スプーリング］→［印刷待ち行列の追加］→［remote］を順に選択します。

❑ ［標準処理の追加］を選択します。

❑ ［追加する待ち行列名］、［リモートサーバのホスト名］に、任意の印刷待ち行列名、プリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。

❑ リモートサーバ上の［待ち行列名］に「lp」と入力します。

❑ リモートサーバ上の［印刷スプーラタイプ］に「BSD」と入力します。

メモ　admintool ユーティリティ、SAM ユーティリティ、SMIT ユーティリティは、OS に付属のユーティリティです。詳しい使用方法は、各 OS の説明書を参照してください。

4 **以下の印刷コマンドを実行して、印刷できるかどうか確認します。**

書式：
lp（スペース）-d（スペース）<印刷キュー名>（スペース）<印刷するファイル名>

入力例： lp -d print_queue_name report

これで印刷するための設定が完了しました。

プリンタの接続方法（IPP/IPPS）

Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合

メモ
- Canon LPR2 のインストールによっても、IPP/IPPS を使用した印刷を設定できます。詳細については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。
- ここでは、 Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

1 **受信 / 印刷範囲設定を確認します。**

［拒否アドレスを有効にする］または［許可アドレスを有効にする］が設定されている場合に、プリンタドライバをインストールするコンピュータの IP アドレスが、印刷を許可されているかどうかを確認します。（→印刷や設定できるユーザを IP アドレスによって制限する：P.3-68）

重要
- ［受信 / 印刷範囲設定］の［拒否アドレスを有効にする］または［受信 / 印刷範囲設定］の［許可アドレスを有効にする］で印刷を制限されている IP アドレスの場合、プリンタドライバをインストールすることができません。
- プリンタドライバをインストールしたコンピュータの IP アドレスが、［受信/印刷範囲設定 拒否アドレスを有効にする］または［受信 / 印刷範囲設定 許可アドレスを有効にする］で印刷を制限されるようになった場合、そのコンピュータからは印刷できません。

2 ［プリンタ］または［プリンタとFAX］フォルダを表示します。

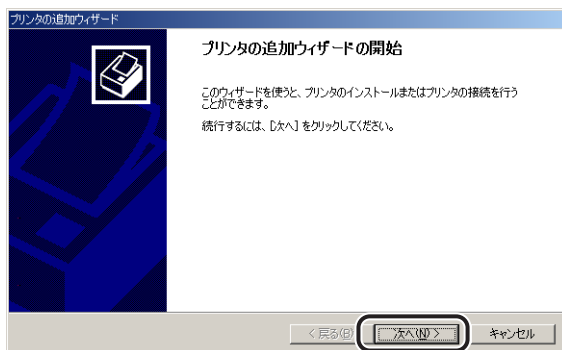
Windows 2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタとFAX］の順にクリックします。

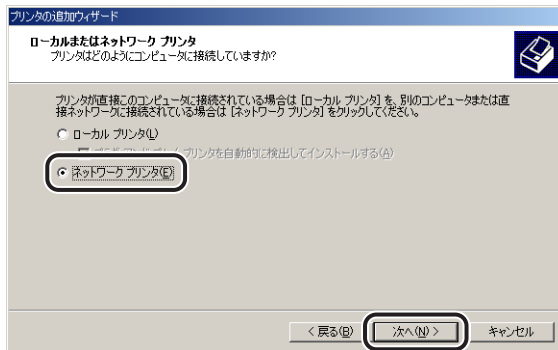
［プリンタ］または［プリンタとFAX］フォルダが表示されます。

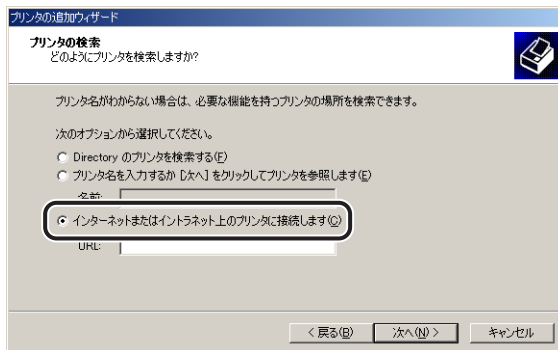
3 ［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスを表示します。

Windows 2000 の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。
Windows XP Professional/Home Edition の場合は、［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

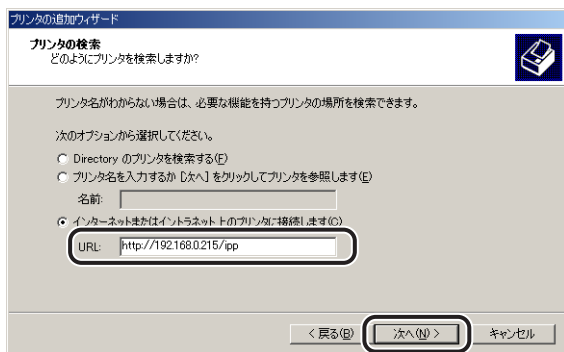
［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

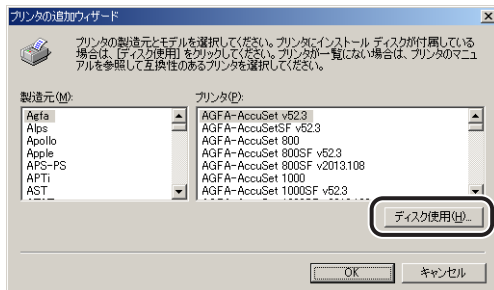
4 ［次へ］をクリックします。

5 ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows XP/Server 2003の場合は、［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

6 ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続する］を選択します。

Windows XP/Server 2003 の場合は、［インターネット上または自宅／会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択します。

7 ［URL］に以下の URL を入力し、［次へ］をクリックします。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /ipp

SSL による暗号化通信を利用して IPPS 印刷を行う場合は、「https:// <本プリンタの IP アドレスまたは名前> /ipp」を入力します。

重要
- IPPS は、ハードディスクを装着している場合に、TCP/IP 設定で IPP 印刷の［SSL］が［オン］に設定されているときにのみ使用できます。IPP 印刷の設定方法は、「プリンタのプロトコル設定」（→ P.3-10）を参照してください。
- 鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われていない場合は、IPP 印刷の［SSL］を［オン］に設定できません。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

8 ［ディスク使用］をクリックして、CD-ROM ドライブの中のプリンタドライバが入っているフォルダを指定します。

9 IPP認証機能を使用している場合(→プリンタのプロトコル設定:P.3-10)は、パスワード入力を求められたら、ユーザ名とパスワードを入力したあと、［OK］をクリックします。

10 画面の指示に従ってインストールを完了させます。

Canon LPR2 をお使いになる場合は、あらかじめ Canon LPR2 をインストールする必要があります。この場合は、［利用可能なプリンタポートの種類］から［Canon LPR 2.0］を選択します。詳細については、「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

Windows 98/Me をお使いの場合

メモ

- Windows 98/Meをお使いの場合、マイクロソフト社から提供されるWindows 98/Me用 IPP クライアントソフトウェアのインストールによっても、IPP を使用した印刷を設定できます。
- 手順中の画面や項目名は、Windows Me のものです。お使いの OS の種類によっては、項目名などが異なることがあります。

---

1 受信 / 印刷範囲設定を確認します。

［拒否アドレスを有効にする］または［許可アドレスを有効にする］が設定されている場合に、プリンタドライバをインストールするコンピュータの IP アドレスが、印刷を許可されているかどうかを確認します。（→印刷や設定できるユーザを IP アドレスによって制限する：P.3-68）

重要

- ［受信 / 印刷範囲設定］の［拒否アドレスを有効にする］または［許可アドレスを有効にする］で印刷を制限されている IP アドレスの場合、プリンタドライバをインストールすることができません。
- プリンタドライバをインストールしたコンピュータの IP アドレスが、［受信 / 印刷範囲設定］の［拒否アドレスを有効にする］または［許可アドレスを有効にする］で印刷を制限されるようになった場合、そのコンピュータからは印刷できません。

2 プリンタに付属の CD-ROM に入っている、Canon LPR2 をインストールしたあと、コンピュータを再起動します。

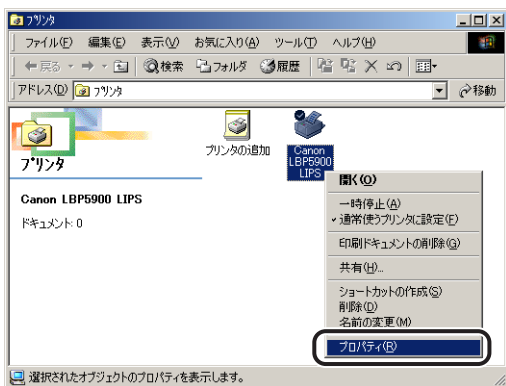
Canon LPR2のインストールについては、ソフトウェアのCD-ROMに入っている「Canon LPR2 ユーザーズガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

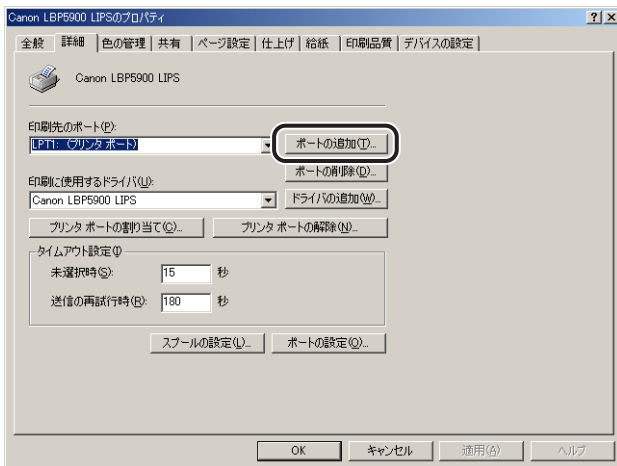
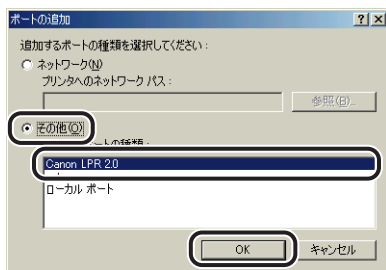
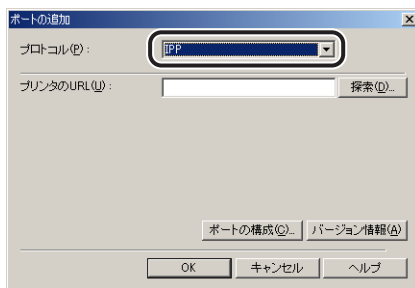
3 プリンタドライバをインストールします。

LIPS ソフトウェアガイド（PDF 取扱説明書）「第 2 章 Windows から印刷するには」のローカル接続、ネットワーク環境のときにインストールする手順に従って、プリンタドライバをインストールします。

4 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

5 手順３でインストールしたプリンタのアイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。

6 [詳細] タブをクリックして、[詳細] ページを表示します。

7 [ポートの追加] をクリックします。

8 ［その他］をクリックして、［Canon LPR 2.0］を選択したあと、［OK］をクリックします。

9 ［プロトコル］から［IPP］を選択します。

10 ［プリンタのURL］に以下のURLを入力したあと、［OK］をクリックします。

http:// <プリンタのIPアドレスまたは名前> /ipp

メモ ハードディスクを装着している場合であっても、Windows 98/Meでは、SSLによる暗号化通信を利用してIPPS印刷を行うことはできません。

11 IPP認証機能を使用している場合（→プリンタのプロトコル設定：P.3-10）は、パスワード入力を求められたら、ユーザ名とパスワードを入力したあと、［OK］をクリックします。

12 ［OK］をクリックします。

これでプリンタドライバのインストールとポートの設定が完了しました。

プリンタの管理

本プリンタでは、以下のソフトウェアを使用して、お使いのコンピュータ上からプリンタの状態の確認や各種設定など、ネットワーク環境でプリンタの管理を行うことができます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。「ネットワーク設定項目一覧」(→ P.7-2)を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。

■ **Web ブラウザ（リモート UI）**

リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザを使ってプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プリンタの状態の確認、ネットワークやセキュリティに関する設定などができます。

■ **FTP クライアント**

FTP クライアントは、コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、プリンタの FTP サーバにアクセスし、デバイスに関するさまざまな情報の設定やネットワークやセキュリティに関する設定ができます。

■ **NetSpot Device Installer**

NetSpot Device Installer は、付属の CD-ROM に収められているソフトウェアです。NetSpot Device Installer はインストールが不要なソフトウェアで、付属の CD-ROM から NetSpot Device Installer を起動し、基本的なプロトコル設定などができます。

リモート UI を使用して管理する

本プリンタに内蔵されているリモート UI というソフトウェアを使用して、Web ブラウザ上でプリンタを管理することができます。

リモート UI の起動方法は、「リモート UI による設定」（→ P.3-10）の手順 1 を参照してください。また、以下の設定以外のリモート UI の使用方法については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

- デバイス情報の変更 （デバイス名や管理者情報の登録・変更）（→ P.3-55）
- 管理設定の変更（→ P.3-59）
- 印刷や設定できるユーザを IP アドレスによって制限する（→ P.3-68）
- アクセスできるユーザを MAC アドレスによって制限する（→ P.3-77）
- E メール印刷の変更（→ P.3-82）

メモ　「リモート UI ガイド」は、Adobe Acrobat Reader を使って画面上に表示、印刷することができる PDF 取扱説明書で、プリンタに付属の CD-ROM に収められています。

FTP クライアントを使用して管理する

以下の手順で、FTP クライアントを使用して、プリンタを管理することができます。また、FTP クライアントを使うと、プリンタからファイルを印刷することなども行うことができます。

---

1 MS-DOS プロンプト、またはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示します。

2 次のコマンドを実行します。

ftp（スペース）<プリンタの IP アドレス>

入力例： ftp 192.168.0.215

メモ　プリンタの IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 ユーザ名を入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

プリンタを管理する場合は、ユーザ名を「root」と入力します。
プリンタからファイルを印刷する場合、FTP 印刷ユーザ名を設定しているときは、ユーザ名に FTP 印刷ユーザ名を入力します。FTP 印刷ユーザ名を設定していないときは、ユーザ名は入力せずにキーボードの［ENTER］キーのみを押します。

メモ　Anonymous ログインはできません。

4 パスワードを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

プリンタを管理する場合、プリンタにパスワードを設定しているときは、プリンタ管理者パスワードを入力します。プリンタにパスワードを設定していないときは、パスワードは入力せずにキーボードの［ENTER］キーのみを押します。
プリンタからファイルを印刷する場合、FTP 印刷パスワードを設定しているときは、FTP 印刷パスワードを入力します。FTP 印刷パスワードを設定していないときは、パスワードは入力せずにキーボードの［ENTER］キーのみを押します。

5 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

cd（スペース）config

プリンタからファイルを印刷する場合は、「put（スペース）<印刷するファイル名>」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。印刷が終了したら手順 10 へ進みます。

重要　ファイルを印刷するときは、バイナリモードで印刷してください。

6 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

get（スペース）CONFIG（スペース）<ファイル名>

config ファイルがダウンロードされます。<ファイル名>に入力した文字が、ダウンロードされたときの config ファイルのファイル名になります。

メモ　config ファイルのダウンロード先は、お使いの OS の環境や設定によって異なります。config ファイルが見つからない場合は、OS のファイル検索機能を利用して config ファイルを検索してください。

7 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを編集します。

各項目の説明については「ネットワーク設定項目一覧」（→ P.7-2）を参照してください。

8 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

put（スペース）<ファイル名>（スペース）CONFIG

メモ　<ファイル名>には、ダウンロードしたときに入力した config ファイルのファイル名を入力します。

9 次のコマンドを入力し、キーボードの［ENTER］キーを押し、ネットワークボードをリセットします。

get（スペース）reset

ネットワークボードのリセット後に設定が有効になります。

メモ　プリンタを再起動しても設定が有効になります。

10 「quit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

11 「exit」を入力して、キーボードの［ENTER］キーを押します。

NetSpot Device Installer を使用して管理する

NetSpot Device Installer を使うと、ネットワーク上にあるさまざまなプリンタの基本的プロトコルの設定や状態表示を行えます。（→ LIPS ソフトウェアガイド（PDF 取扱説明書））

デバイス情報の変更（デバイス名や管理者情報の登録・変更）

本プリンタでは、以下のソフトウェアを使用して、お使いのコンピュータ上からデバイス名や管理者情報の登録・変更を行うことができます。ここでは、Web ブラウザ（リモート UI）を使用して登録・変更する方法について説明しています。

■ **Web ブラウザ（リモート UI）**
お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、デバイス情報の登録・変更などができます。

■ **FTP クライアント**
コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、プリンタの FTP サーバにアクセスし、デバイス情報の登録・変更などができます。FTP クライアントの使用方法については、「FTP クライアントを使用して管理する」（→ P.3-53）を参照してください。

■ **NetSpot Device Installer**
付属の CD-ROM に収められているキヤノン製ソフトウェアの NetSpot Device Installer を起動し、デバイス情報の登録・変更などができます。NetSpot Device Installer の使用方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

リモート UI による変更

1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://192.168.0.215/

SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// <本プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。［セキュリティの警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。

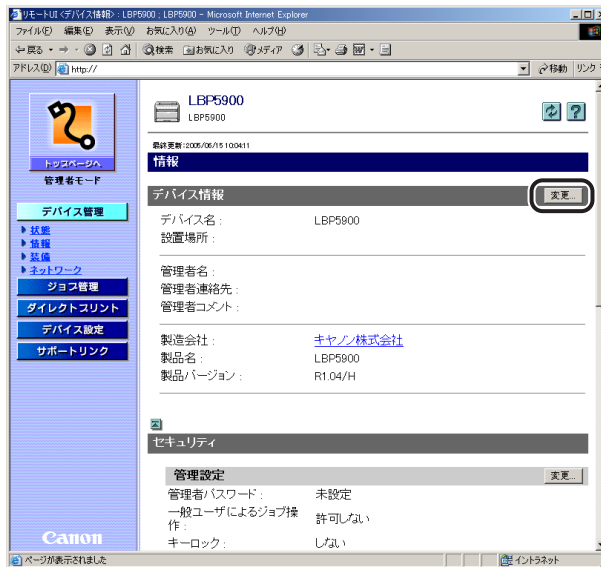
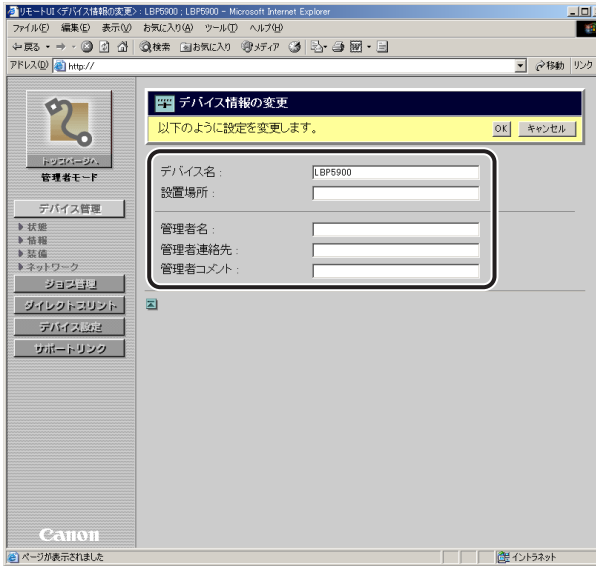
重要
- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 6.0 以降、または Internet Explorer 4.01 SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。

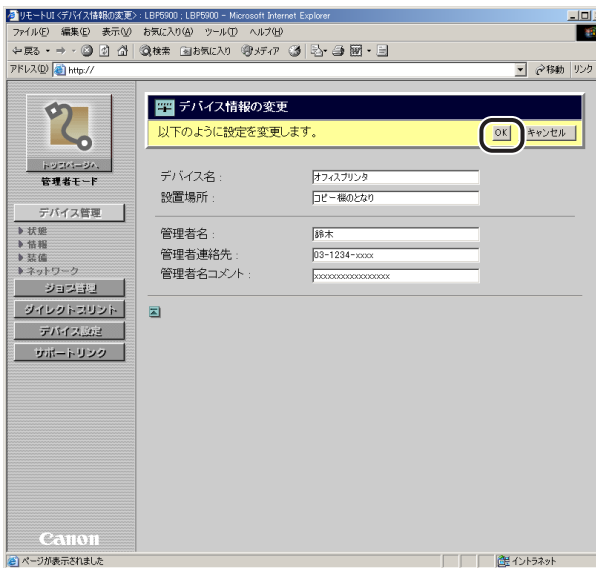
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。
- SSL による暗号化通信は、ハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

2 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［情報］をクリックします。

4 ［デバイス情報］の右にある［変更］をクリックします。

5 デバイス情報の各項目を設定します。

メモ　デバイス情報の各項目には、半角 32 文字 / 全角 16 文字まで入力できます。

6 設定が終了したら、［OK］をクリックします。

これでデバイス情報の変更が完了しました。

管理設定の変更

本プリンタでは、以下のソフトウェアを使用して、お使いのコンピュータ上から管理者パスワードや一般ユーザによるジョブ操作権限、キーロック機能など管理設定の設定・変更を行うことができます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。「ネットワーク設定項目一覧」(→ P.7-2) を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。ここでは、Web ブラウザ（リモート UI）を使用して登録・変更する方法について説明しています。

■ **Web ブラウザ（リモート UI）**

お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、管理設定の設定・変更などができます。

■ **FTP クライアント**

コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、プリンタの FTP サーバにアクセスし、管理設定の設定・変更などができます。FTP クライアントの使用方法については、「FTP クライアントを使用して管理する」（→ P.3-53）を参照してください。

■ **NetSpot Device Installer**

付属の CD-ROM に収められているキャノン製ソフトウェアの NetSpot Device Installer を起動し、管理設定の設定・変更などができます。NetSpot Device Installer の使用方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

重要　FTP クライアントや NetSpot Device Installer で設定できない項目については、Web ブラウザ（リモート UI）で設定してください。

リモート UI による変更

変更手順

1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://192.168.0.215/

SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// <本プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。［セキュリティの警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。

重要

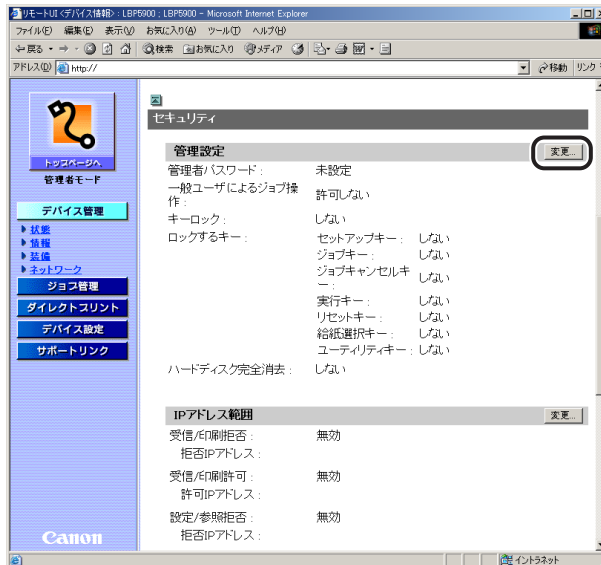
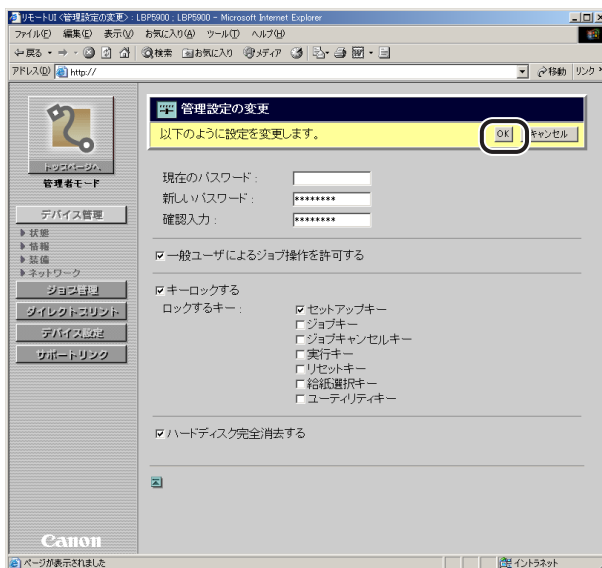
- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 6.0 以降、または Internet Explorer 4.01 SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。
- SSL による暗号化通信は、ハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

2 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。

メモ

プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［情報］をクリックします。

4 ［管理設定］の右にある［変更］をクリックします。

5 管理設定の変更後、［OK］をクリックすると変更した内容で設定されます。

［キャンセル］をクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

6 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

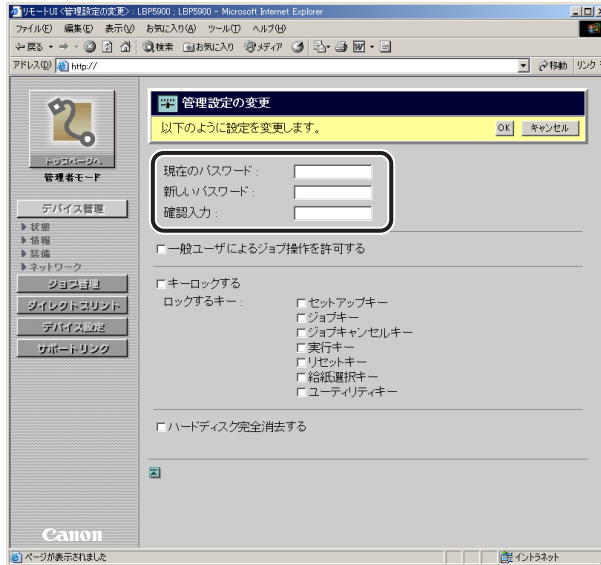
ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ

- 設定する各項目についての詳細は、以下を参照してください。
  - ・「管理者パスワードを設定する」（→ P.3-63）
  - ・「一般ユーザによるジョブ操作権限を設定する」（→ P.3-64）
  - ・「キーロック機能を設定する」（→ P.3-65）
  - ・「ハードディスク完全消去機能を設定する」（→ P.3-67）
- ハードリセットは、左側の［デバイス管理］のメニューから［状態］をクリックしたあと、［デバイス制御］をクリックします。［デバイス制御］ページで［ハードリセット］を選択したあと、［実行］をクリックします。

管理者パスワードを設定する

管理者パスワードを設定すると、管理者モードで使用するときにパスワードの入力が必要となり、管理者以外のユーザによるプリンタ設定の変更を禁止することができます。

1 パスワードの各項目を入力します。

入力する項目

[現在のパスワード]：	現在使用しているパスワードを入力します。
[新しいパスワード]：	新しく使用するパスワードを入力します。
[確認入力]：	確認のため、入力した［新しいパスワード］を再度入力します。

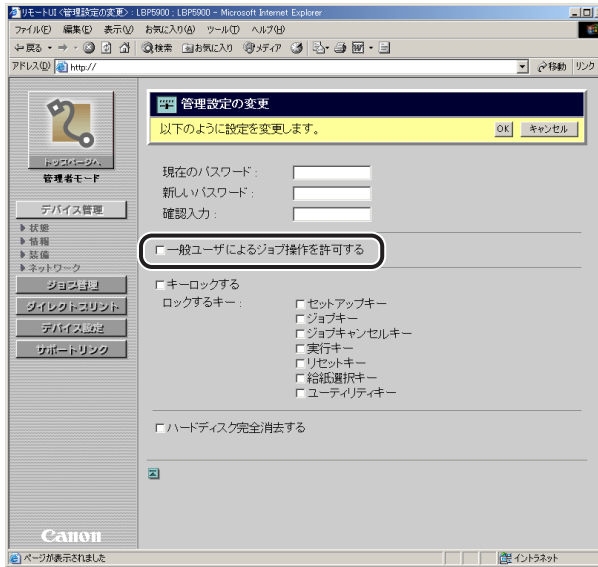
メモ

- [現在のパスワード]、[新しいパスワード]、[確認入力］には、16 文字までの半角英数字を入力できます。
- 現在パスワードを設定していない場合は、［現在のパスワード］は入力する必要はありません。

一般ユーザによるジョブ操作権限を設定する

一般ユーザによるジョブ操作を許可すると、一般ユーザモードで使用するときに、ログオン時に入力した名前（オーナー名）のジョブの操作が可能になります。

1 ［一般ユーザによるジョブ操作を許可する］にチェックマークを付けます。

［一般ユーザによるジョブ操作を許可する］のチェックマークを外すと、一般ユーザモードでは、すべてのジョブの操作ができなくなります。

キーロック機能を設定する

キーロック機能を使うと、プリンタの操作パネルのキーをロックし、管理者以外のユーザによるプリンタ設定の変更を禁止することができます。

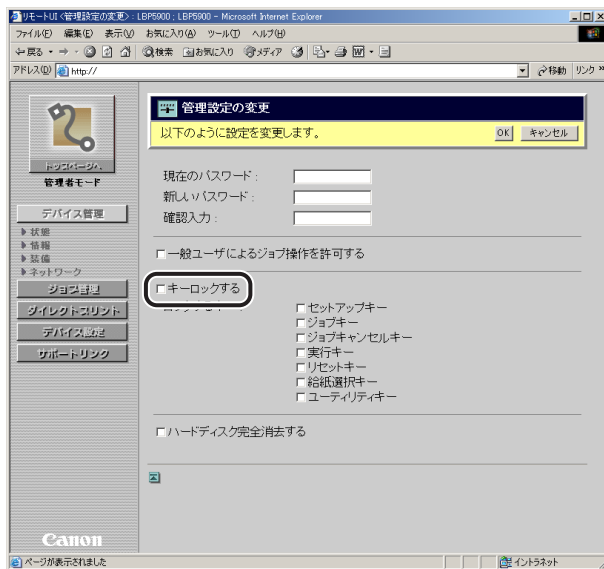
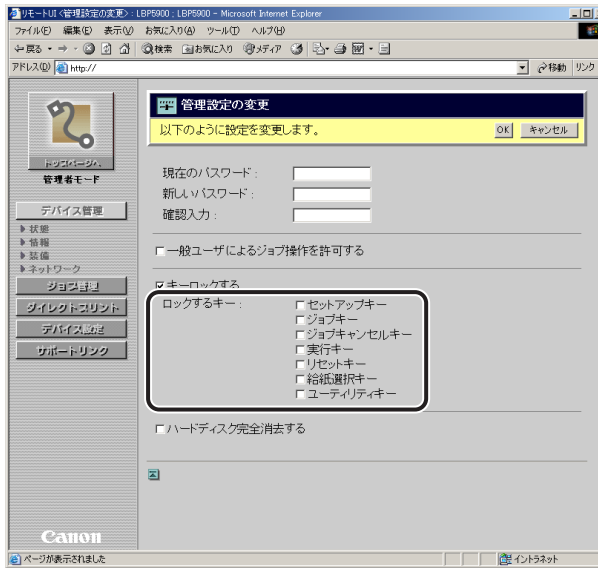
重要

- ロックしているキーを押すとピーという警告音が鳴り、プリンタのディスプレイに「キーロック チュウ」と表示されます。
- キーロック機能は、キーを操作していないときに設定してください。キー操作中にキーロック機能を設定した場合は、キー操作終了後にキーロック機能が有効になります。
- 各キーの内容については、「LIPS 機能ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

1 ［キーロックする］にチェックマークを付けます。

［キーロックする］のチェックマークを外すと、すべてのユーザがキーを操作できるようになります。

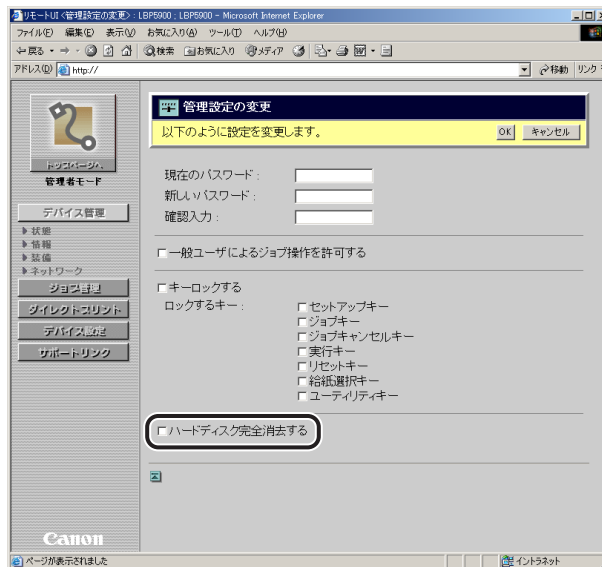
3

TCP/IPネットワークで使用するには（Windows/UNIX）

2 キーをロックする場合は、[ロックするキー] でロックしたいプリンタの操作パネルのキーそれぞれにチェックマークを付けます。

ハードディスク完全消去機能を設定する

ハードディスクを装着している場合は、ハードディスク完全消去機能を設定することができます。通常のハードディスクのファイル消去では、ファイルが消去されたように見えていても、ファイルの管理情報を消去しているだけで、データ自体までは消去されていません。ハードディスク完全消去機能を使うとデータ自体を消去することができます。

重要 本項目を使用するように設定したあとから完全消去が実施されるため、設定以前に消去対象になったファイルは完全消去されません。

1 ［ハードディスク完全消去する］にチェックマークを付けます。

［ハードディスク完全消去する］のチェックマークを外すと、ハードディスク完全消去機能を使用しません。

印刷や設定できるユーザを IP アドレスによって制限する

本プリンタでは、Web ブラウザ（リモート UI）を使用して、お使いのコンピュータ上から IP アドレスで印刷や設定できるユーザを制限することができます。

リモート UI による制限

変更手順

1 **Web ブラウザを起動して、[場所] または [アドレス] に以下の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。**

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://192.168.0.215/

SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// <本プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。[セキュリティの警告] ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。

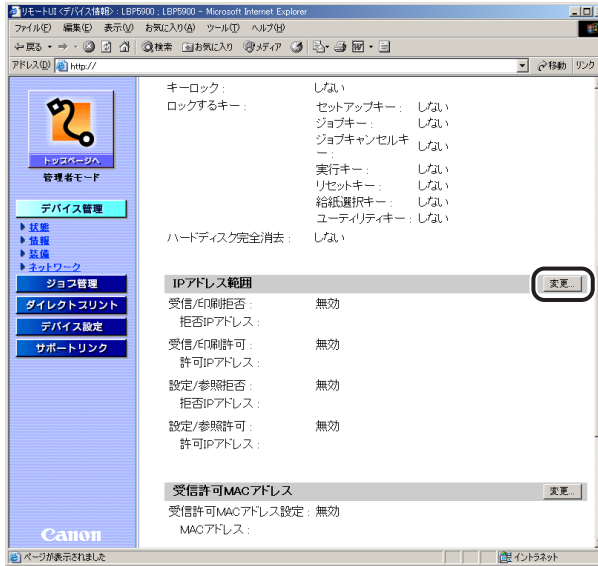
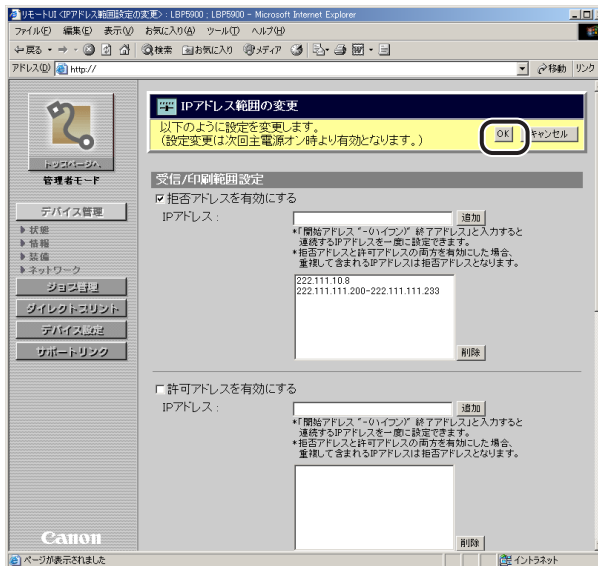
重要

- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 6.0 以降、または Internet Explorer 4.01 SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ･Web ブラウザのプロキシサーバの設定で [例外]（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。
- SSL による暗号化通信は、ハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

2 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［情報］をクリックします。

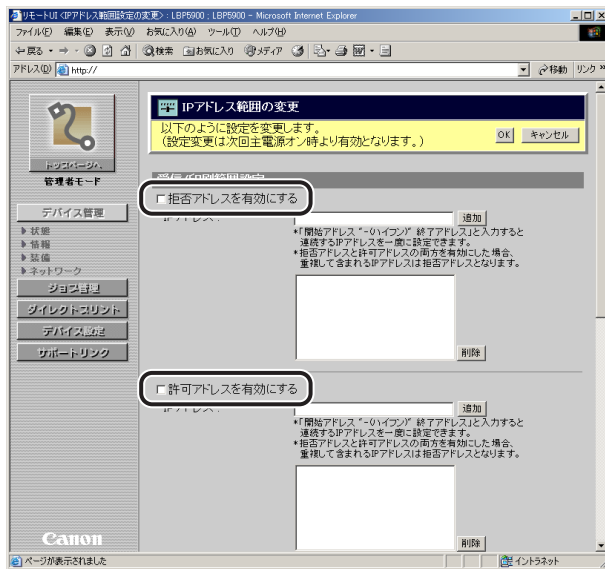
4 ［IP アドレス範囲］の右にある［変更］をクリックします。

5 印刷や設定できるユーザ制限設定の変更後、［OK］をクリックすると変更した内容で設定されます。

［キャンセル］をクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

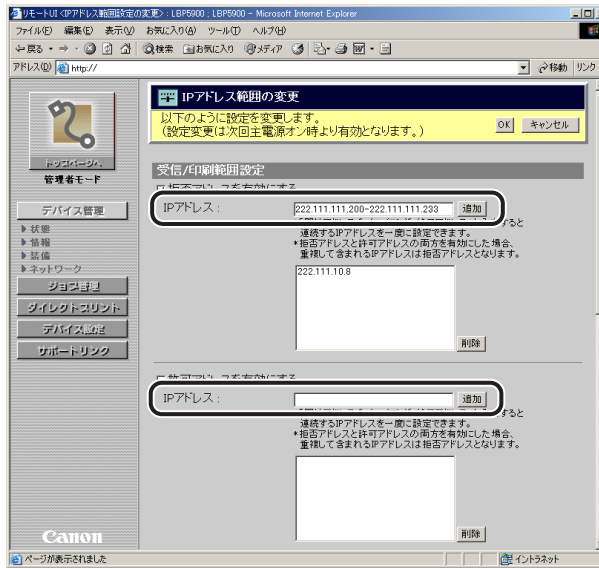
6 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

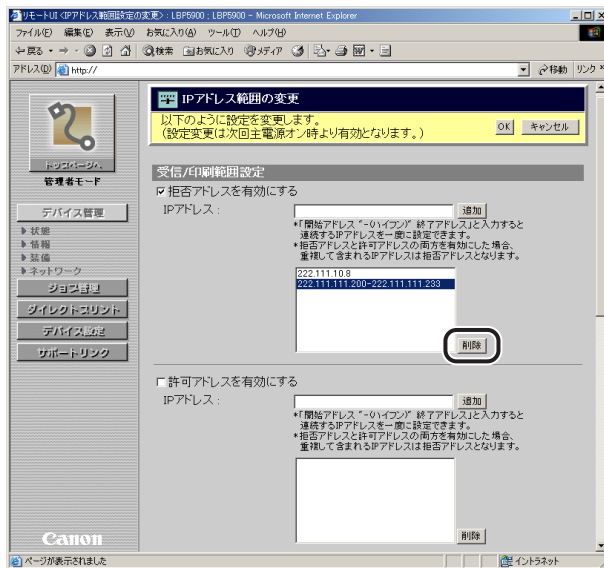
ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ
- 設定する各項目についての詳細は、以下を参照してください。
  - ・「印刷できるユーザを IP アドレスによって制限する」（→ P.3-71）
  - ・「設定できるユーザを IP アドレスによって制限する」（→ P.3-74）
- ハードリセットは、左側の［デバイス管理］のメニューから［状態］をクリックしたあと、［デバイス制御］をクリックします。［デバイス制御］ページで［ハードリセット］を選択したあと、［実行］をクリックします。

印刷できるユーザを IP アドレスによって制限する

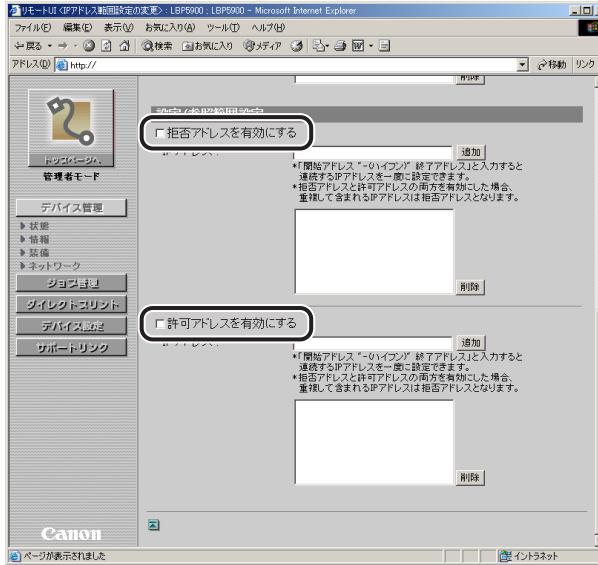
1 ［受信 / 印刷範囲設定］の［拒否アドレスを有効にする］または［許可アドレスを有効にする］にチェックマークを付けます。

メモ
- ［拒否アドレスを有効にする］にチェックマークを付けると、［IP アドレス］で入力したユーザ（クライアント）からの受信や印刷ができなくなります。
- ［許可アドレスを有効にする］にチェックマークを付けると、［IP アドレス］で入力したユーザ（クライアント）からのみ受信や印刷ができます。
- チェックマークを外すと、すべてのユーザから受信や印刷をすることができます。
- FTP 設定に対する制限は本設定で行います。

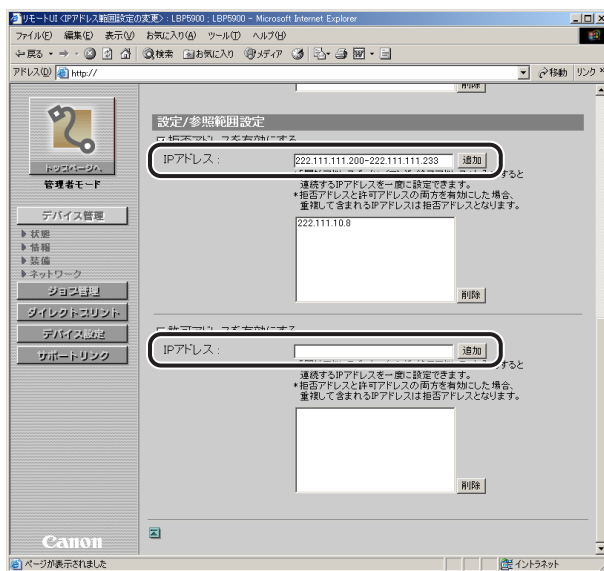
2 [IP アドレス] に、受信 / 印刷の拒否または許可をする IP アドレスを入力して、[追加] をクリックします。

IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のようにピリオド（「.」）で数字を区切って入力します。また、連続する複数の IP アドレスを一度に入力したいときは、マイナス（「-」）で IP アドレスをつなげます。AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18 のように入力すると AAA.BBB.C.15 から AAA.BBB.C.18 までの IP アドレスを入力するのと同じです。

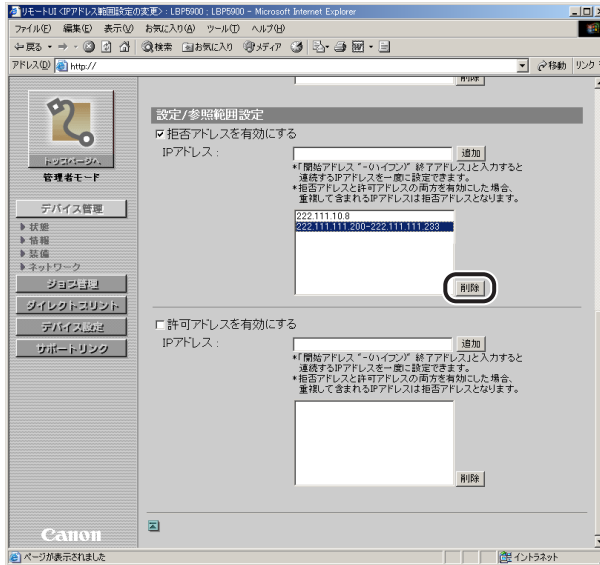
追加した IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して［削除］をクリックします。

メモ　IP アドレスは最大 8 個まで設定することができます。

設定できるユーザを IP アドレスによって制限する

1 ［設定 / 参照範囲設定］の［拒否アドレスを有効にする］または［許可アドレスを有効にする］にチェックマークを付けます。

メモ

- ［拒否アドレスを有効にする］にチェックマークを付けると、［IP アドレス］で入力したユーザ（クライアント）からの設定や参照ができなくなります。
- ［許可アドレスを有効にする］にチェックマークを付けると、［IP アドレス］で入力したユーザ（クライアント）からのみ設定や参照ができます。
- チェックマークを外すと、すべてのユーザから設定や参照をすることができます。
- この設定により、リモート UI からの設定、SNMP での設定、［マルチキャスト探索応答］が制限されます。FTP 設定に対する制限は本設定ではできません。FTP 設定は [受信 / 印刷範囲設定] で制限します。

2 [IP アドレス]に、設定 / 参照の拒否または許可をする IP アドレスを入力して、[追加] をクリックします。

IP アドレスは AAA.BBB.C.DD のようにピリオド（「.」）で数字を区切って入力します。また、連続する複数の IP アドレスを一度に入力したいときは、マイナス（「-」）で IP アドレスをつなげます。AAA.BBB.C.15-AAA.BBB.C.18 のように入力すると AAA.BBB.C.15 から AAA.BBB.C.18 までの IP アドレスを入力するのと同じです。

追加した IP アドレスを削除する場合は、削除する IP アドレスを選択して［削除］をクリックします。

メモ　IP アドレスは最大 8 個まで設定することができます。

アクセスできるユーザを MAC アドレスによって制限する

本プリンタでは、Web ブラウザ（リモート UI）を使用して、お使いのコンピュータ上から MAC アドレスでアクセスできるユーザを制限することができます。

メモ　受信許可 MAC アドレスは、［優先ネットワーク設定］の項目が［標準ネットワーク］に設定されている場合にのみ表示されます。［優先ネットワーク設定］の設定は、リモート UI の［拡張カード］ページまたは、操作パネルで行います。

1　Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

入力例： http://192.168.0.215/

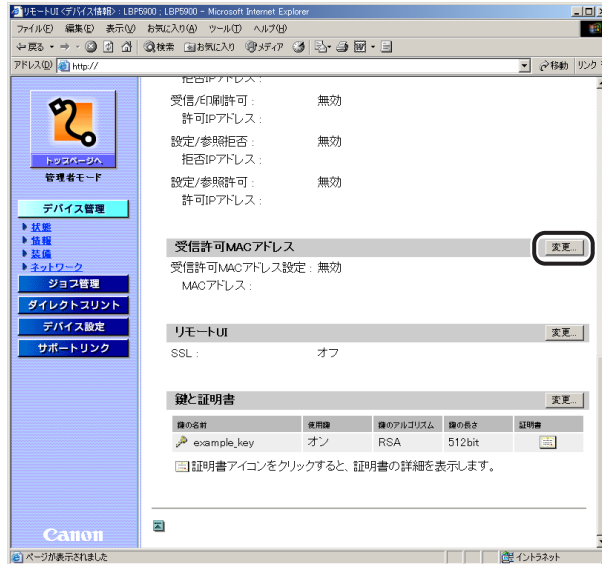
SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// ＜本プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /」を入力します。［セキュリティの警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。

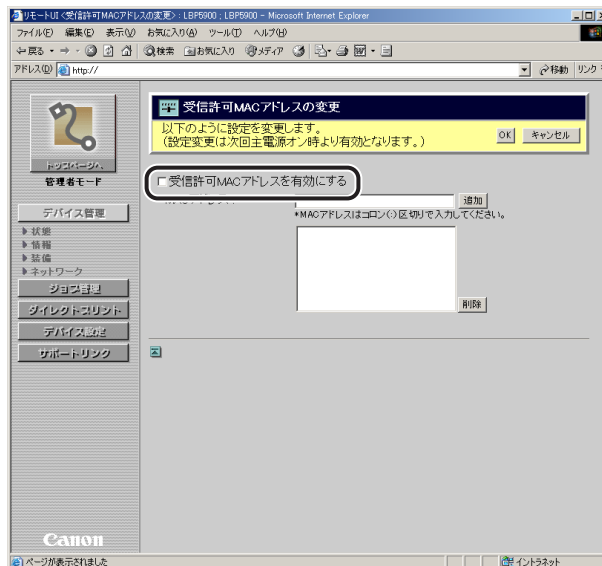
重要
- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 6.0 以降、または Internet Explorer 4.01 SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。
- SSL による暗号化通信は、ハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

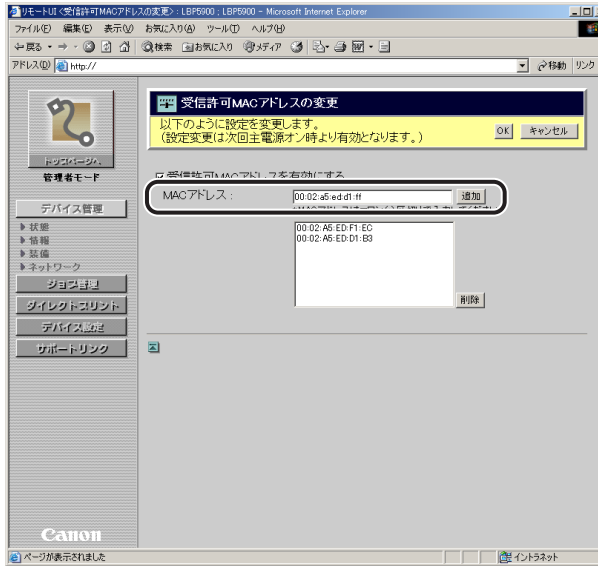
2 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。

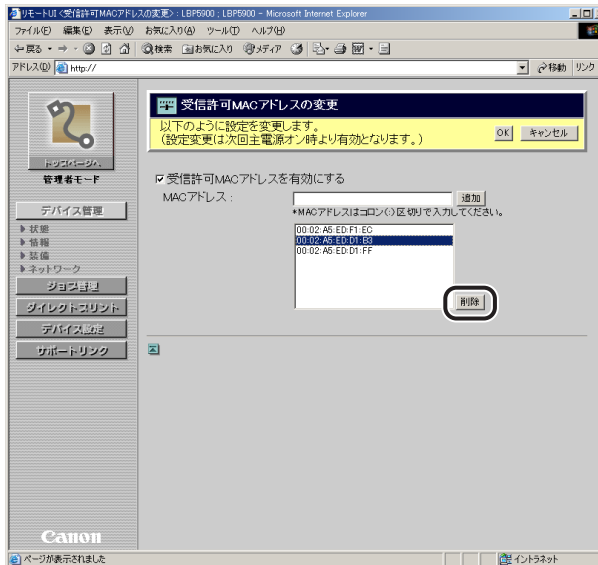
メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［情報］をクリックします。

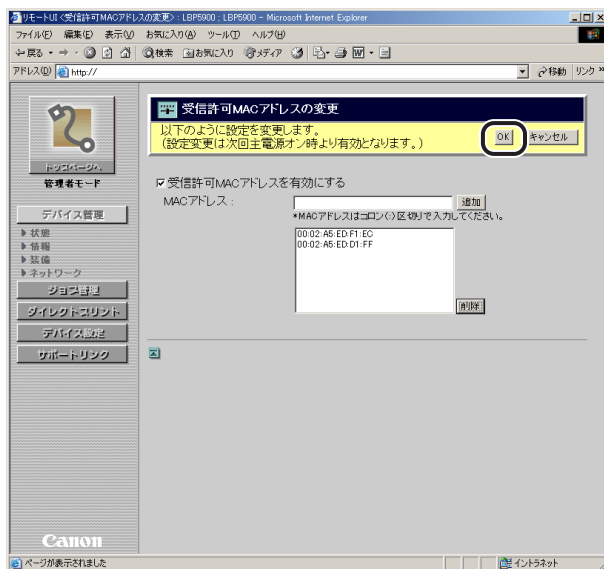
4 ［受信許可 MAC アドレス］の右にある［変更］をクリックします。

5 ［受信許可 MAC アドレスを有効にする］にチェックマークを付けます。

メモ

- ［受信許可 MAC アドレス設定を有効にする］にチェックマークを付けると、［MAC アドレス］で入力したユーザ（クライアント）からのみアクセスができます。
- チェックマークを外すと、すべてのユーザからアクセスをすることができます。

6 [MACアドレス]に、アクセス許可をするMACアドレスを入力して、[追加] をクリックします。

MACアドレスはAA:BB:CC:DD:EE:FFのようにコロン（「:」）で英数字を区切って入力します。

追加したMACアドレスを削除する場合は、削除するMACアドレスを選択して［削除］をクリックします。

重要　［受信許可 MAC アドレスを有効にする］にチェックマークを付けると、許可されていない MAC アドレスからのアクセスができなくなります。そのため入力の際には MAC アドレスをよく確認してください。誤った MAC アドレスを設定してしまうと、プリンタにアクセスできなくなります。このような場合は、プリントサーバの設定値を工場出荷時の状態に戻すことで、アクセスできるようになります。（→ネットワーク設定の初期化：P.7-12）

メモ　MAC アドレスは最大 50 個まで設定することができます。

7 アクセスできるユーザ制限設定の変更後、［OK］をクリックすると変更した内容で設定されます。

［キャンセル］をクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

8 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ　ハードリセットは、左側の［デバイス管理］のメニューから［状態］をクリックしたあと、［デバイス制御］をクリックします。［デバイス制御］ページで［ハードリセット］を選択したあと、［実行］をクリックします。

E メール印刷の変更

ハードディスクを装着している場合は、E メール印刷機能を使用することができます。以下のソフトウェアを使用して、お使いのコンピュータ上から E メールを受信するサーバ名やユーザ名、パスワードなどの登録・変更を行うことができます。ここでは、Web ブラウザ（リモート UI）を使用して登録・変更する方法について説明しています。

■ Web ブラウザ（リモート UI）
お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、E メール印刷機能の登録・変更などができます。

■ FTP クライアント
コマンドプロンプト（Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト）を使用して、プリンタの FTP サーバにアクセスし、E メール印刷機能の登録・変更などができます。FTP クライアントの使用方法については、（→ FTP クライアントを使用して管理する：P.3-53）を参照してください。

リモート UI による変更

1 Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://192.168.0.215/

SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// <本プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。［セキュリティの警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。

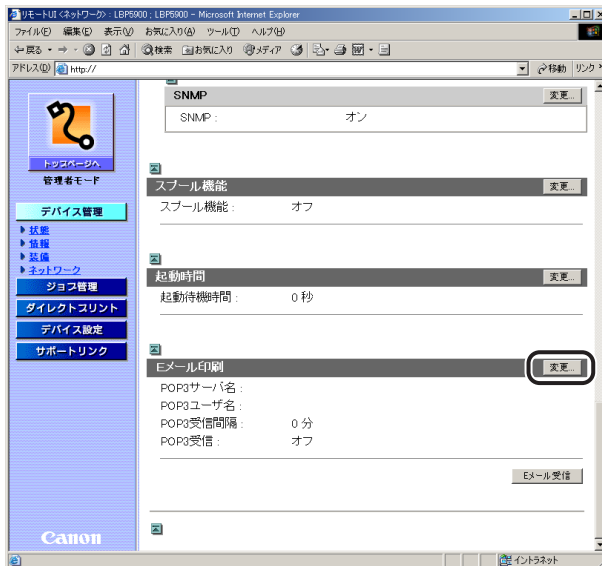
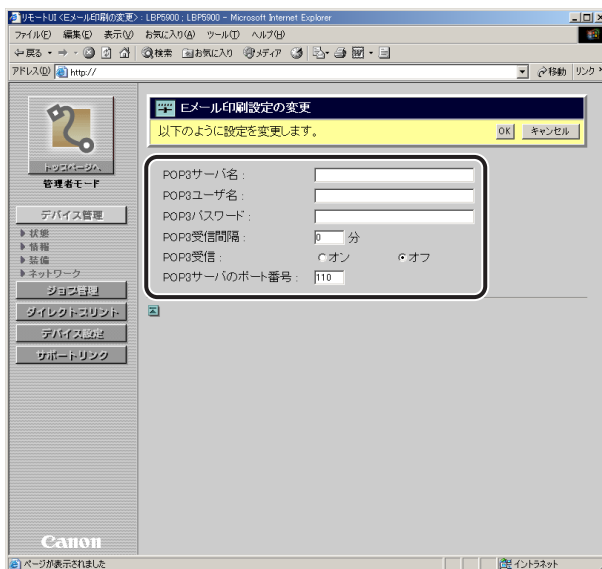
重要

- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 6.0 以降、または Internet Explorer 4.01 SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。
- SSL による暗号化通信は、ハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

2 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［ネットワーク］をクリックします。

4 [E メール印刷] の右にある [変更] をクリックします。

5 E メール印刷機能の各項目を設定します。

設定する項目

[POP3 サーバ名] : E メールを受信するサーバ名または IP アドレスを設定します。

[POP3 ユーザ名]：　E メールを受信するユーザ名を設定します。

[POP3 パスワード]：　E メールを受信するユーザ名のパスワードを設定します。

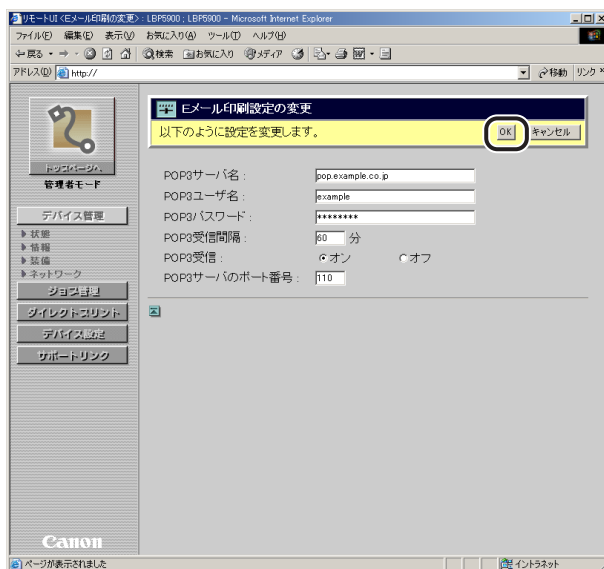
[POP3 受信間隔]：　E メールを受信するサーバへ自動的に接続する間隔を分単位で設定します。[0]（分）から［90］（分）まで設定可能です。[0]（分）に設定した場合は、サーバへの自動受信は行いません。「0」に設定されている場合や、Eメールを受信するサーバへ自動的に接続する前にサーバへ接続したい場合は、[ネットワーク］ページで［E メール印刷］の右下にある［E メール受信］をクリックすることで E メールを受信するサーバへ接続することができます。

[POP3 受信]：　E メール印刷機能を有効にするかしないかを選択します。

[POP3 サーバのポート番号]：E メールを受信するサーバのポート番号を設定します。ポート番号は［0］から［65535］まで設定可能です。

メモ　[POP3 ユーザ名］と［POP3 パスワード］には、32 文字までの半角英数字を入力できます。

6 設定が終了したら、[OK］をクリックします。

[キャンセル］をクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

これで E メール印刷の変更が完了しました。

SMB ネットワークで使用するには（Windows）

4

CHAPTER

SMB ネットワークに接続してプリンタを使用するための方法について説明しています。

SMB ネットワークで使用するために必要な作業

SMB ネットワークは、ハードディスクを装着している場合にのみ使用できます。SMB ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

プリンタのプロトコルの設定

＊ ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

プリンタのプロトコル設定を行います。（→P.4-3）

- Webブラウザ（リモートUI）によるプロトコル設定
- FTPクライアントによるプロトコル設定

▼

印刷を行うコンピュータの設定

印刷を行うコンピュータの設定を行います。

- SMBネットワークの接続（→P.4-12）／プリンタに対応したプリンタドライバをインストールする（→P.4-16）

重要　SMB ネットワークで使用するプロトコルは、NetBIOS over TCP/IP のみに対応し、NetBEUI には対応していません。

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。「ネットワーク設定項目一覧」(→ P.7-2) を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。ここでは、Web ブラウザ (リモート UI) を使用して登録・変更する方法について説明しています。

■ Web ブラウザ(リモート UI)による設定

お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プロトコル設定を行います。

■ FTP クライアントによる設定

コマンドプロンプト (Windows 98/Me は MS-DOS プロンプト) を使用して、プリンタの FTP サーバにアクセスし、デバイス情報の登録・変更などができます。FTP クライアントの使用方法については、「FTP クライアントを使用して管理する」(→ P.3-53) を参照してください。

リモート UI による設定

1 TCP/IP の設定を行います。

TCP/IP の設定を行っていない場合は、「第 3 章 TCP/IP ネットワークで使用するためには」の「プリンタのプロトコル設定の準備」(→ P.3-4)、「プリンタのプロトコル設定」(→ P.3-10) を参照して設定を行います。

続いて SMB の設定を行います。

2 Web ブラウザを起動して、[場所] または [アドレス] に以下の URL を入力したあと、キーボードの [ENTER] キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例: http://192.168.0.215/

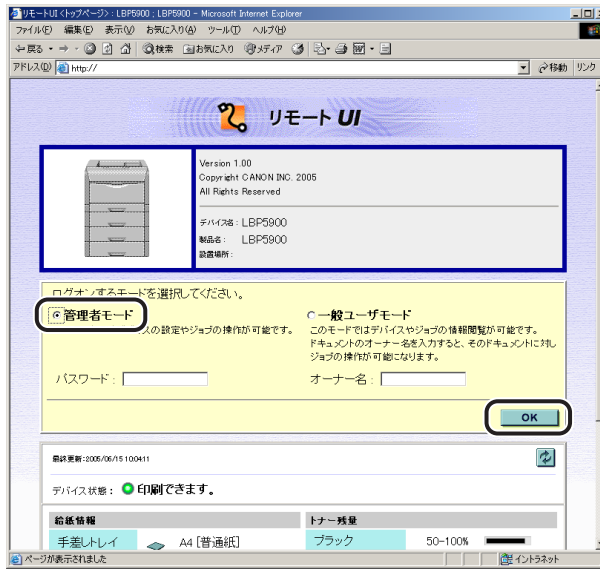
SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https:// <本プリンタの IP アドレスまたは名前> /」を入力します。[セキュリティの警告] ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。

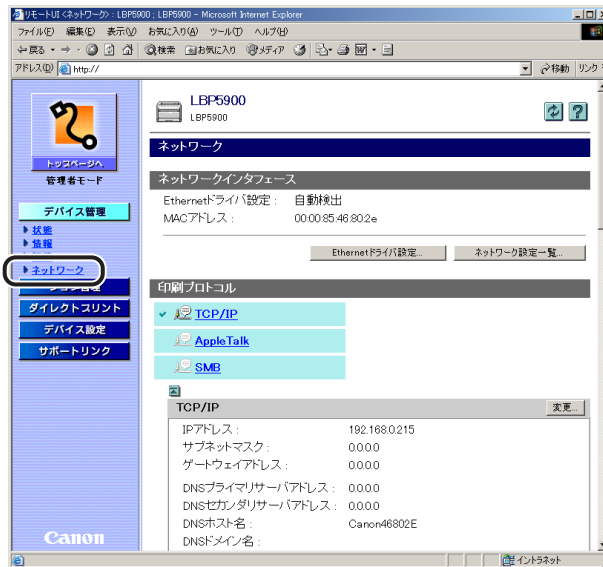
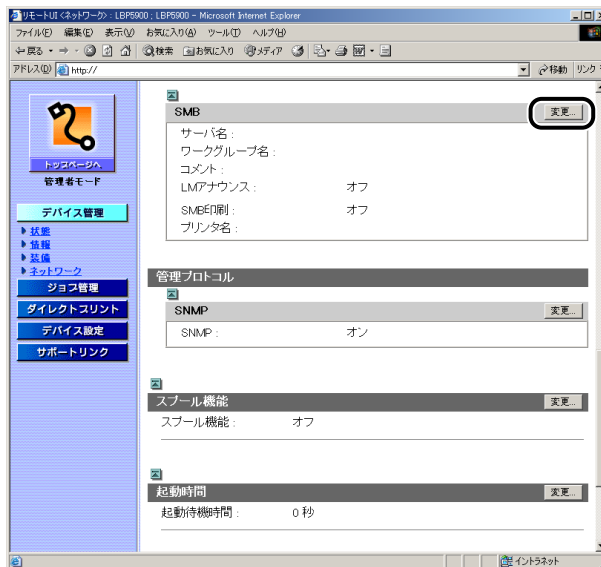
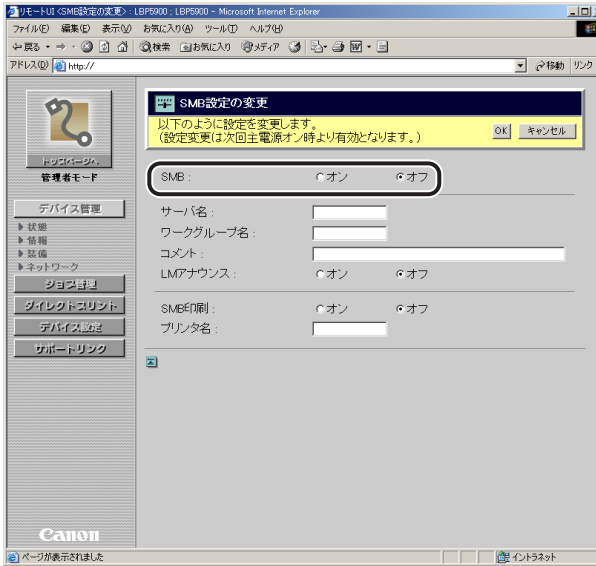
重要

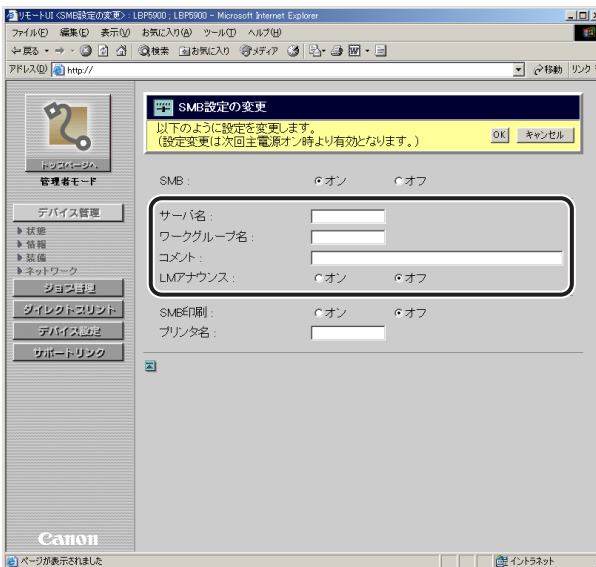
- Web ブラウザには、Netscape Navigator/Communicator 6.0 以降、または Internet Explorer 4.01 SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。(設定はネットワーク環境によって異なります。)

· Web ブラウザのプロキシサーバの設定で［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。

- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。
- SSL による暗号化通信は、ハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

3 ［管理者モード］を選択したあと、［OK］をクリックします。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

4 左側の［デバイス管理］のメニューから、［ネットワーク］をクリックします。

5 ［SMB］の右にある［変更］をクリックします。

6 ［SMB］を［オン］に設定します。

メモ　［オフ］を選択すると、SMB ネットワーク上でプリンタが認識されなくなります。

7 SMB を設定します。

❑ ［サーバ名］に、本プリンタが属するコンピュータ名を入力します。ネットワーク上の他のコンピュータやプリンタなどで使用している名前と重複しない名前を入力してください。

❑ ［ワークグループ名］に、本プリンタが属するワークグループ名を入力します。お使いの環境にワークグループがない場合は、Windows 上でワークグループを作成して、そのワークグループ名を入力してください。

メモ　［サーバ名］と［ワークグループ名］には、15 文字までの半角英数字を入力できます。

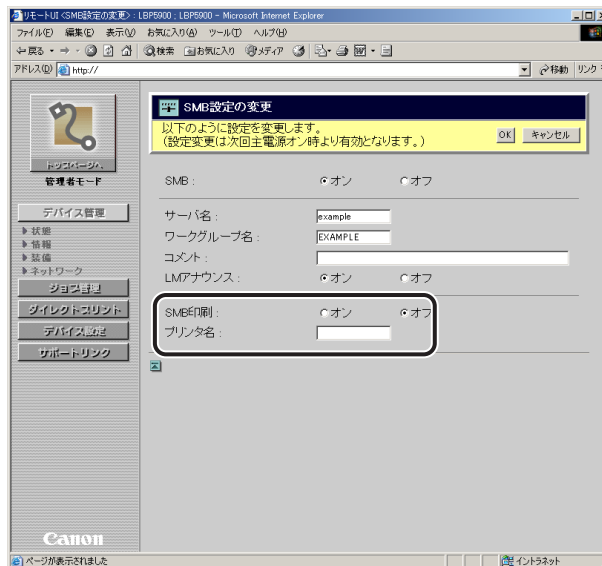
❑ 必要に応じて、［コメント］に、プリンタに関するコメントを入力します。

メモ　［コメント］には、半角 48 文字 / 全角 24 文字まで入力できます。

❑ 本プリンタの存在を LAN Manager に通知する場合は、［LM アナウンス］を［オン］に設定します。

本プリンタの存在を LAN Manager に通知しない場合は、［LM アナウンス］を［オフ］に設定します。

メモ　LAN Manager から本プリンタを参照する必要がない場合は、［オフ］に設定するとネットワークのトラフィックを抑えることができます。

8 SMB 印刷を設定します。

● SMB 印刷を使用する場合

❑ ［SMB 印刷］を［オン］に設定します。

❑ ［プリンタ名］に、本プリンタのプリンタ名を入力します。

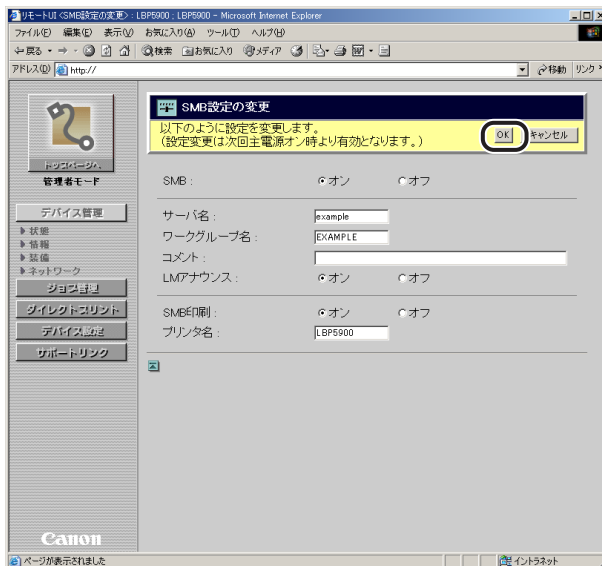
重要　SMB 印刷は、ハードディスクを装着している場合のみ使用できます。

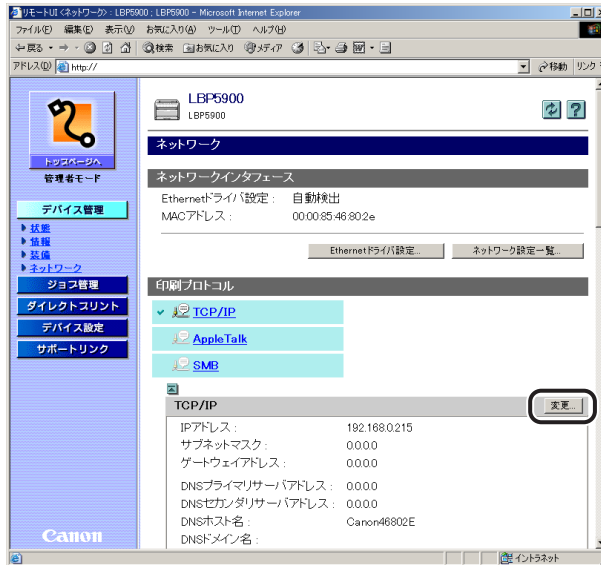
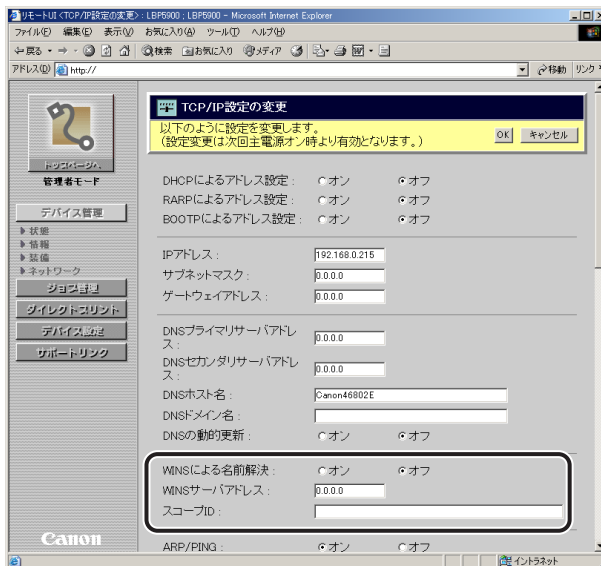
メモ　［プリンタ名］には、13 文字までの半角英数字を入力できます。

● SMB 印刷を使用しない場合

❑ ［SMB 印刷］を［オフ］に設定します。

9 設定が終了したら、［OK］をクリックします。

［キャンセル］をクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

WINS の設定を行う場合は、手順 10 に進みます。
WINS の設定を行わない場合は、手順 14 に進みます。

10 WINS の設定を行う場合は、[TCP/IP] の右にある [変更] をクリックします。

11 WINS を設定します。

メモ

WINS（Windows Internet Name Service）は、NetBIOS 名（SMB ネットワークでのコンピュータ名やプリンタ名）と、IP アドレスを対応させるサービスです。WINS を使用するには、WINS サーバが必要です。

● WINS による名前解決を使用する場合

❑ ［WINS による名前解決］を［オン］に設定します。

❑ ［WINS サーバアドレス］に、WINS サーバの IP アドレスを入力します。

IP アドレスの決定方法が DHCP の場合、DHCP サーバから WINS サーバの IP アドレスを取得したときには、DHCP サーバから取得した IP アドレスが上書きされます。

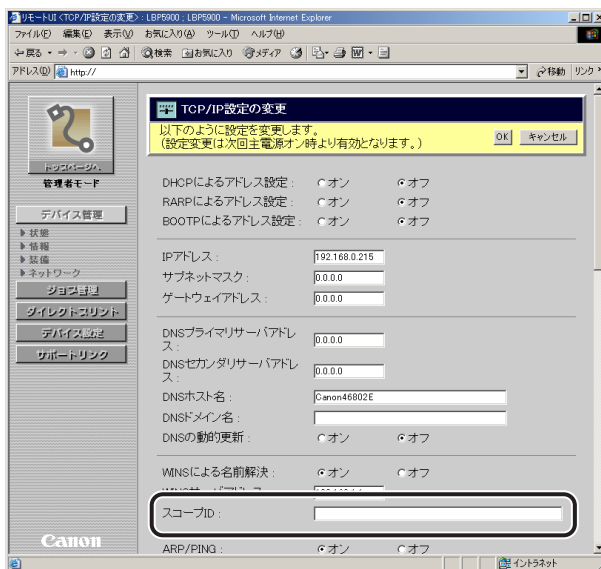
● WINS による名前解決を使用しない場合

❑ ［WINS による名前解決］を［オフ］に設定します。

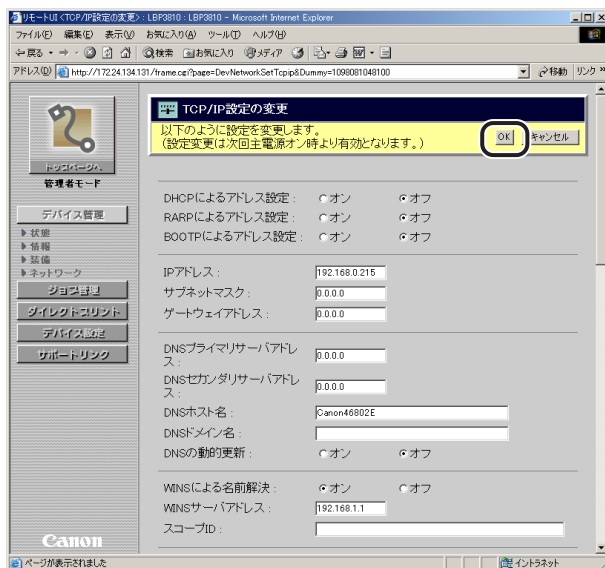
12 ［スコープ ID］を入力します。

必要に応じて、スコープ ID を入力します。

スコープ ID は、プリンタ、コンピュータが使用できる範囲を決めるための識別子です。WINS による名前解決の設定に関わらず、スコープ ID を参照します。

重要

• ［スコープ ID］を設定したときは、スコープ ID が異なるコンピュータとは通信できません。
• お使いのネットワーク環境のコンピュータ側でスコープ ID を設定していないときは、［スコープ ID］は空欄にしておいてください。

13 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、内容を更新しないで元のページに戻ります。

14 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ ハードリセットは、左側の［デバイス管理］のメニューから［状態］をクリックしたあと、[デバイス制御] をクリックします。[デバイス制御] ページで［ハードリセット］を選択したあと、［実行］をクリックします。

これでプリンタのプロトコル設定が完了しました。

印刷を行うコンピュータの設定

プリンタのプロトコル設定が完了したら、印刷を行う各コンピュータの設定を行います

重要　SMB ネットワークで使用するプロトコルは、NetBIOS over TCP/IP のみに対応し、NetBEUI には対応していません。印刷を行う全コンピュータに TCP/IP クライアントソフトウェアをインストールして、TCP/IP ネットワークを使用できるようにする必要があります。詳しくは OS の説明書を参照してください。

SMB ネットワークの接続

印刷を行う全コンピュータが SMB ネットワークを使用できるようにします。

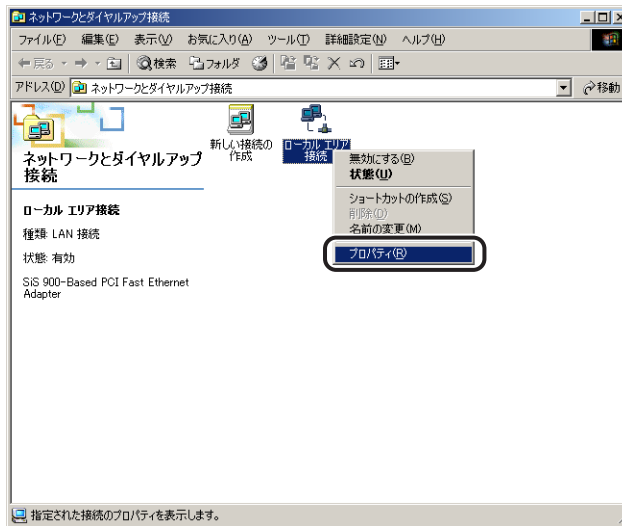
Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合

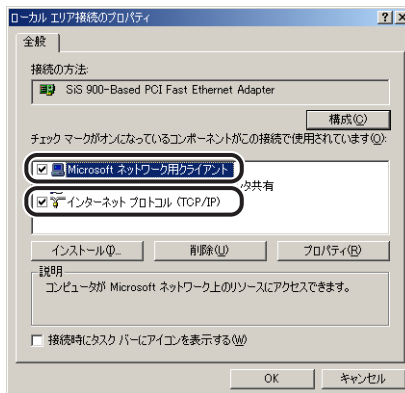
メモ　ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

1 ［スタート］メニューから［設定］→［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。

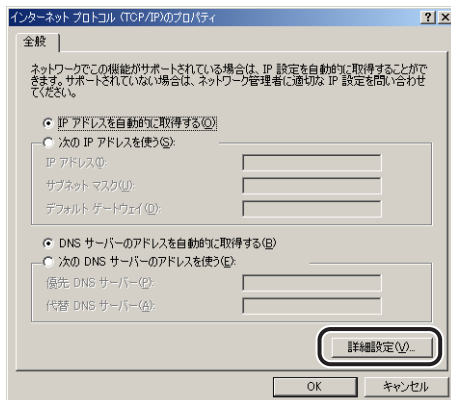
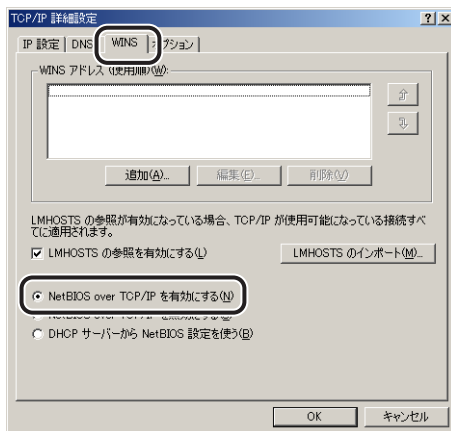
Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ネットワーク接続］→［ローカルエリア接続］を選択し、手順 3 へ進みます。

Windows 2000 の場合は、［ネットワークとダイヤルアップ接続］フォルダが表示されます。
Windows XP の場合は、［ネットワーク接続］フォルダが表示されます。

2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3 ［Microsoft ネットワーククライアント］と［インターネットプロトコル（TCP/IP）］にチェックマークが付いていることを確認します。

チェックマークが外れている場合は、チェックマークを付けます。

4 ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。

［インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

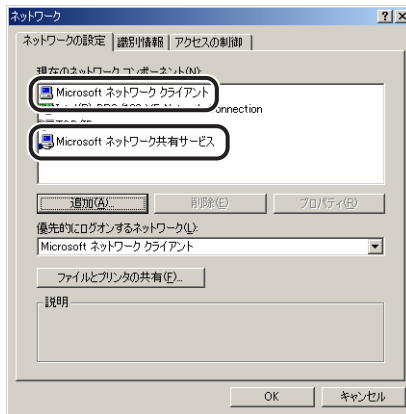
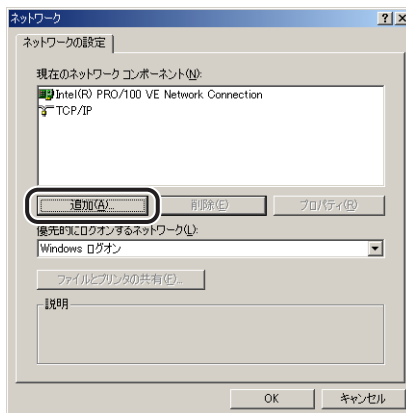
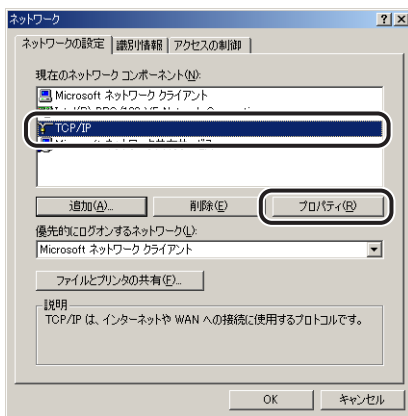
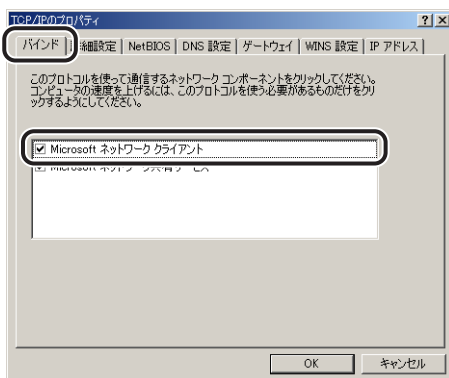
5 ［全般］ページの［詳細設定］をクリックします。

6 ［WINS］タブをクリックして、［WINS］ページを表示し、［NetBIOS over TCP/IP を有効にする］を選択します。

7 すべてのダイアログボックスが閉じるまで［OK］をクリックし、必要に応じてコンピュータを再起動します。

Windows 98/Me をお使いの場合

メモ　ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

1 **[マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [ネットワーク] アイコンの順にダブルクリックします。**

[ネットワーク] ダイアログボックスが表示されます。

2 **[現在のネットワークコンポーネント] または [現在のネットワーク構成] 一覧に、[Microsoft ネットワーククライアント] と [Microsoft ネットワーク共有サービス] があることを確認します。**

[Microsoft ネットワーククライアント] と [Microsoft ネットワーク共有サービス] がない場合は、[追加] をクリックして、画面の指示に従ってインストールします。

3 [現在のネットワークコンポーネント] または [現在のネットワーク構成] 一覧から [TCP/IP] を選択したあと、[プロパティ] をクリックします。

4 [バインド] タブをクリックして、[バインド] ページを表示し、[Microsoft ネットワーククライアント] にチェックマークを付けます。

5 [OK] をクリックし、必要に応じてコンピュータを再起動します。

プリンタに対応したプリンタドライバをインストールする

印刷にはプリンタドライバが必要になります。「LIPS ソフトウェアガイド」（PDF 取扱説明書）に従ってプリンタドライバをインストールしてください。
インストール中にポートを選択する画面が表示されたら、[ネットワーク] を選択したあと、[設定] をクリックします。リストから、「プリンタのプロトコル設定」（→ P.4-3）で設定した [ワークグループ名]、[サーバ名]、[プリンタ名] を順に選択します。

AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh）

5
CHAPTER

AppleTalk ネットワークに接続してプリンタを使用するための設定方法について説明しています。

AppleTalk ネットワークで使用するために必要な作業

AppleTalk ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

Macintoshのネットワーク設定

Macintoshのネットワーク設定を行います。（→P.5-3）

プリンタのプロトコルの設定

* ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

プリンタのプロトコル設定を行います。（→P.5-7）

- Webブラウザ（リモートUI）によるプロトコル設定
- FTPクライアントによるプロトコル設定

印刷を行うコンピュータの設定

印刷を行うコンピュータの設定を行います。

- プリンタに対応したプリンタドライバをインストールする（→P.5-12）／印刷先の設定（→P.5-12）

Macintosh のネットワークの設定

Macintosh のネットワークの設定を行います。

Mac OS 9 の場合

1 **AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。**

❑ Apple メニューから［セレクタ］を選択します。

❑ ［AppleTalk］が［使用］になっていることを確認します。［不使用］になっているときは、［使用］をクリックします。

2 **AppleTalk の接続方法を［Ethernet］に設定します。**

❑ Apple メニューから［コントロールパネル］→［AppleTalk］を選択します。

❑ ［経由先］から［Ethernet］を選択します。

❑ ［AppleTalk］ダイアログを閉じて、設定を保存します。

これで Macintosh のネットワークの設定は完了しました。

5

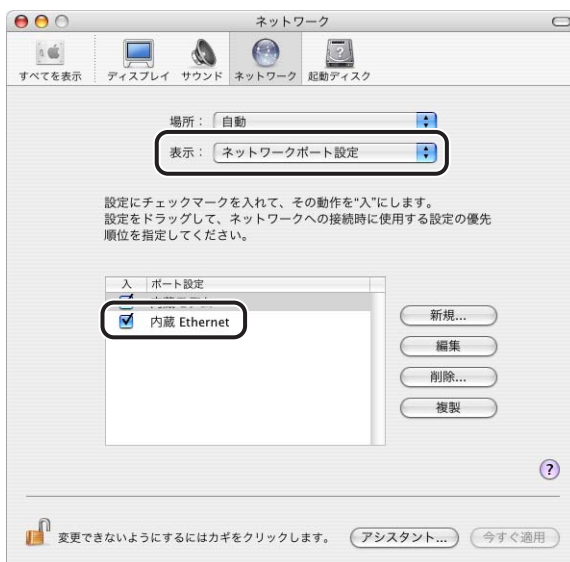
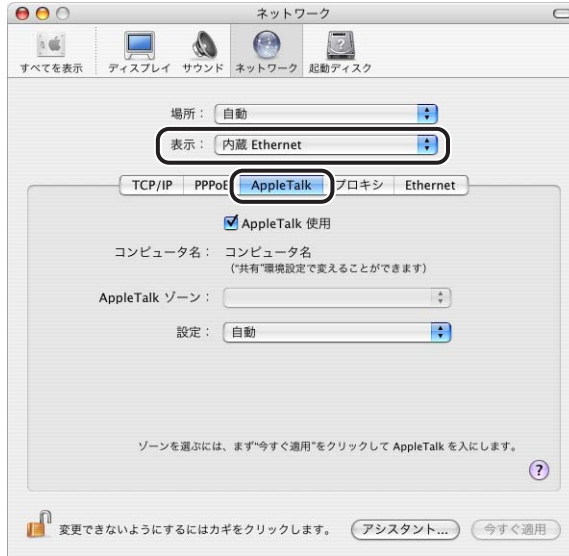
AppleTalkネットワークで使用するには（Macintosh）

Mac OS X の場合

1 Apple メニューから［システム環境設定］を選択します。

2 ［ネットワーク］をクリックします。

3 ［表示］から［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックマークが付いていることを確認します。

［内蔵 Ethernet］にチェックマークが付いていない場合は、チェックマークを付けます。

4 [表示] から [内蔵 Ethernet] を選択し、[AppleTalk] をクリックします。

メモ　[表示] に [内蔵 Ethernet] が表示されない場合は、[ネットワークポート設定] を選択し、[内蔵 Ethernet] にチェックマークを付けます。

5 [AppleTalk 使用] にチェックマークが付いていることを確認します。

[AppleTalk 使用] にチェックマークが付いていない場合は、チェックマークを付けます。

6 ［ネットワーク］ダイアログを閉じて、設定を保存します。

これで Macintosh のネットワークの設定は完了しました。

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。ソフトウェアによって設定できる項目が異なります。「ネットワーク設定項目一覧」（→ P.7-2）を参照して、お使いの環境や設定したい項目に応じて各ソフトウェアをご利用ください。ここでは、Web ブラウザ（リモート UI）を使用して登録・変更する方法について説明しています。

■ **Web ブラウザ（リモート UI）による設定**

お手持ちの Web ブラウザからネットワークを経由してプリンタにアクセスし、プロトコル設定を行います。

■ **FTP クライアントによる設定**

FTP クライアントを使用して、プリンタの FTP サーバにアクセスし、プロトコル設定を行います。

重要
- 上記のソフトウェアで設定を行う場合は、お使いのネットワーク環境で TCP/IP プロトコルが使用できる必要があります。
- 以下の作業を行う前に、TCP/IP の各項目が設定されていることと、プリンタとコンピュータが正しく接続されてプリンタの電源が入っていることを確認してください。

リモート UI による設定

1 **Web ブラウザを起動して、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。**

http://＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞/

入力例： http://192.168.0.215/

SSL による暗号化通信を利用してリモート UI による設定を行う場合は、「https://＜本プリンタの IP アドレスまたは名前＞/」を入力します。［セキュリティの警告］ダイアログボックスなどが表示された場合は、メッセージにしたがって対処してください。

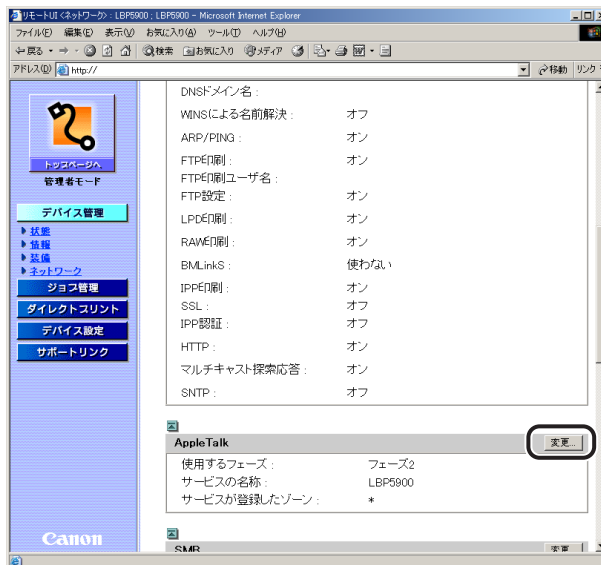
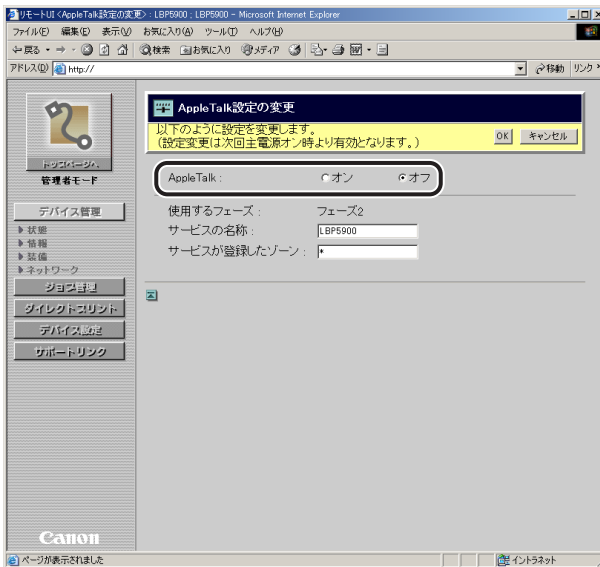
重要
- Web ブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 6.0 以降または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザで、クッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

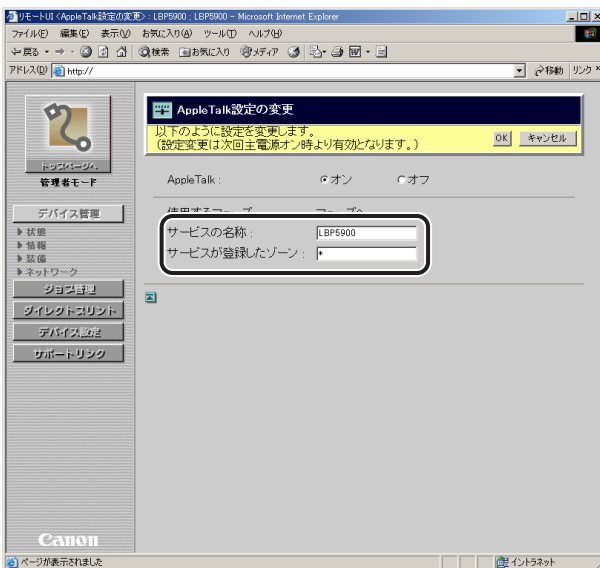
- SSL による暗号化通信は、ハードディスクを装着している場合にのみ利用できます。SSL による暗号化通信を利用するためには、鍵と証明書が作成され、使用鍵として登録が行われている必要があります。SSL 暗号化通信機能の詳細や鍵の登録の手順については、「リモート UI ガイド」(PDF 取扱説明書)を参照してください。

2 [管理者モード]を選択したあと、[OK]をクリックします。

メモ　プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力したあと、[OK]をクリックしてください。パスワードを設定していないときは、入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］のメニューから、［ネットワーク］をクリックします。

4 ［AppleTalk］の右にある、［変更］をクリックします。

5 ［AppleTalk］を［オン］に設定します。

メモ　［オフ］を選択すると、AppleTalk ネットワーク上でプリンタが認識されなくなります。

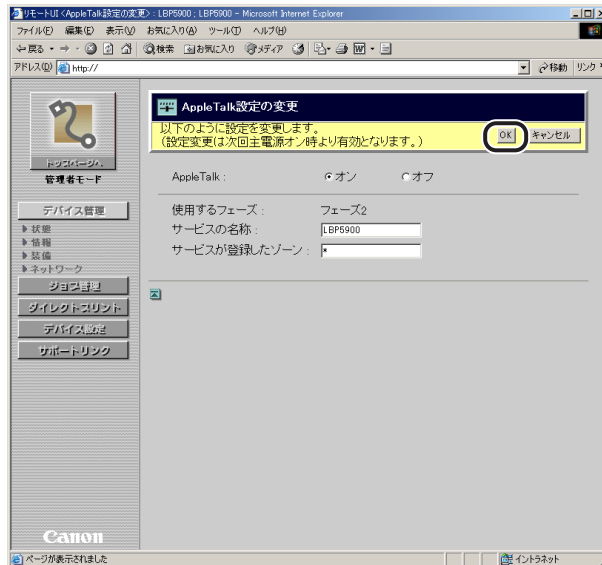
6 AppleTalk を設定します。

❑ ［サービスの名称］にプリンタの名称を入力します。

ここで設定した名称が、Macintosh のセレクタやプリンタリストに表示されます。

❑ ネットワーク上にゾーンが設定してある場合は、［サービスが登録したゾーン］にゾーン名称を入力します。

重要

- ［使用するフェーズ］は［フェーズ 2］で固定され、設定はできません。
- ［サービスの名称］と［サービスが登録したゾーン］には、半角 32 文字 / 全角 16 文字まで入力できます。ただし、「=」、「@」、「＊」、「：」、「～」、「ｹ」（半角カタカナ）は使用できません。［サービスが登録したゾーン］には「*」（半角）を使用することができます。
- プリンタが同じゾーン内に複数あるときは、それぞれ固有の名称を付けてください。

7 ［OK］をクリックします。

8 ハードリセット、またはプリンタの電源を入れなおします。

ハードリセット後、またはプリンタの再起動後に設定が有効になります。

メモ

ハードリセットは、左側の［デバイス管理］のメニューから［状態］をクリックしたあと、［デバイス制御］をクリックします。［デバイス制御］ページで［ハードリセット］を選択したあと、［実行］をクリックします。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

印刷を行うコンピュータの設定

プリンタのプロトコル設定が完了したら、印刷を行う各 Macintosh の設定を行います。

プリンタに対応したプリンタドライバをインストールする

各 Macintosh にプリンタドライバをインストールします。「LIPS ソフトウェアガイド」（PDF 取扱説明書）に従ってプリンタドライバをインストールしてください。

印刷先の設定

プリンタドライバをインストールしたら、印刷先を設定します。

5

AppleTalkネットワークで使用するには（Macintosh）

Mac OS 9 の場合

1 Apple メニューから［セレクタ］を選択します。

2 [LIPS Printer］アイコンを選択します。

重要　セレクタにアイコンが表示されないときは、プリンタドライバを再度インストールしてください。

メモ　[LIPS Printer］アイコンを選択すると、［出力先の選択］のリストにお使いのプリンタの機種名が表示されます。ただし、お使いのプリンタによっては、以下の名称で表示されることがあります。
- モノクロプリンタをお使いの場合：　[Canon Printer LIPS]
- カラープリンタをお使いの場合：　[Canon Color Printer LIPS]

3 ［出力先の選択］のポップアップメニューから［AppleTalk］を選択します。

4 ［出力先の選択］のリストからお使いのプリンタを選択します。

重要

お使いのプリンタによっては［出力先の選択］のリストに、以下の名称で表示されることがありますので、プリンタ名が表示されない場合は、こちらの名称を選択してください。

・モノクロプリンタをお使いの場合：　［Canon Printer LIPS］

・カラープリンタをお使いの場合：　［Canon Color Printer LIPS］

また、［出力先の選択］のリストにプリンタ名や上記の名称が表示されない場合は、プリンタとコンピュータが正しく接続されているか、プリンタの電源が入っているかを確認してください。

5 セレクタを閉じます。

これで印刷先の設定が完了しました。

Mac OS X の場合

1 **お使いのハードディスクの［アプリケーション］（［Applications］）→［ユーティリティ］（［Utilities］）フォルダにある、［プリントセンター］（［Print Center］）アイコンをダブルクリックします。**

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.3 以降をお使いの場合は、［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックしてください。

2 **［追加］または［プリンタを追加］をクリックします。**

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

3 **リストから［AppleTalk］を選択します。**

5

AppleTalkネットワークで使用するには（Macintosh）

4 プリンタリストの一覧からお使いのプリンタを選択したあと、［追加］をクリックします。

重要

- ［種類］が［LIPS（v.x.xx)］または［LIPSLX Printer］のプリンタ以外は選択しないでください。
- お使いのプリンタによってはプリンタリストに、以下の名称で表示されることがありますので、プリンタ名が表示されない場合は、こちらの名称を選択してください。
  - ・モノクロプリンタをお使いの場合：［Canon Printer LIPS］または［Canon Printer LIPS LX］
  - ・カラープリンタをお使いの場合：［Canon Color Printer LIPS］または［Canon Color Printer LIPS LX］

  また、プリンタリストにプリンタ名や上記の名称が表示されない場合は、プリンタとコンピュータが正しく接続されているか、プリンタの電源が入っているかを確認してください。

5 ［プリンタリスト］ダイアログに、プリンタが追加されていることを確認したあと閉じます。

これで印刷先の設定が完了しました。

困ったときには

操作中に起きたトラブルの解決法について説明しています。

印刷に関するトラブルとその対処方法

印刷に関するトラブルの原因と、その対処方法について説明しています。

ドライバをインストールできない（TCP/IP ネットワーク）

原　因　ドライバをインストールするコンピュータの IP アドレスが、本プリンタの [IP アドレス範囲] の [受信 / 印刷範囲設定] で許可されていない。

処　置　IPP を使用して印刷する場合、ドライバを正常にインストールするには、ドライバをインストールするコンピュータの IP アドレスが、本プリンタの [IP アドレス範囲] の [受信 / 印刷範囲設定] で許可されている必要があります。
本プリンタの [IP アドレス範囲] の [受信 / 印刷範囲設定] の設定内容を確認してください。（→印刷や設定できるユーザを IP アドレスによって制限する：P.3-68）

ドライバをインストールできない（SMB ネットワーク）

原　因　ドライバをインストールするコンピュータの IP アドレスが、本プリンタの [IP アドレス範囲] の [受信 / 印刷範囲設定]、[設定 / 参照範囲設定] の両方で許可されていない。

処　置　SMB ネットワークの場合、ドライバを正常にインストールするには、ドライバをインストールするコンピュータの IP アドレスが、本プリンタの [IP アドレス範囲] の [受信 / 印刷範囲設定]、[設定 / 参照範囲設定] の両方で許可されている必要があります。
本プリンタの [IP アドレス範囲] の [受信 / 印刷範囲設定]、[設定 / 参照範囲設定] の設定内容を確認してください。（→印刷や設定できるユーザを IP アドレスによって制限する：P.3-68）

TCP/IP ネットワークから印刷できない

原因 1　ネットワーク設定・環境に問題がある。

処　置　印刷ができないときは、まず ping コマンドを利用してネットワーク接続の状態を確認することをおすすめします。ping コマンドによる確認手順は、以下のとおりです。

- コマンド プロンプトを開きます。
Windows の場合、Windows の［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択します。［ファイル名を指定して実行］ダイアログボックスが表示されたら、［名前］に「command」と入力します。

- 表示されたコマンド プロンプト中に、以下の内容を入力したあと、キーボードの［ENTER］キーを押します。
  Ping（スペース）<プリンタの IP アドレス>
  入力例：Ping 192.168.0.215
  プリンタの IP アドレスがわからない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- コマンドプロンプト画面上にネットワーク接続状態が表示されます。
  「Reply from <プリンタの IP アドレス> ...」と表示される場合、ネットワーク接続には問題がありません。プリンタの印刷設定等を確認してください。
  「Destination Host Unreachable」または「Request Timed Out」と表示される場合、ネットワーク接続の設定・環境に問題があります。以下の原因 2 以降を参照してください。

原因２ プリンタとケーブルが、正しく接続されていない。

処　置 プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

原因３ TCP/IP ネットワークが、正しく設定されていない。

処　置 次のことを確認してください。

- IPアドレスが正しく設定されていることを確認します。DHCP、RARP、BOOTPのいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、DHCP、RARP、BOOTPが動作していることを確認してください。（→プリンタのプロトコル設定：P.3-10）

メモ 上記の設定が正しくても本プリンタを認識できない場合は、ネットワーク部の起動時間を遅らせると問題が解決することがあります。（→通信環境の設定：P.2-5）

原因４ 印刷を行うコンピュータが、正しく設定されていない（Windows）。

処　置 次のことを確認してください。

- 正しいプリンタドライバが、インストールされていることを確認します。Windows 98/Me から印刷を行うには、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります。（→ LIPS ソフトウェアガイド（PDF取扱説明書））
- 印刷を行うコンピュータの出力先が、正しいプリンタに設定されているか確認します。出力先は、「コントロールパネル」の「プリンタ」または「プリンタとFAX」で確認できます。

- Windows 98/MeでLPDをお使いの場合は、以下の手順でスプールの設定を確認します
  - ・[スタート]メニューから[設定]→[プリンタ]を選択します
  - ・使用するプリンタのアイコンを右クリックして、[プロパティ]を選択します
  - ・[詳細]タブをクリックして、[詳細]ページを表示します
  - ・[スプールの設定]をクリックして、[プリンタスプールの設定]ダイアログボックスを表示します
  - ・[印刷ジョブをスプールしてプログラムの印刷処理を高速に行う]が選択されていることを確認します。(これが選択されていない場合は、選択したあと[OK]をクリックします。)

原因 5 印刷するファイル名が長すぎる。

処　置 通常、LPRは、印刷に使用するアプリケーションソフトウェア名や、ファイル名を元にしたジョブ名を送信します。しかし、ジョブ名が半角255文字/全角127文字以上になると、正常に送信できなくなります。このときは、印刷するファイル名を短くしてください。

原因 6 印刷データを送信するコンピュータのIPアドレスが、本プリンタの[IPアドレス範囲]の[受信/印刷範囲設定]で許可されていない。

処　置 TCP/IPネットワークから印刷するには、印刷データを送信するコンピュータのIPアドレスが、本プリンタの[IPアドレス範囲]の[受信/印刷範囲設定]で許可されている必要があります。
本プリンタの[IPアドレス範囲]の[受信/印刷範囲設定]の設定内容を確認してください。(→印刷や設定できるユーザをIPアドレスによって制限する:P.3-68)

SMBネットワークから印刷できない、または[印刷先のポート]に印刷するプリンタのポート名が表示されない

原因 1 プリンタとケーブルが、正しく接続されていない。

処　置 プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

原因 2 TCP/IPネットワークが、正しく設定されていない。

処　置 SMBネットワークから本プリンタに印刷する場合は、TCP/IPが正しく動作していることが前提となります。次のことを確認してください。

- IPアドレスが正しく設定されていることを確認します。DHCP、RARP、BOOTPのいずれかを使用してIPアドレスを設定する場合は、DHCP、RARP、BOOTPが動作していることを確認してください。(→プリンタのプロトコル設定:P.3-10)
- DHCPサーバ、WINSサーバを使用している場合は、これらの連携がうまくいっているかを確認してください。(→プリンタのプロトコル設定:P.4-3)

メモ　上記の設定が正しくても本プリンタを認識できない場合は、ネットワーク部の起動時間を遅らせると問題が解決することがあります。（→通信環境の設定：P.2-5）

原因 3　SMB ネットワークが、正しく設定されていない。

処　置　次のことを確認してください。

- SMBとWINSが正しく設定されていることを確認します。(→プリンタのプロトコル設定：P.4-3)

原因 4　印刷データを送信するコンピュータの IP アドレスが、本プリンタの［IP アドレス範囲］の［受信 / 印刷範囲設定］で許可されていない。

処　置　SMB ネットワークから印刷するには、印刷データを送信するコンピュータの IP アドレスが、本プリンタの［IP アドレス範囲］の［受信 / 印刷範囲設定］で許可されている必要があります。
本プリンタの［IP アドレス範囲］の［受信 / 印刷範囲設定］の設定内容を確認してください。（→印刷や設定できるユーザを IP アドレスによって制限する：P.3-68）

原因 5　印刷を行うコンピュータの設定が、正しく設定されていない。

処　置　次のことを確認してください。

- 各コンピュータに、正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。プリンタドライバのインストール方法については、「LIPS ソフトウェアガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。

AppleTalk ネットワークから印刷できない

原因 1　プリンタとケーブルが、正しく接続されていない。

処　置　プリンタがネットワークに、正しいケーブルを使って接続されていることを確認したあと、プリンタの電源を入れなおしてください。

原因 2　AppleTalk ネットワークが、正しく設定されていない。

処　置　次のことを確認してください。

- AppleTalk が正しく設定されていることを確認します。特に、［サービスが登録したゾーン］でプリンタの存在するゾーンが正しく設定されていることを確認します。（→プリンタのプロトコル設定：P.5-7）

メモ　上記の設定が正しくても本プリンタを認識できない場合は、ネットワーク部の起動時間を遅らせると問題が解決することがあります。（→通信環境の設定：P.2-5）

原因３　印刷を行うコンピュータの設定が、正しく設定されていない。

処　置　次のことを確認してください。

- ［プリンタリスト］で正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。
- ［プリンタリスト］で印刷先が正しいプリンタに設定されていることを確認します。
- ［ネットワーク］で AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。

SSL暗号化通信に関するトラブルとその対処方法

SSL 暗号化通信に関するトラブルの原因とその対処方法について説明しています。

SSL を有効にできない

原　因　使用する鍵ペアおよびサーバ証明書を登録していない。

処　置　SSL 暗号化通信を行うには、鍵と証明書が作成され、使用する鍵ペアおよびサーバ証明書を登録する必要があります。（→リモート UI ガイド（PDF 取扱説明書））

SSL を有効にしているときにリモート UI が起動しない、または IPP 印刷ができない

原　因　鍵管理関係のファイルが壊れている。

処　置　操作パネルから「インタフェース」→「ヒョウジュン ネットワーク」→「リモート UI セッテイ」→「SSL」を選択し、「オフ」であることを確認してください。その後プリンタを再起動し、リモート UI から鍵と証明書の再生成および SSL の設定を行ってください。鍵管理および SSL の設定を行ったあと、再度プリンタを再起動してください。（→リモート UI ガイド（PDF 取扱説明書））

付録

その他の知っておいていただきたい情報や、参考となる情報について説明しています。

ネットワーク設定項目一覧

Web ブラウザ（リモート UI）、FTP クライアント、NetSpot Device Installer を使用すると、本プリンタの設定を変更することができます。FTP クライアントや NetSpot Device Installer で変更できる設定項目は以下のとおりです。また、Web ブラウザ (リモート UI) ではリモート UI 設定を除き以下の項目はすべて設定できます。

メモ
- FTPクライアントやNetSpot Device Installerで設定できない項目については、Webブラウザ（リモート UI）で設定してください。
- 以下の一覧で、カッコ内に記載されている情報は、FTP クライアント固有のものです (例:「デバイス名 (DEVICE_NAME)」は、Web ブラウザ (リモート UI) や NetSpot Device Installer では［デバイス名］と表示され、FTP クライアントの config ファイルでは［DEVICE_NAME］と表示されます)。

■ 一般設定

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
デバイス名 (DEVICE_NAME)	半角 32 文字 / 全角 16 文字まで	(空欄)	○	○
設置場所 (SYS_LOC)	半角 32 文字 / 全角 16 文字まで	(空欄)	○	○
管理者名 (SYS_CONTACT)	半角 32 文字 / 全角 16 文字まで	(空欄)	○	○
管理者パスワード (ROOT_PWD)	半角英数字で 16 文字まで	(空欄)	○	○
一般ユーザによるジョブ操作を許可する (USER_JOB_CONT)	ON/OFF	OFF	×	○
E メール印刷設定 *				
POP3 サーバ名 (EMAIL_POP_ADDR)	サーバ名またはIPアドレス	(空欄)	×	○
POP3 ユーザ名 (EMAIL_POP_ACCOUNT)	半角英数字で 32 文字まで	(空欄)	×	○
POP3 パスワード (EMAIL_POP_PASSWD)	半角英数字で 32 文字まで	(空欄)	×	○

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
POP3 受信間隔 (EMAIL_POP_INTERVAL)	0 ~ 90 分（0 に設定した場合は、サーバへの自動受信はしない）	0	×	○
POP3 受信 (EMAIL_PRINT_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
POP3 サーバのポート番号 (EMAIL_POP_PORTNO)	0 ~ 65535	110	×	○
サポートリンク設定				
リンク先 (LINK_NAME#)(#=1、2)	半角 32 文字 / 全角 16 文字まで	（空欄）	×	○
URL (LINK_URL#) (#=1、2)	半角英数字で 128 文字まで	（空欄）	×	○
コメント (LINK_COMMENT#)(#=1、2)	半角 64 文字 / 全角 32 文字まで	（空欄）	×	○

* ハードディスクを装着している場合にのみ設定可能

■ TCP/IP 設定

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
DHCP によるアドレス設定 (DHCP_ENB)	ON/OFF	OFF	○	○
RARP によるアドレス設定 (RARP_ENB)	ON/OFF	OFF	○	○
BOOTP によるアドレス設定 (BOOTP_ENB)	ON/OFF	OFF	○	○
IP アドレス (INT_ADDR)	IP アドレス	0.0.0.0	○	○

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
サブネットマスク (NET_MASK)	IP アドレス	0.0.0.0	○	○
ゲートウェイアドレス (DEF_GW)	IP アドレス	0.0.0.0	○	○
DNS プライマリサーバアドレス (DNS_PADDR)	IP アドレス	0.0.0.0	×	○
DNS セカンダリサーバアドレス (DNS_SADDR)	IP アドレス	0.0.0.0	×	○
DNS ホスト名 (HOST_NAME)	半角英数字で 47 文字まで	「Canon」+「MAC アドレス下 6 桁」	×	○
DNS ドメイン名 (DOMAIN_NAME)	半角英数字で 47 文字まで	(空欄)	×	○
DNS の動的更新 (DDNS_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
WINS による名前解決 (WINS_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
WINS サーバアドレス (WINS_SERVER)	IP アドレス	0.0.0.0	×	○
スコープ ID (WINS_SCOPEID)	半角英数字で 63 文字まで	(空欄)	×	○
ARP/PING (ARP_PING_ENB)	ON/OFF	ON	×	○
FTP 印刷 (FTP_PRINT_ENB)	ON/OFF	ON	×	○
FTP 印刷ユーザ名 (FTP_PRINT_USER)	半角英数字で 24 文字まで	(空欄)	×	○
FTP 印刷パスワード (FTP_PRINT_PWD)	半角英数字で 24 文字まで	(空欄)	×	○
FTP 設定	ON/OFF	ON	×	×
LPD 印刷 (LPD_ENB)	ON/OFF	ON	×	○

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
LPD バナーページの印刷 (LPD_BANN)	ON/OFF	OFF	×	○
RAW 印刷 (RAW_ENB)	ON/OFF	ON	×	○
双方向 (RAW_BIDIR_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
BMLinkS (BM_ENB)	使う / 使わない	使わない	×	○
Discovery 送信間隔 (BM_DISCOVERY_TIME)	30 分 /1 時間 /3 時間 /6 時間 /12 時間 /24 時間	30	×	○
国 / 地域名	出荷時固定設定、表示のみ	日本（JP）	—	—
組織名 (BM_SET_COMPANY)	半角 64 文字 / 全角 32 文字まで	（空欄）	×	○
支店名 (BM_SET_SECTION)	半角 64 文字 / 全角 32 文字まで	（空欄）	×	○
ビル名 (BM_SET_BUILDING)	半角 64 文字 / 全角 32 文字まで	（空欄）	×	○
階数 (BM_SET_FLOOR)	半角 64 文字 / 全角 32 文字まで	（空欄）	×	○
ブロック名 (BM_SET_BLOCK)	半角 64 文字 / 全角 32 文字まで	（空欄）	×	○
IPP 印刷 (IPP_ENB)	ON/OFF	ON	×	○
SSL*	ON/OFF（鍵の登録が行われていない場合は OFF で固定）	OFF	×	×
IPP 認証 (IPP_AUTH_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
IPP ユーザ名 (IPP_AUTH_ACCUNT1)	半角英数字で 24 文字まで (IPP 認証を使用する場合は必ず入力)	（空欄）	×	○

7 付録

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
IPP パスワード (IPP_AUTH_PASSWD1)	半角英数字で 24 文字まで(IPP 認証を使用する場合は必ず入力)	(空欄)	×	○
HTTP (HTTP_ENB)	ON/OFF	ON	×	○
SNTP (SNTP_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
NTP サーバ名 (SNTP_ADDR)	IPアドレスまたはホスト名	(空欄)	×	○
ポーリング間隔 (SNTP_INTERVAL)	時間の同期をとる間隔(1 ～ 48 時間)	24	×	○
マルチキャスト探索応答 (DISCOVERY_ENB)	ON/OFF	ON	×	○
スコープ名 (DISCOVERY_SCOPE_NAME)	NetSpot Device Installer などのユーティリティソフトウェアから探索するときのスコープ名(半角英数字で 32 文字まで)	"default"	×	○
IP アドレス範囲設定				
受信 / 印刷範囲設定 拒否アドレスを有効にする 拒否 IP アドレス	ON/OFF IP アドレス(最大 8 個)	OFF 0.0.0.0	×	×
受信 / 印刷範囲設定 許可アドレスを有効にする 許可 IP アドレス	ON/OFF IP アドレス(最大 8 個)	OFF 0.0.0.0	×	×
設定 / 参照範囲設定 拒否アドレスを有効にする 拒否 IP アドレス	ON/OFF IP アドレス(最大 8 個)	OFF 0.0.0.0	×	×
設定 / 参照範囲設定 許可アドレスを有効にする 許可 IP アドレス	ON/OFF IP アドレス(最大 8 個)	OFF 0.0.0.0	×	×

* ハードディスクを装着している場合にのみ設定可能

■ AppleTalk 設定

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
AppleTalk (ATLK_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
使用するフェーズ	[フェーズ 2] で固定	2	—	—
サービスの名称 (APRINT_1)	半角 32 文字 / 全角 16 文字まで *[1]	LBPXXXX*[3]	×	○
サービスが登録したゾーン (ATK_ZONE)	半角 32 文字 / 全角 16 文字まで *[1]*[2]	*	○	○

*[1] 「=」、「@」、「∗」、「：」、「～」、「ｹ」（半角カタカナ）は使用不可

[2] 「」（半角）は使用可

*[3] xxxx は機種によって異なる

■ SMB 設定

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
SMB (SMB_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
サーバ名 (SMB_SERVER)	半角英数字で 15 文字まで	（空欄）	×	○
ワークグループ名 (SMB_WG)	半角英数字で 15 文字まで	（空欄）	×	○
コメント (SMB_COMMENT)	半角 48 文字 / 全角 24 文字まで	（空欄）	×	○
LM アナウンス (SMB_LM_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
SMB 印刷 * (SMB_PRINT_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○
プリンタ名 * (SMB_PRINTER)	半角英数字で 13 文字まで	（空欄）	×	○

* ハードディスクを装着している場合にのみ設定可能

■ SNMP設定

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
SNMP (SNMP_ENB)	ON/OFF	ON	×	○
コミュニティ名 (SNMP_COMMUNITY)	半角32文字/全角16文字まで	public	×	○

■ スプール機能設定 *

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
スプール機能 (SPOOL_ENB)	ON/OFF	OFF	×	○

* ハードディスクを装着している場合にのみ設定可能

■ 起動時間設定

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
起動待機時間 (STRT_DELAY_TIME)	電源を入れてからアドレス取得機能が動作するまでの待機時間（0～300秒）	0	×	○

■ Ethernet ドライバ設定 *

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
Ethernetドライバ設定	自動検出 /10Base-T（半二重）/10Base-T（全二重）/100Base-TX（半二重）/100Base-TX（全二重）	自動検出	×	×

* ［優先ネットワーク設定］の項目が［標準ネットワーク］に設定されている場合にのみ設定可能

■ リモートUI設定

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installerによる設定	FTPクライアントによる設定
(RUI_ENB) *[1]	リモートUIのON/OFF	ON	×	○
SSL*[2]	ON/OFF	OFF	×	×

*[1] FTPクライアントとプリンタの操作パネルからのみ設定可能
*[2] ハードディスクを装着している場合にのみ設定可能

■ 受信許可MACアドレス設定 *

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installerによる設定	FTPクライアントによる設定
受信許可MACアドレスを有効にする	ON/OFF	OFF	×	×
MACアドレス	MACアドレス(最大50個)	0:0:0:0:0:0	×	×

* ［優先ネットワーク設定］の項目が［標準ネットワーク］に設定されている場合にのみ設定可能

■ 鍵と証明書設定 *[1]

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installerによる設定	FTPクライアントによる設定
鍵の名前	半角英数字で24文字まで	(空欄)	×	×
鍵のアルゴリズム	[RSA]で固定	RSA	×	×
鍵の長さ	512bit/1024bit	512	×	×
有効期限開始日	西暦/月/日(2000/01/01～2048/12/31)	(空欄)	×	×
有効期限終了日	西暦/月/日(2000/01/01～2048/12/31)	(空欄)	×	×
国/地域名で選択 *[2]	登録済みの国/地域名	日本(JP)	×	×
インターネット国コードで入力 *[2]	半角英数字で2文字まで*[3]	(空欄)	×	×
都道府県 *[2]	半角英数字で24文字まで*[3]	(空欄)	×	×
市町村 *[2]	半角英数字で24文字まで*[3]	(空欄)	×	×

7
付録

項目名	内容	工場出荷時の設定	NetSpot Device Installer による設定	FTP クライアントによる設定
組織 *[2]	半角英数字で 24 文字まで *[3]	(空欄)	×	×
組織単位 *[2]	半角英数字で 24 文字まで *[3]	(空欄)	×	×
共通名 *[2]	半角英数字で 24 文字まで *[3]	(空欄)	×	×
秘密鍵ファイルのパス	鍵ファイルパス	(空欄)	×	×
秘密鍵の名前	半角英数字で 24 文字まで	(空欄)	×	×
秘密鍵パスワード	半角英数字で 24 文字まで	(空欄)	×	×

*[1] ハードディスクを装着している場合にのみ設定可能

*[2] 証明書を発行する場合は、7 項目のうち少なくとも 1 項目の設定が必要

*[3] 記号はスペース(「 」)、コンマ(「,」)、ピリオド(「.」)、ハイフン(「-」)、スラッシュ(「/」)、クォーテーション(「'」)、ダブルクォーテーション(「"」)、丸括弧(「(」「)」)、プラス(「+」)、等号(「=」)、クエスチョンマーク(「?」)のみ使用可

7 付録

ネットワーク設定に利用できるソフトウェア

本プリンタのネットワーク設定は、以下を使用して行うことができます。

○：設定可能 ×：設定不可 △：一部の設定が可能（→ネットワーク設定項目一覧：P.7-2）

設定の種類	Web ブラウザ（リモート UI）	FTP クライアント	NetSpot Device Installer	ARP/ PING コマンド	プリンタの操作パネル
インタフェースの設定（→ P.2-2）	○	×	×	×	○
通信環境の設定（→ P.2-5）	△	△	×	×	○
プリンタのプロトコル設定の準備（→ P.3-4）	×	×	○	○	○
プリンタのプロトコル設定（→ P.3-10）	○	○	△	×	△
SMB プロトコル設定（→ P.4-3）	○	○	×	×	△
AppleTalk プロトコル設定（→ P.5-7）	○	○	△	×	△
デバイス情報の変更（→ P.3-55）	○	○	△	×	×
管理設定の変更（→ P.3-59）	○	△	△	×	×
特定のデバイスによるジョブ要求の制限（→ P.3-68）	○	×	×	×	○
E メール印刷の変更（→ P.3-82）	○	○	×	×	△

ネットワーク設定の初期化

本プリンタのネットワーク設定を工場出荷時の値に戻すときは、プリンタの操作パネルから以下の手順を行ってください。

メモ

ネットワーク設定の初期化は、プリンタの操作パネルから行う方法の他に、以下のソフトウェアを使用して行うこともできます。

- Web ブラウザ（リモート UI）:「リモート UI ガイド」（PDF 取扱説明書）を参照してください。
- NetSpot Device Installer：NetSpot Device Installer のオンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプは、［ヘルプ］メニューの［ヘルプ］をクリックすると、表示されます。

1 **［セットアップ］を押します。**

2 **以下の項目を順に［◀］、［▶］で選択したあと、［実行］／［OK］を押します。**

「インタフェース」→「ヒョウジュンネットワーク」→「ネットワーク セッテイショキカ」

3 **操作パネルに「ジッコウシマスカ？」と表示されたら、［実行］／［OK］を押します。**

索引

は

ら

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon　キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

［受付時間］　<平日> 9:00〜20:00　<土日祝日> 10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

USRM1-0089　(02)